

No.297

# 鉄鋼需給四半期報

---

2025年10月

一般社団法人 日本鉄鋼連盟



**The Japan Iron and Steel Federation**

<http://www.jisf.or.jp/>



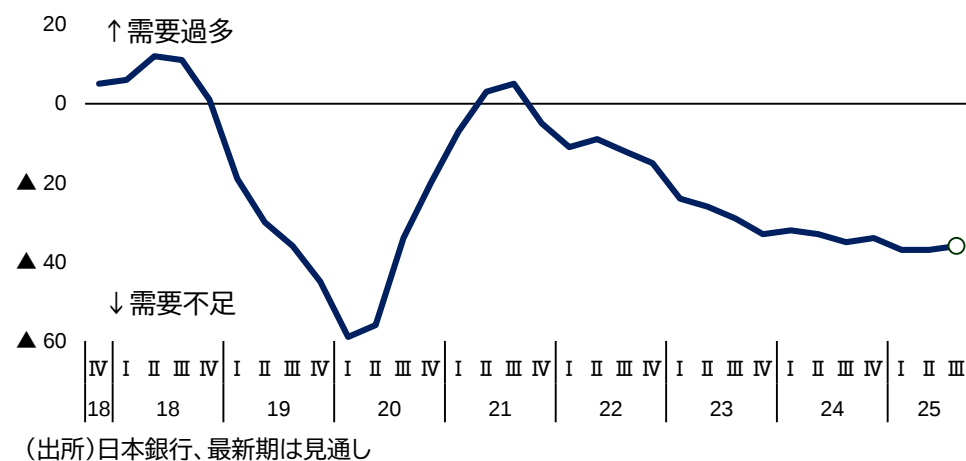
# 目次

|                       |              |           |
|-----------------------|--------------|-----------|
| <b>1. 鉄鋼需給動向</b>      | <b>.....</b> | <b>3</b>  |
| 1. 概要                 | .....        | 3         |
| 2. 経済産業省見通し           | .....        | 4         |
| 3. 需要産業別の動向           | .....        | 5         |
| 4. 鉄鋼需給               | .....        | 12        |
| <b>2. 中国鉄鋼業の最近の動向</b> | <b>.....</b> | <b>17</b> |
| 1. 要旨                 | .....        | 17        |
| 2. 2025年の鉄鋼需給をめぐる動向   | .....        | 18        |
| 3. 構造調整の進捗状況          | .....        | 37        |

# 概要

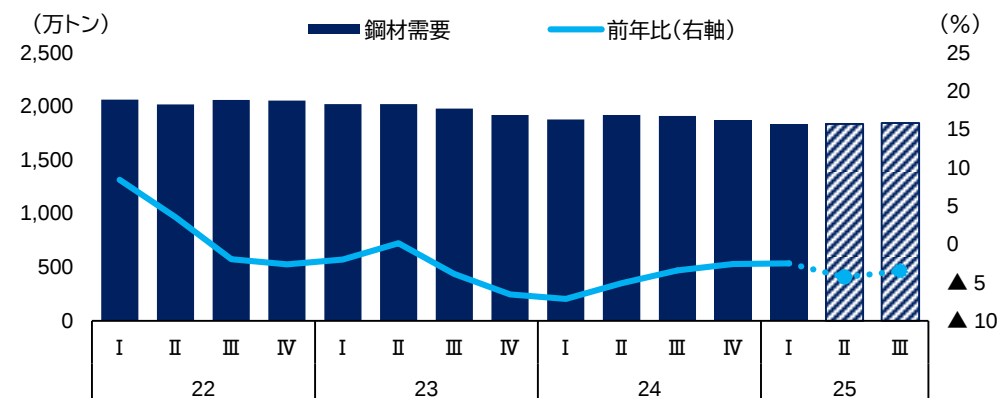
- 日銀短観(国内の需給判断DI／鉄鋼)では、需要不足との判断が続く。
- 鋼材需要は、需要産業活動が総じて低調であり減少基調。米国の関税措置による影響の顕在化、過去最高で推移する中国の鋼材輸出などへの懸念が続く。
- 多くの鉄鋼メーカーが需要見合いの生産に徹する状況が続き、粗鋼生産は前年割れで推移。

## 国内需給判断DI(鉄鋼)

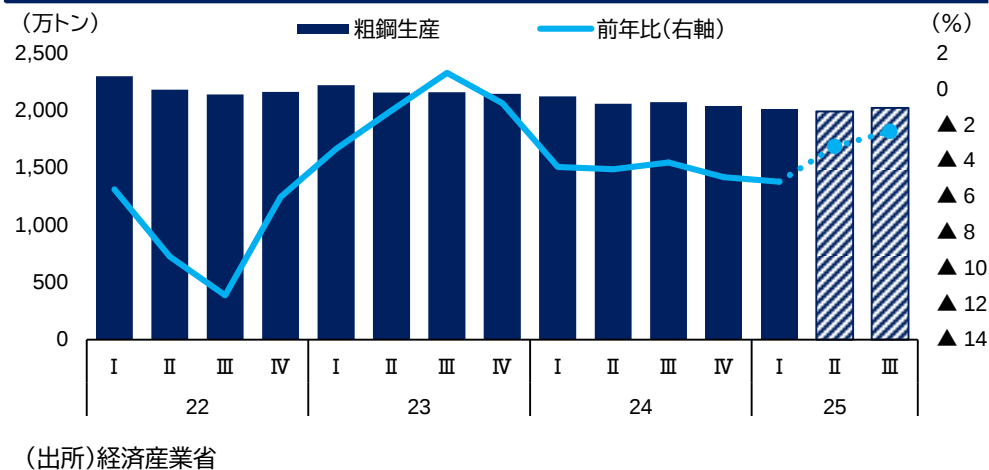


## 鋼材需要

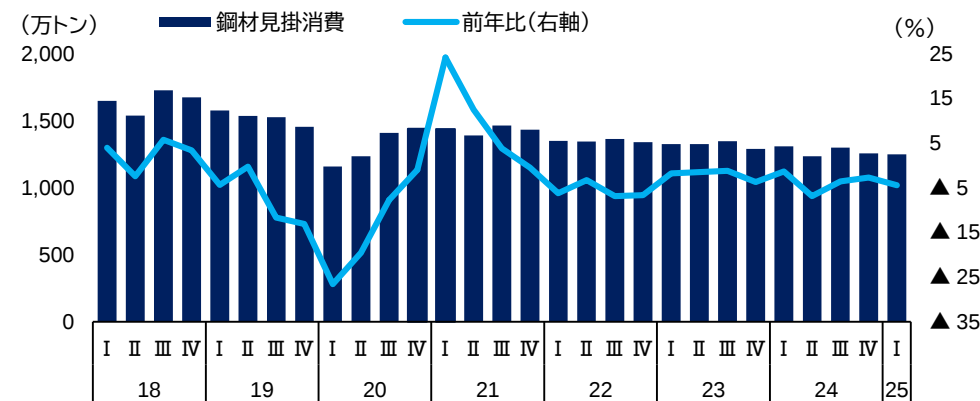
### ■鋼材需要(内需+外需)



## 粗鋼生産



### ■鋼材見掛消費



(注)鋼材見掛消費は、「鋼材国内向け出荷+鋼材輸入」で計算している。

# 2025年度第3四半期・経済産業省鋼材需要見通し

## ◇全体

- 25年度第3四半期(10～12月期)の鋼材需要量は、前年同期比3.5%減の1,847万トンの見通し。
- 国内需要は前年同期比2.1%減の1,227万トン。輸出は前年同期比6.1%減の620万トン。

## ◇普通鋼

- 普通鋼鋼材需要量は、前期実績見込比1.0%増、前年同期比3.6%減の1,472万トンの見通し。
- うち、国内需要が前期実績見込比1.1%増、前年同期比1.9%減の952万トン。輸出が中国での日系自動車メーカーのシェア低下、東南アジア・欧州地域の経済減速などの影響もあり、前期実績見込比1.0%増、前年同期比6.7%減の520万トンの見通し。米国の関税措置には注視が必要。

## ◇特殊鋼

- 特殊鋼鋼材需要量は、前期実績見込比1.8%減、前年同期比3.0%減の375万トンとなる見通し。
- うち、国内需要が前期実績見込比0.6%増、前年同期比3.1%減の275万トン。
- 引き続き海外需要は低調、輸出は前期実績見込比7.8%減、前年同期比2.7%減の100万トンの見通し。

## ◇粗鋼需要

- 粗鋼需要量は前期実績見込比1.2%増、前年同期比2.4%減の2,023万トンとなる見通し。

経済産業省・25年度Q3鋼材需要見通し(2025年10月16日発表、左表:数量 万トン、右表:前年比増減率 %)

### ■内外需別

| 年度      | 24 Q3<br>実績 | 25 Q2<br>実績見込 | 25 Q3<br>見通し | 24 Q3<br>実績 | 25 Q2<br>実績見込 | 25 Q3<br>見通し |
|---------|-------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|
| 鋼材需要    | 1,914       | 1,839         | <b>1,847</b> | ▲ 3.4       | ▲ 4.3         | ▲ <b>3.5</b> |
| 普通鋼     | 1,527       | 1,457         | <b>1,472</b> | ▲ 3.0       | ▲ 4.8         | ▲ <b>3.6</b> |
| 特殊鋼     | 386         | 382           | <b>375</b>   | ▲ 5.1       | ▲ 2.6         | ▲ <b>3.0</b> |
| 内需      | 1,254       | 1,215         | <b>1,227</b> | ▲ 6.4       | ▲ 1.5         | ▲ <b>2.1</b> |
| 普通鋼     | 970         | 942           | <b>952</b>   | ▲ 6.8       | ▲ 0.9         | ▲ <b>1.9</b> |
| 特殊鋼     | 284         | 273           | <b>275</b>   | ▲ 5.0       | ▲ 3.3         | ▲ <b>3.1</b> |
| 外需      | 660         | 623           | <b>620</b>   | 2.8         | ▲ 9.4         | ▲ <b>6.1</b> |
| 普通鋼     | 557         | 515           | <b>520</b>   | 4.4         | ▲ 11.0        | ▲ <b>6.7</b> |
| 特殊鋼     | 103         | 108           | <b>100</b>   | ▲ 5.1       | ▲ 0.7         | ▲ <b>2.7</b> |
| 粗鋼生産・需要 | 2,072       | 1,999         | <b>2,023</b> | ▲ 4.1       | ▲ 2.9         | ▲ <b>2.4</b> |

### ■部門別普通鋼内需

| 年度    | 24 Q3<br>実績 | 25 Q2<br>実績見込 | 25 Q3<br>見通し | 24 Q3<br>実績 | 25 Q2<br>実績見込 | 25 Q3<br>見通し |
|-------|-------------|---------------|--------------|-------------|---------------|--------------|
| 普通鋼内需 | 970         | 942           | <b>952</b>   | ▲ 6.8       | ▲ 0.9         | ▲ <b>1.9</b> |
| 建設    | 397         | 382           | <b>384</b>   | ▲ 6.6       | ▲ 3.7         | ▲ <b>3.2</b> |
| 土木    | 148         | 136           | <b>144</b>   | 0.9         | ▲ 0.6         | ▲ <b>2.6</b> |
| 建築    | 249         | 246           | <b>240</b>   | ▲ 10.5      | ▲ 5.3         | ▲ <b>3.6</b> |
| 製造業   | 573         | 560           | <b>568</b>   | ▲ 7.0       | 1.0           | ▲ <b>0.9</b> |
| 造船    | 78          | 76            | <b>79</b>    | ▲ 1.4       | ▲ 0.1         | <b>0.4</b>   |
| 自動車   | 245         | 238           | <b>241</b>   | ▲ 5.7       | ▲ 0.8         | ▲ <b>1.6</b> |
| 産業機械  | 97          | 100           | <b>98</b>    | ▲ 16.3      | 6.1           | <b>1.0</b>   |
| 電気機械  | 65          | 61            | <b>63</b>    | ▲ 3.0       | 3.7           | ▲ <b>2.6</b> |
| 二次製品  | 43          | 41            | <b>42</b>    | ▲ 7.9       | ▲ 1.0         | ▲ <b>2.1</b> |
| 容器    | 22          | 21            | <b>22</b>    | ▲ 2.2       | 1.0           | ▲ <b>0.9</b> |
| その他   | 23          | 23            | <b>24</b>    | ▲ 7.2       | ▲ 0.4         | <b>1.3</b>   |

(出所) 経済産業省([https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/iron\\_and\\_steel/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/iron_and_steel/index.html))

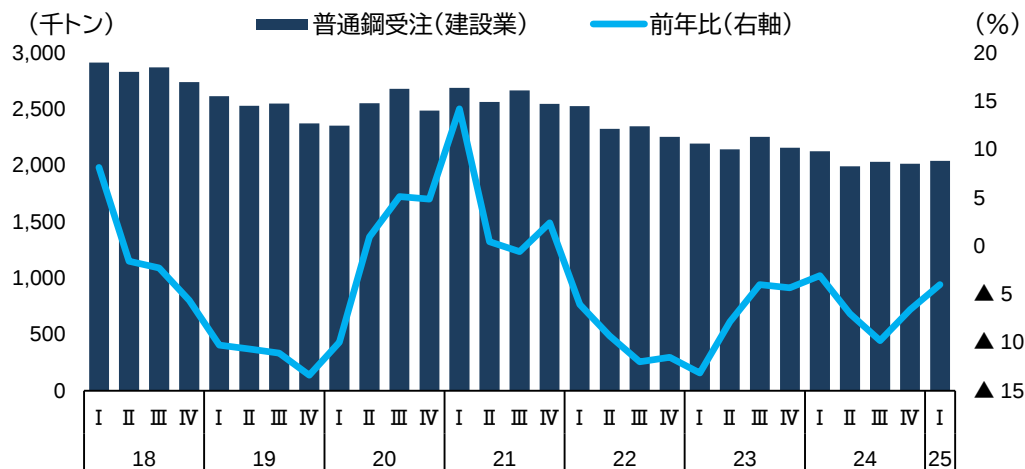
(注1)「粗鋼生産・需要」項目のうち、実績値は粗鋼生産量、見通しの数字は「出荷等相当粗鋼需要量」。

(注2)数量は、需要関連統計等を基に推計。

# 普通鋼需要動向

## 建設業

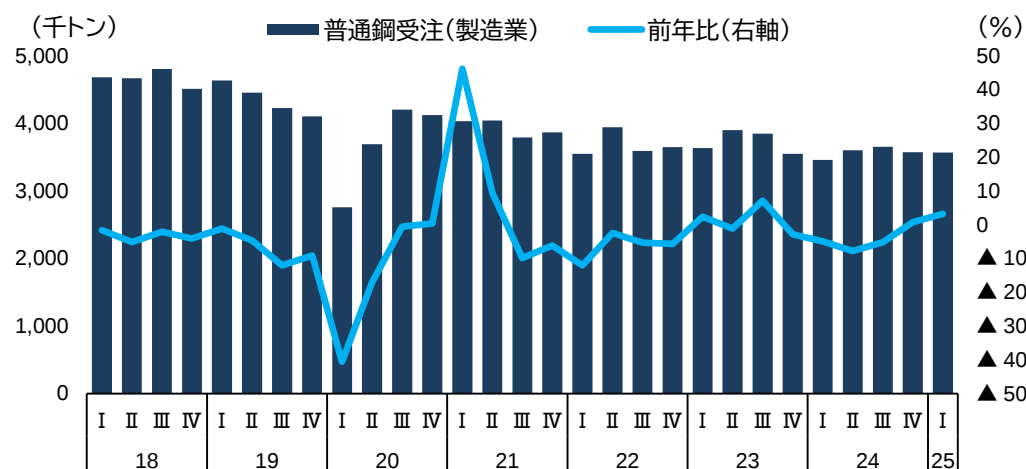
普通鋼受注(建設業)



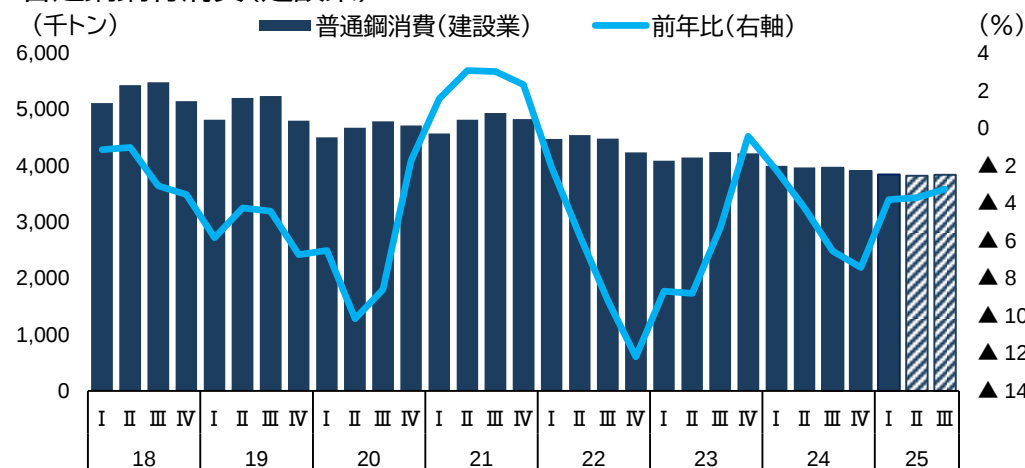
(出所)日本鉄鋼連盟

## 製造業

普通鋼受注(製造業)

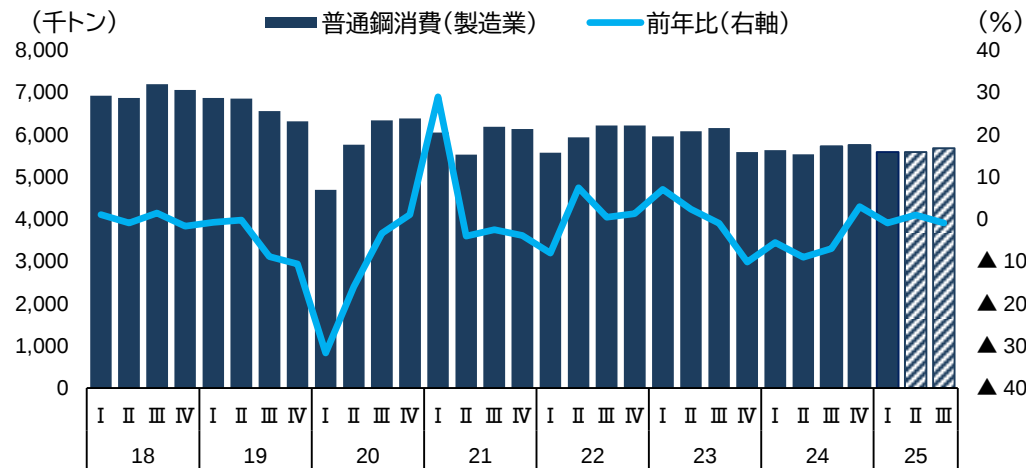


普通鋼鋼材消費(建設業)



(出所)経済産業省

普通鋼鋼材消費(製造業)



# 土木部門

## ■公共土木

### <足元の動向>

- 一般公共事業予算や国土強靱化予算は前年とほぼ同水準。防災・インフラ老朽化対策や地方活性化に重点が置かれている。

### <見通し>

- 予算は前年並みの水準も、人手不足のほか労務費・資材費の高騰を背景に、鋼材消費は前年比で減少する見通し。

## ■民間土木

### <足元の動向>

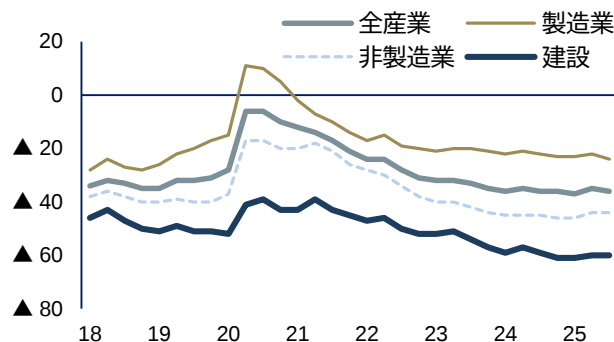
- 民間土木受注額は、好調な企業収益を背景に設備投資需要は持ち直しの動きを維持。

### <見通し>

- 年度上期が好調であった一方、前年同期比では減少が見込まれる。

## 雇用・工事費指標

### 雇用人員判断DI



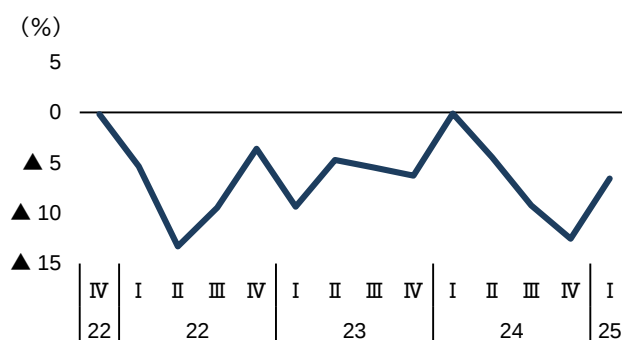
### 建設工事費デフレーター



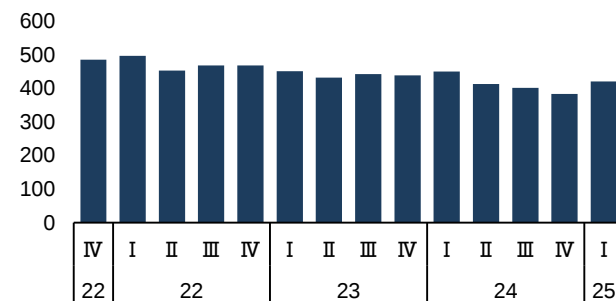
(出所)日本銀行、国土交通省

## 普通鋼鋼材受注

### 前年比



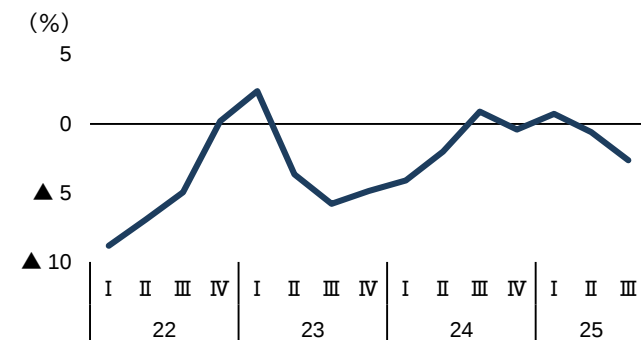
### (千トン)



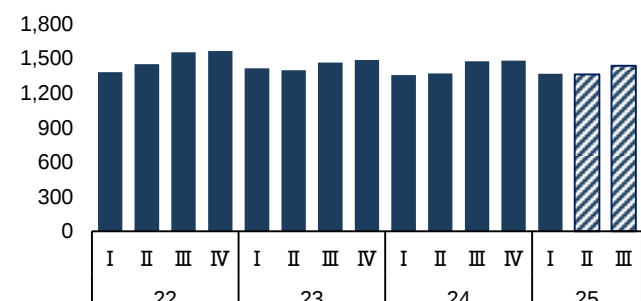
(出所)日本鉄鋼連盟

## 普通鋼鋼材消費

### 前年比



### (千トン)



(出所)経済産業省

# 建築部門

## ■住宅

### <持家>

- 建築コストの上昇に伴う住宅価格高騰による影響もあり、戸建て住宅は低調に推移。

### <貸家>

- 人件費含む建設コストの上昇、金利の先行き不透明感による下押し要因の影響が懸念。

### <分譲>

- 需要環境に大きな変化はなく、持家・貸家と同要因の影響が懸念。

## ■非住宅

### <鉱工業用>

- 設備投資意欲はあるものの、人手不足・資材高による工事の見直し・先延ばしの影響が続く。

### <運輸業用>

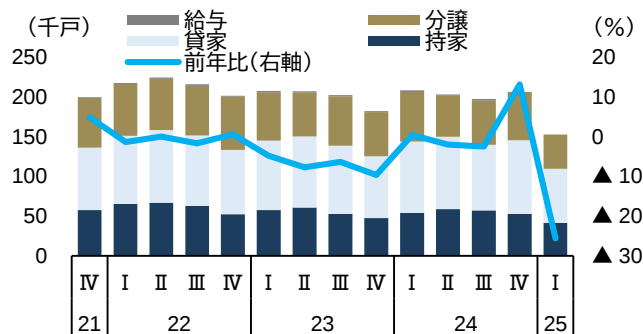
- 首都圏では倉庫空室率が上昇する一方、関西圏・名古屋圏では需要増。

### <商業サービス用>

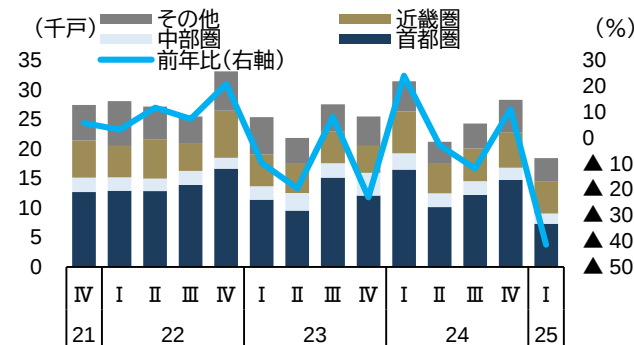
- オフィス需要やインバウンドによる宿泊施設等に潜在的な需要はある一方、店舗が弱含み。

## 住宅関連指標

### 新設住宅着工戸数(利用関係別)



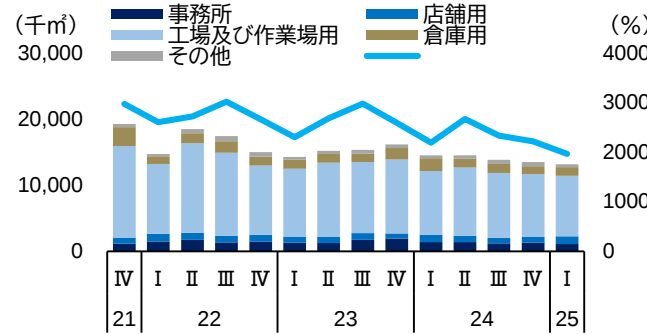
### 新設マンション着工戸数(地域別)



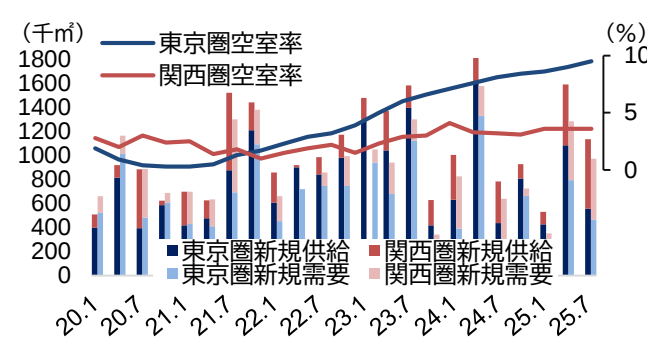
(出所)国土交通省

## 非住宅関連指標

### 非住宅着工床面積(使途別)



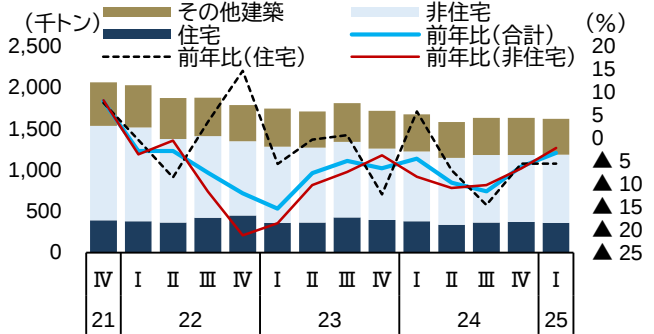
### 倉庫空室率



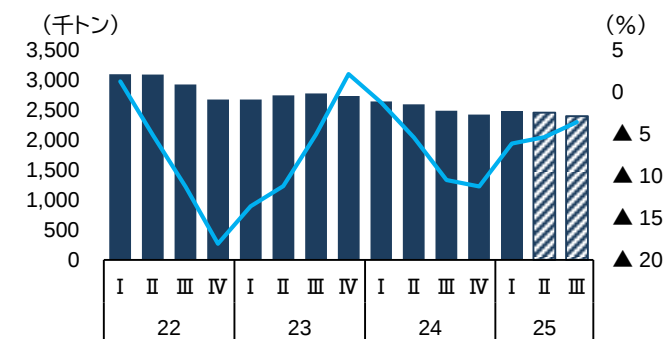
(出所)国土交通省、一五不動産

## 普通鋼鋼材需要

### 普通鋼鋼材受注(建築)



### 普通鋼鋼材消費(建築)



(出所)日本鉄鋼連盟、経済産業省

# 造船部門

## 足元の動向

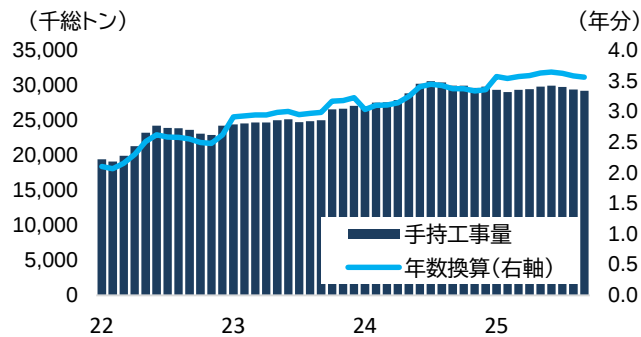
- 手持工場量は、高水準を維持しつつも、設計人員や現場労働力の人手不足や労働規制に加え、新燃料船への対応、資機材供給制約などの影響から、起工は頭打ち。

## 見通し

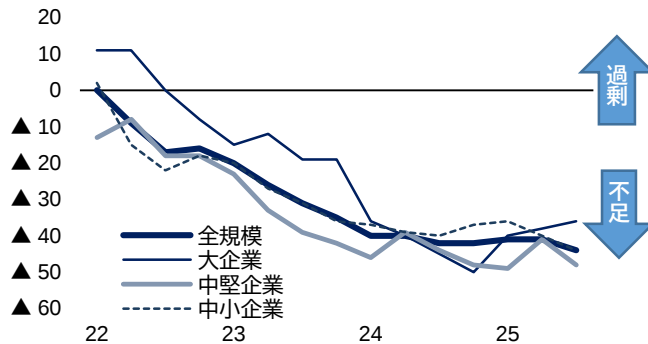
- 同様の傾向が続き、25年度の起工、鋼材消費はともに前年並みの見通し。

## 造船関連指標

### 輸出船手持工事量



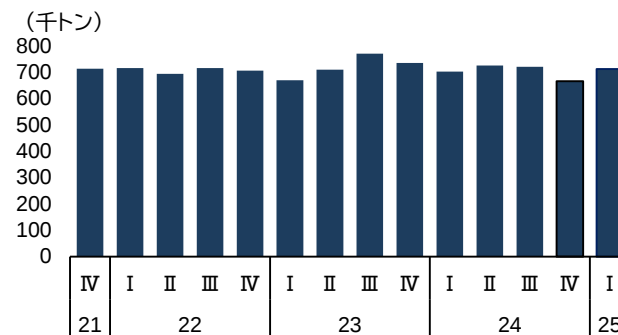
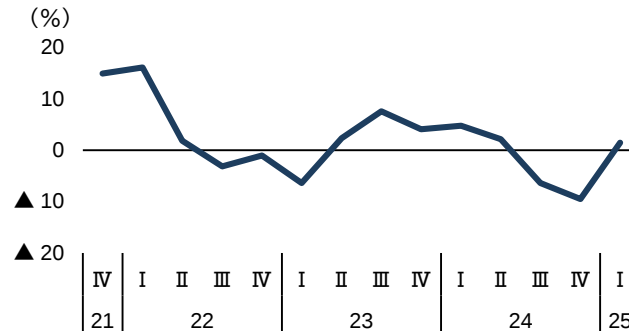
### 雇用人員判断DI



(出所)日本船舶輸出組合、日本銀行  
 (注1)手持工事量の年数換算は、手持工事量を前年度の輸出通関量で割ったもの。  
 (注2)雇用人員判断DIは、「造船・重機、その他輸送用機械」の数値。

## 普通鋼鋼材受注

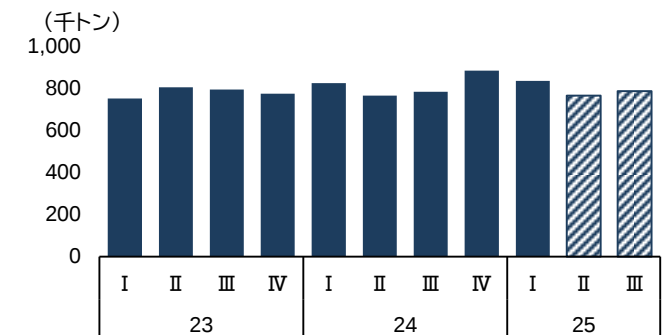
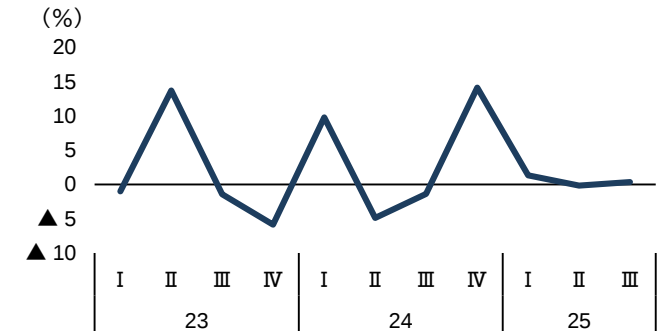
### 前年比



(出所)日本鉄鋼連盟

## 普通鋼鋼材消費

### 前年比



(出所)経済産業省

# 自動車部門

## ■足元の動向

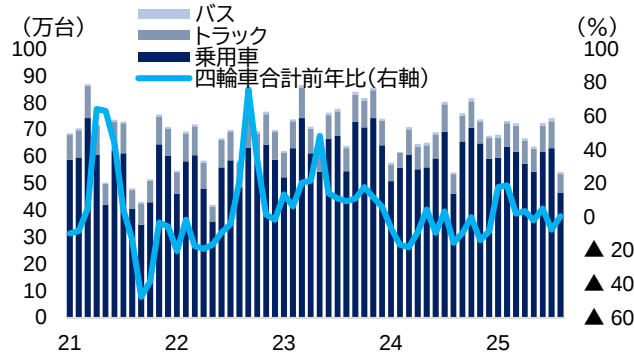
- 完成車生産は年度初めには前年の認証問題の反動増が見られたものの、販売環境は芳しくなく、勢いを欠く状況が続く。
- KDセットは中国での日系メーカーのシェア低下、東南アジアでの需要減も継続。

## ■見通し

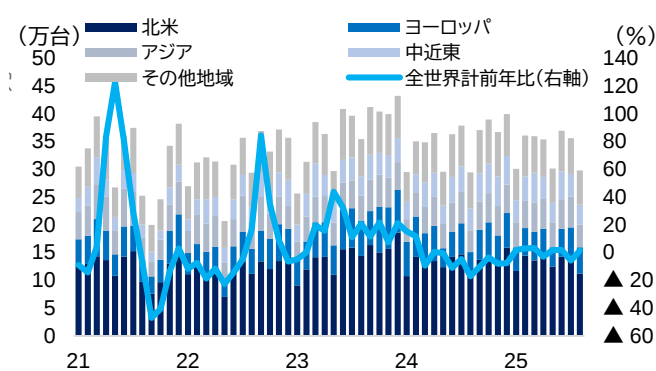
- 完成車は、日系メーカー車の国内外の需要減を背景に、生産台数は前年比減少の見込み。
- KDセットは、米国追加関税の影響などによる需要減が見込まれる。
- 内外需ともに盛り上がりを欠き、第3四半期の鋼材消費は前年から減少となる見込み。

### 自動車関連指標

#### 四輪車生産台数



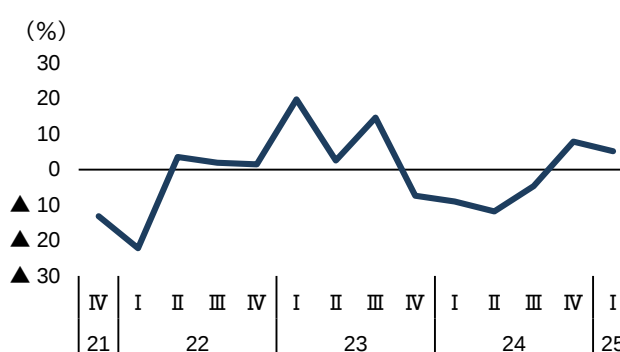
#### 四輪車輸出台数



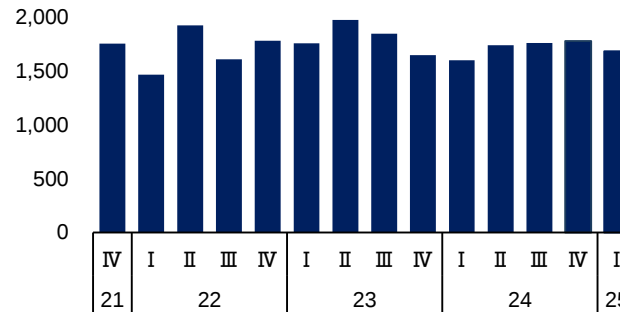
(出所)経済産業省、日本自動車工業会

### 普通鋼鋼材受注

#### 前年比



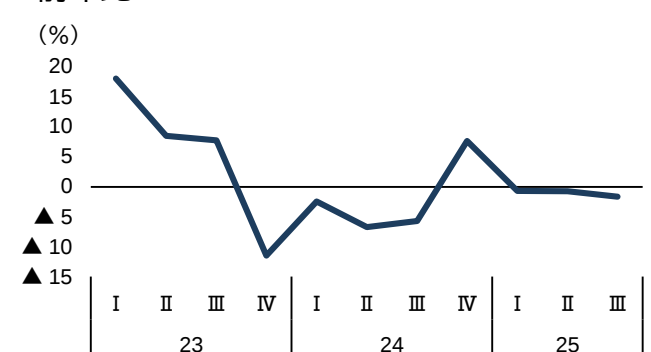
#### (千トン)



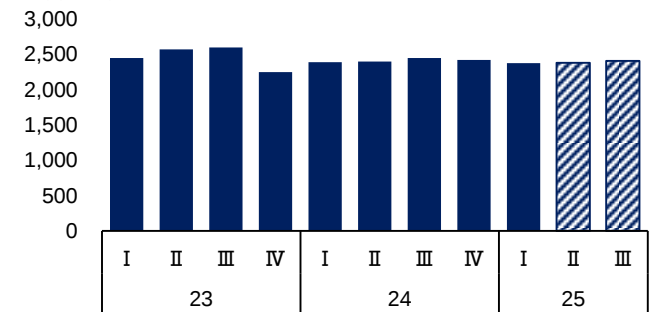
(出所)日本鉄鋼連盟

### 普通鋼鋼材消費

#### 前年比



#### (千トン)



(出所)経済産業省

# 産業機械部門

## ■足元の動向

- 建設機械は、国内外で建設活動が低調であることなどから前年割れが続く。
- 工作機械は、国内では投資減速が下押し要因ではあるものの、中国では、建機・農機などインフラ関連の投資が拡大基調。

## ■見通し

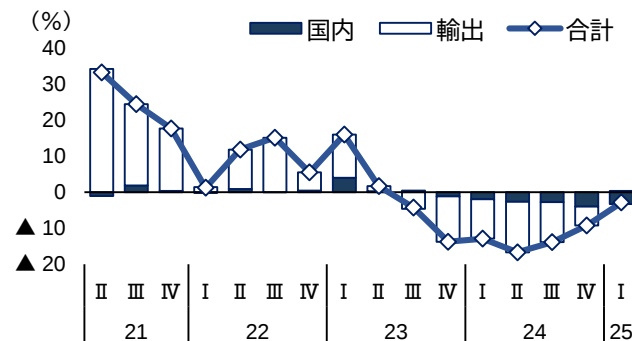
- 建設機械では、米国での在庫一巡もあり、需要は増加を見込む。
- 工作機械では、長期にわたり需要は低調であったが底打ち感がみられ、鋼材消費は増加の見通し。

### 産業機械関連指標

#### 機械受注額



#### 建設機械出荷額

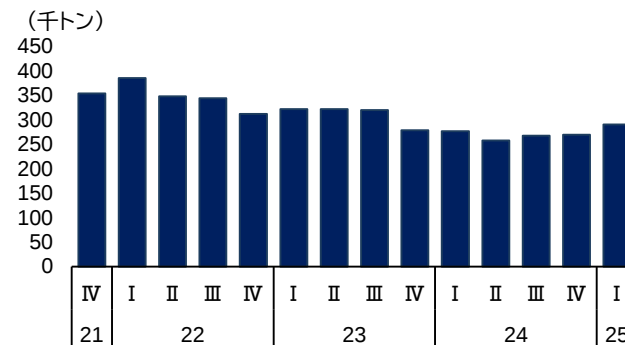
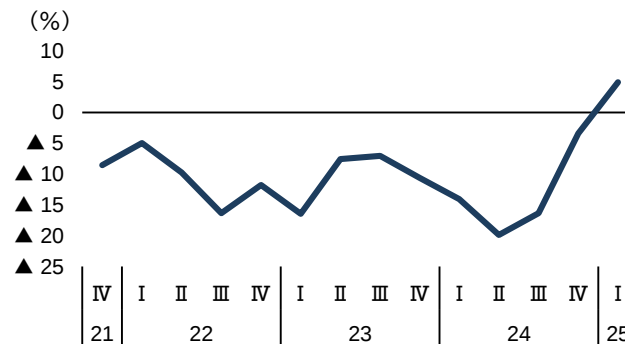


(出所)内閣府、日本建設機械工業会

(注)建設機械出荷額は、日本銀行「企業物価指数」を用いて実質化を行った。

### 普通鋼鋼材受注

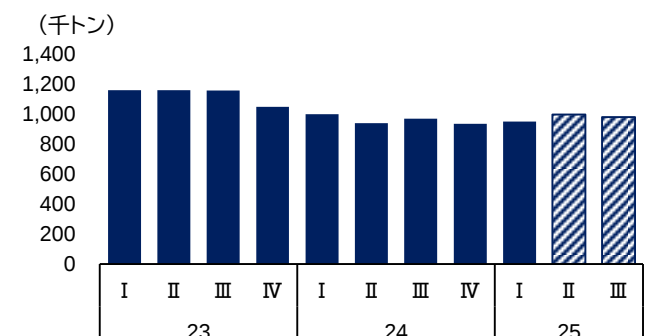
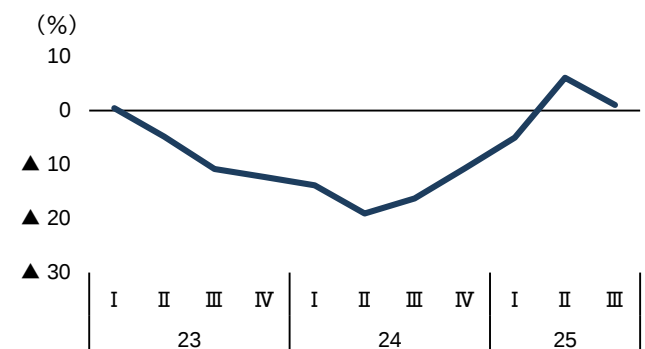
#### 前年比



(出所)日本鉄鋼連盟

### 普通鋼鋼材消費

#### 前年比



(出所)経済産業省

# 電気機械部門

## ■足元の動向

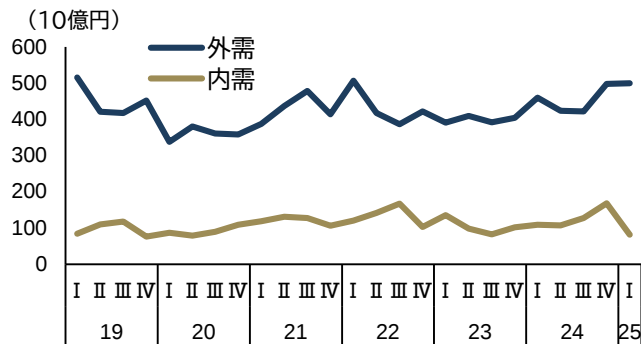
- 電気機械部門は国内経済の緩やかな回復や米国、中国といった海外経済の成長に支えられ、前年と同水準で推移。
- 重電機械は、非住宅建築への投資減などに影響され緩やかな減少が続いている。
- 家電は、消費者マインドの冷え込みから総じて前年比減少。

## ■見通し

- 重電機械は、回転電機が前年比増加、静止電機が前年比減少となり、全体では微減の見通し。
- 家電・民生用電子分野は、需要自体は堅調も、海外生産へのシフトなどを受けて前年比減少の見通し。

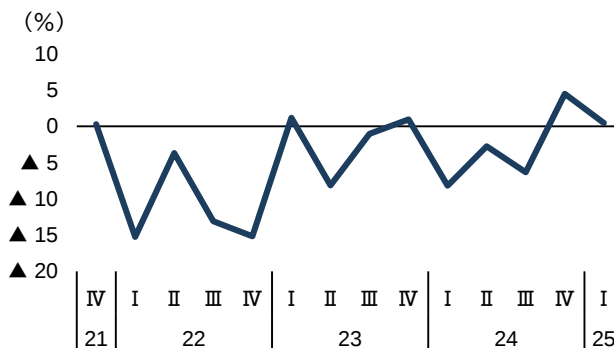
### 電気機械関連指標

重電機受注額(季節調整済)



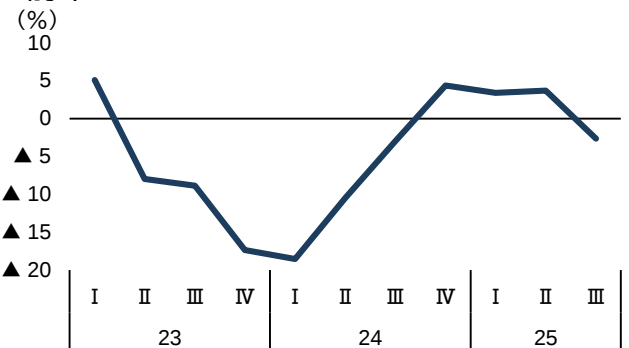
### 普通鋼鋼材受注

前年比

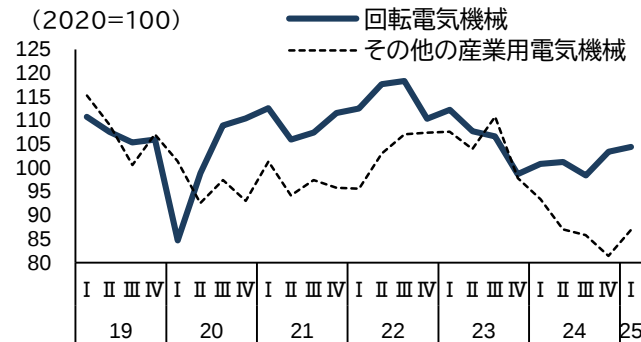


### 普通鋼鋼材消費

前年比



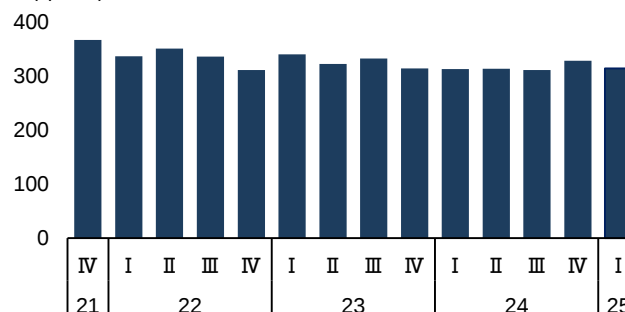
(2020=100)



(出所)内閣府、経済産業省

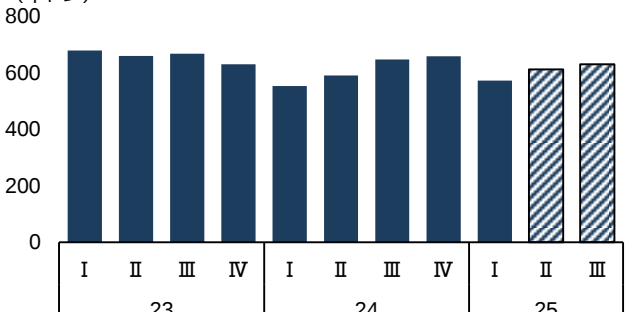
(注)受注額の内需は、合計と外需の差より算出。受注額は事務局にて季節調整を行った。

(千トン)



(出所)日本鉄鋼連盟

(千トン)



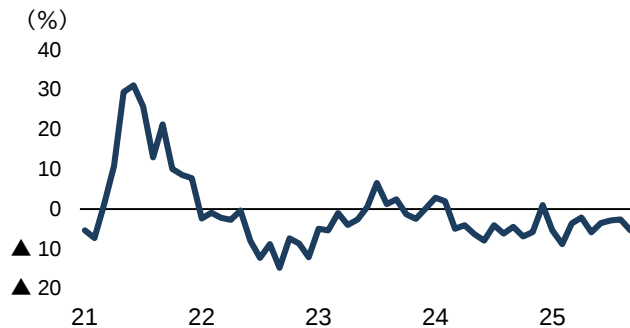
(出所)経済産業省

# 普通鋼需給

- 鉄鋼需要産業は、内外需ともに力強さを欠き、供給(生産・出荷)は弱含み。
  - ✓ 生産：9月 436.6万トン(前年同月比▲5.4%)  
4-9月 2736.4万トン(前年度比▲3.8%)
  - ✓ 出荷：8月 428.8万トン(前年同月比▲4.9%)  
4-8月 2277.3万トン(前年同期比▲3.8%)
- 普通鋼在庫量は、漸減傾向。鉄鋼業在庫判断DI(日銀短観)でも、調整局面の継続が示されている。

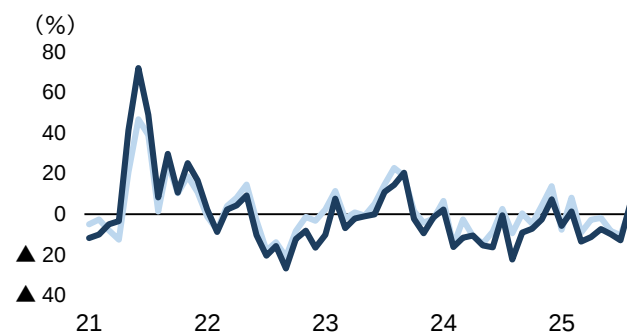
## 普通鋼鋼材生産

前年比



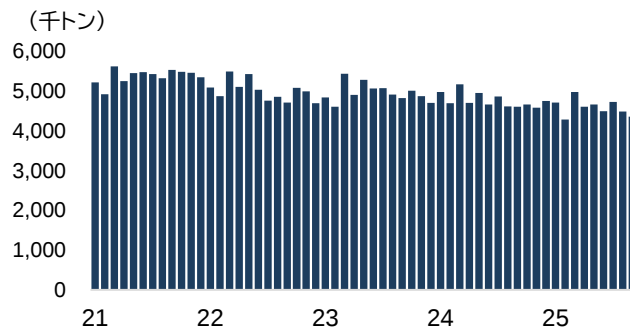
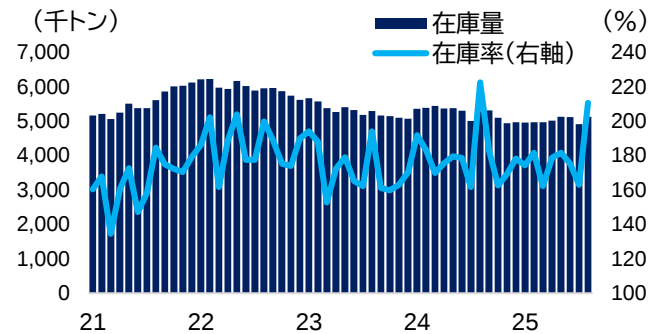
## 普通鋼鋼材出荷

前年比

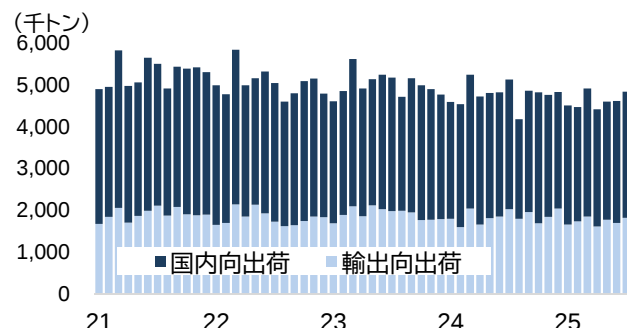


## 普通鋼鋼材在庫

普通鋼鋼材国内向け在庫

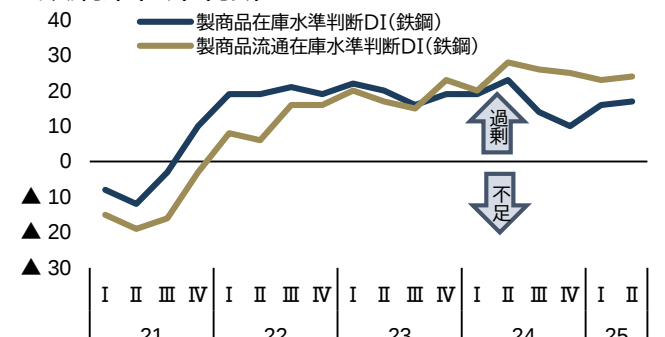


(出所)経済産業省



(出所)日本鉄鋼連盟

## 鉄鋼業在庫判断DI



(出所)日本鉄鋼連盟、日本銀行

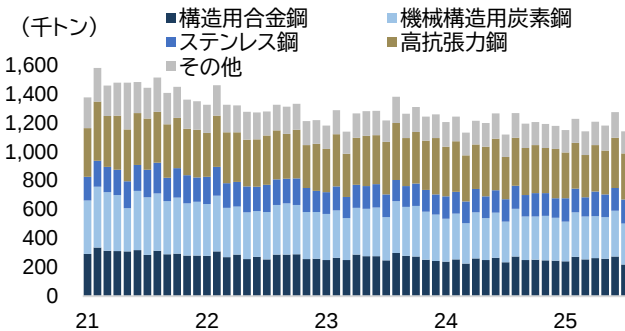
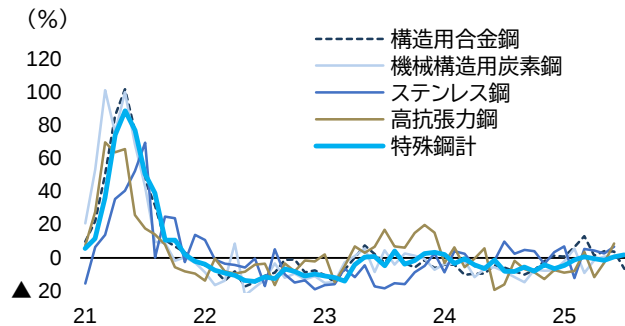
# 特殊鋼需給

- 内外需とも低調に推移  
 内需：自動車部門では、認証問題の影響から生産体制は正常化したものの、需要自体は勢いを欠く。  
 外需：産業機械は米国での在庫一巡もあり需要見合いの生産に移行。  
 自動車生産は日系メーカーの中国でのシェア低下、海外経済の下振れによる需要減少続く。

- 需要が低調に推移するものの、生産、出荷は足元で増加。  
 ✓ 生産：8月 114万トン(前年同月比+1.9%)  
 ✓ 出荷：8月 109.8万トン(前年同月比+10.6%)
- 8月の在庫は162万トン(前月比+9千トン)。

## 特殊鋼鋼材生産

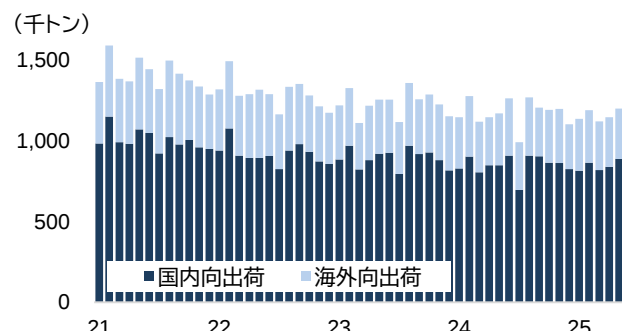
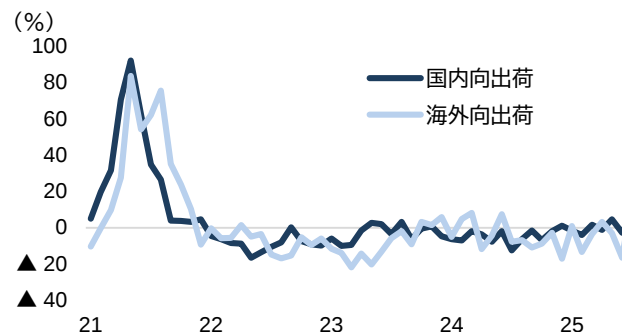
前年比



(出所)経済産業省

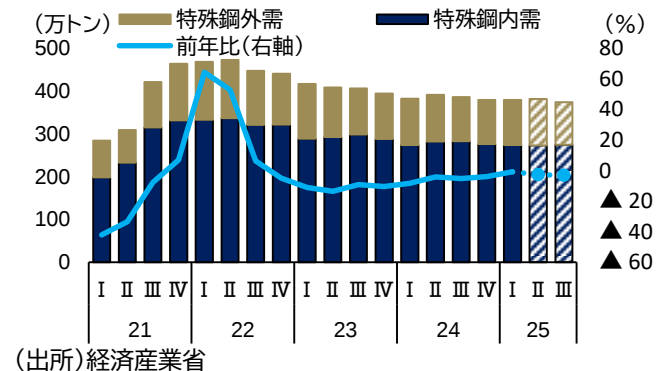
## 特殊鋼鋼材出荷

前年比



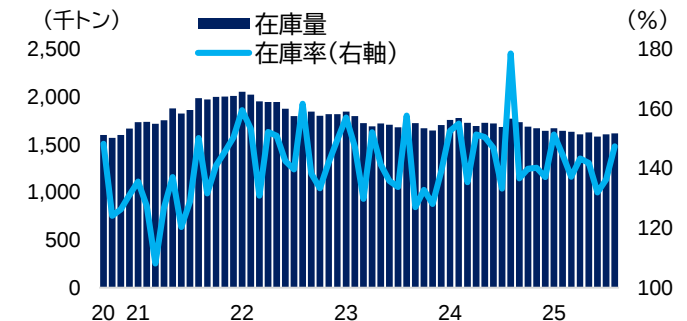
(出所)日本鉄鋼連盟

## 特殊鋼鋼材需要



(出所)経済産業省

## 特殊鋼鋼材在庫



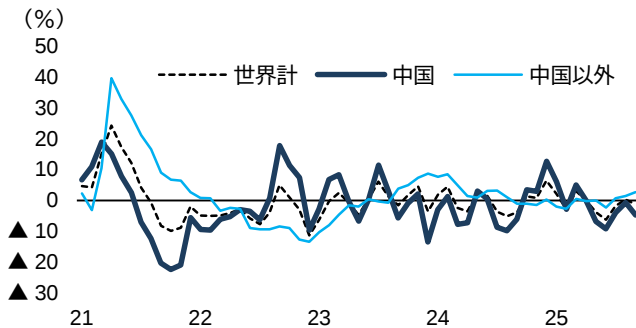
(出所)日本鉄鋼連盟、特殊鋼倶楽部

# 海外鉄鋼市場

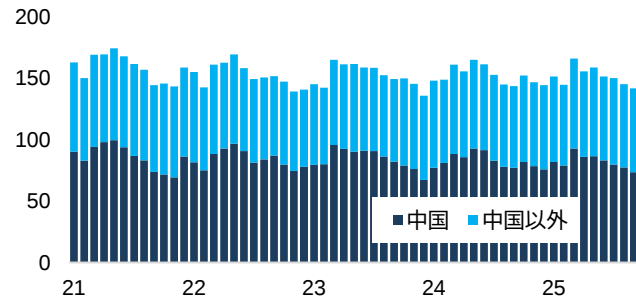
- 国際鉄鋼市場は総じて停滞。中国は内需改善がみられないなか高水準の生産が続く。インドは拡大基調を継続。
  - ✓ 世界の粗鋼生産: 9月 1億4,180万トン(前年同月比▲1.6%)  
1-9月 13億7,380万トン(前年同期比▲1.6%)
  - ✓ 中国の粗鋼生産: 9月 7,350万トン(前年同月比▲4.6%)  
1-9月 7億4,630万トン(前年同期比▲2.9%)
  - ✓ インドの粗鋼生産: 9月 1,360万トン(前年同月比+13.2%)  
1-9月 1億2,240万トン(前年同期比+10.5%)
- 中国の鋼材輸出: 9月 1,047万トン(前年同月比+3.1%)  
1-9月 8,796万トン(前年同期比+9.2%)  
\* 1-9月期では過去最高を記録  
(参考: 16年1-9月期 8,512万トン)
- 中国の輸出が高水準で推移するなか、25年10月時点の新規AD調査開始件数は24件(うち、中国を含むものは19件)。

## 世界粗鋼生産

前年比



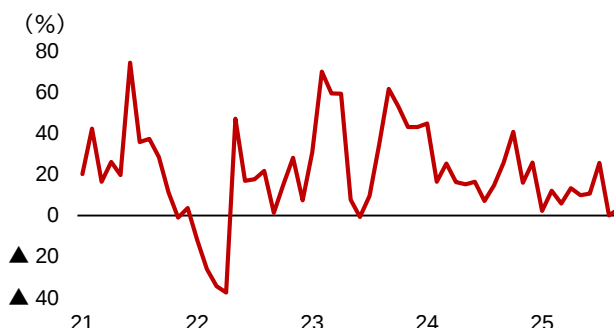
(百万トン)



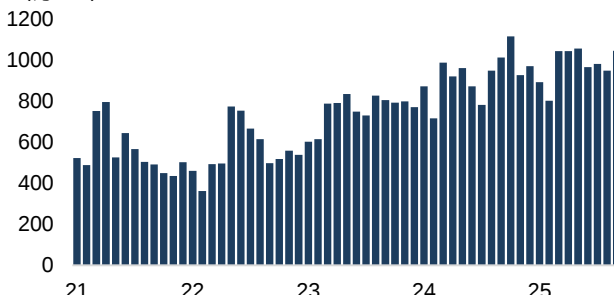
(出所)世界鉄鋼協会(worldsteel)

## 中国の鋼材輸出

前年比



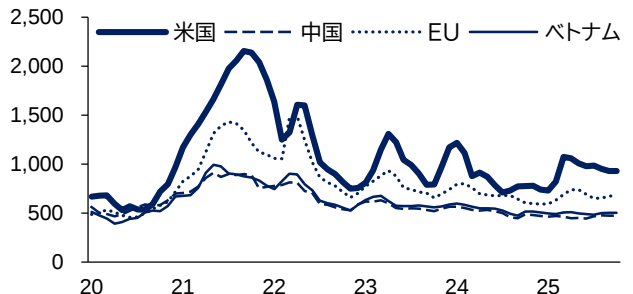
(万トン)



(出所)海関総署

## 主要国の熱延コイル市況

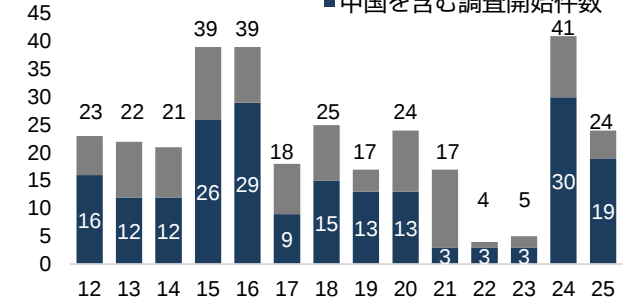
(ドル/トン)



(出所)Kallanish

## 鉄鋼製品への新規AD調査開始件数

(件数)



(出所)日本鉄鋼連盟調べ (注)2025年は10月24日時点、暦年

# 鋼材輸入

- 内需が減少を辿るなか、鋼材輸入は増加続き、輸入浸透率は上昇。

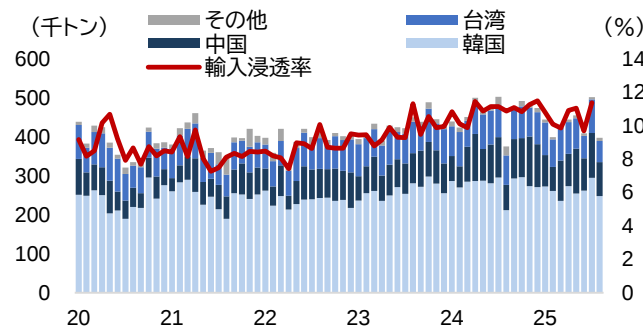
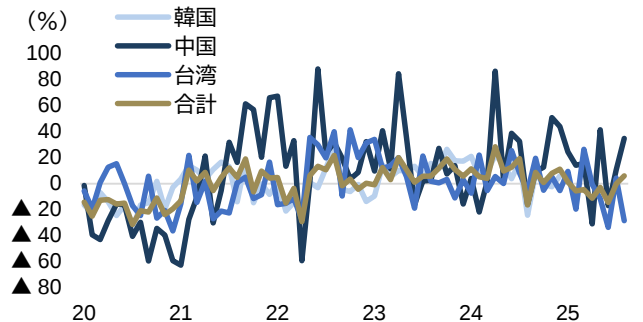
- ✓ 鋼材輸入:8月 39.8万トン(前年同月比+5.9%)  
4-8月 220.8万トン(前年同期比▲5.1%)
- ✓ 供給国別(8月)では、韓国は24.8万トン(前年同期比+16.9%)、中国は8.8万トン(同+34.8%)、台湾は5.4万トン(▲28.6%)。

- 主要品種は増減にばらつきが見られた(8月)。

- ✓ 亜鉛めっき鋼板:9.4万トン(前年同期比+6.9%)
- ✓ 熱延鋼板類:10.6万トン(同+17.2%)
- ✓ 冷延鋼板類:5.8万トン(同▲8.8%)
- ✓ ステンレス鋼板:2.4万トン(同▲7.4%)

## 鋼材輸入(普通鋼+特殊鋼)

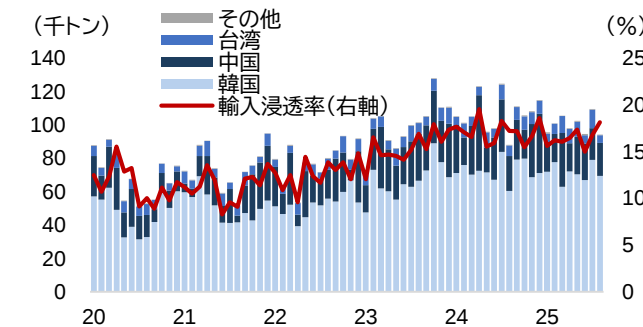
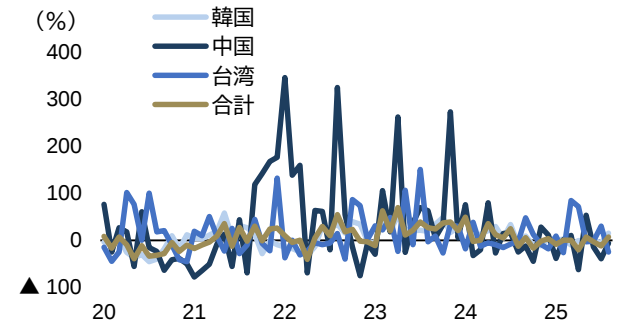
前年比



(出所)財務省通関統計  
(注)日本鉄鋼連盟にて品目による集計を行っている。  
輸入浸透率 = 輸入量/(国内出荷量+輸入量)

## 亜鉛めっき鋼板輸入

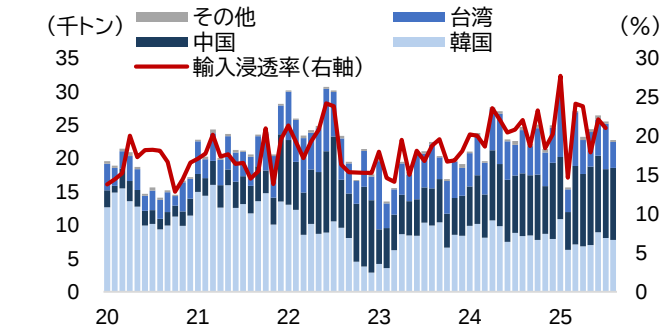
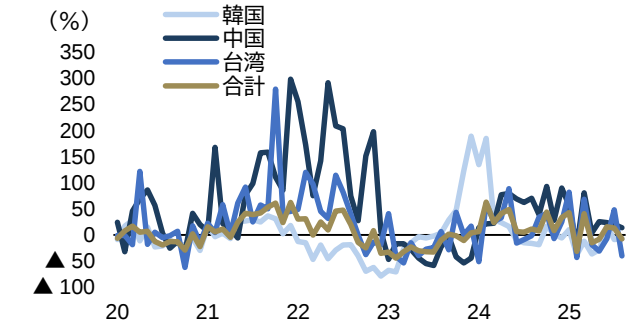
前年比



(出所)財務省通関統計  
(注)日本鉄鋼連盟にて品目による集計を行っている。  
輸入浸透率 = 輸入量/(国内出荷量+輸入量)

## ステンレス鋼輸入

前年比

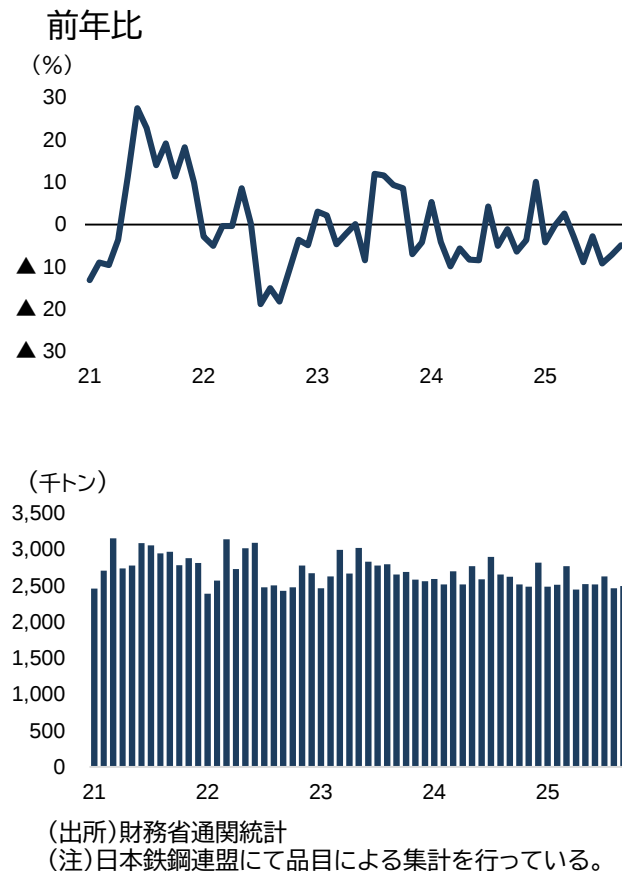


(出所)財務省通関統計  
(注)日本鉄鋼連盟にて品目による集計を行っている。  
輸入浸透率 = 輸入量/(国内出荷量+輸入量)

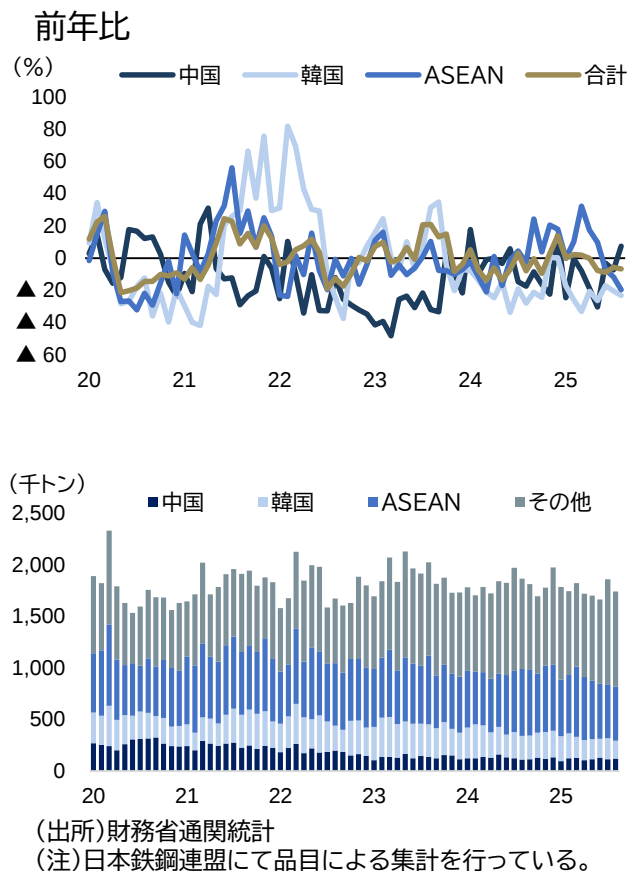
# 鉄鋼輸出

- 輸出環境が厳しさを増すなか、減少基調。
  - ✓ 全鉄鋼輸出:9月 249.8万トン(前年同月比▲4.9%)  
4-9月 1508.6万トン(前年同期比▲6.1%)
  - ✓ 向け先は、中国が微増の一方、韓国、ASEAN、米国は減少。
- 品種別(8月)では、冷延鋼板類を除く主要鋼板類が軒並み減少。
  - ✓ 熱延鋼板類:96.3万トン(前年同月比▲9.4%)
  - ✓ 冷延鋼板類:12.3万トン(同▲12.1%)
  - ✓ 厚中板:20.8万トン(同▲15.5%)
- 鋼塊・半製品は減少。
  - ✓ 鋼塊・半製品:18.9万トン(前年同期比▲24.0%)。

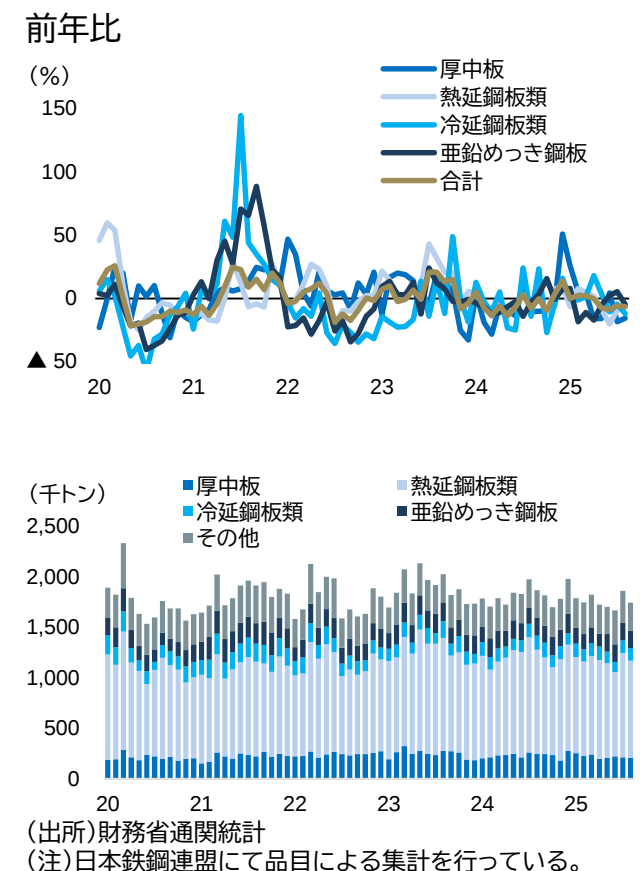
## 全鉄鋼輸出



## 普通鋼鋼材輸出(向け先別)



## 普通鋼鋼材輸出(品種別)



# 要旨

## 1. 鋼材需要部門

- ・ 政府は、利下げ、在庫住宅の買い取り等の支援策を実施しているものの、建設部門の低迷は継続。
- ・ 自動車部門は新エネ車が増加する一方、内燃車が減少し、国内販売全体は横ばい。内需低迷を背景に、自動車、家電の輸出が増加。

## 2. 鉄鋼需給

- ・ 粗鋼見掛け消費は減少しているにも関わらず生産が高止まりしている結果ギャップが拡大し、輸出に振り向ける動きが加速しており、鋼材輸出は2年連続で過去最高を更新する見込み。
- ・ 政府は、「粗鋼生産の調整・抑制が必要」といった認識は示すものの、具体的な減産水準・指導等は発出せず。
- ・ 鋼材輸出は、高付加価値シフトの動きを受け、鋼塊・半製品、条鋼類は近年抑制されていたものの、内需低迷を受け増加に転じている他、亜鉛めっき鋼板、表面処理鋼板は3年連続で過去最高を更新する見込み。

## 3. 鋼材輸出

- ・ 中国鉄鋼企業による越境投資は続いており、マレーシア、インドネシアでは、熱延ミルを新規稼働させ、EU向けを中心に輸出が大幅増。
- ・ 25年の新規AD調査開始件数は24件、その内、中国を対象とする調査は19件と、前年に引き続き、依然として高水準。

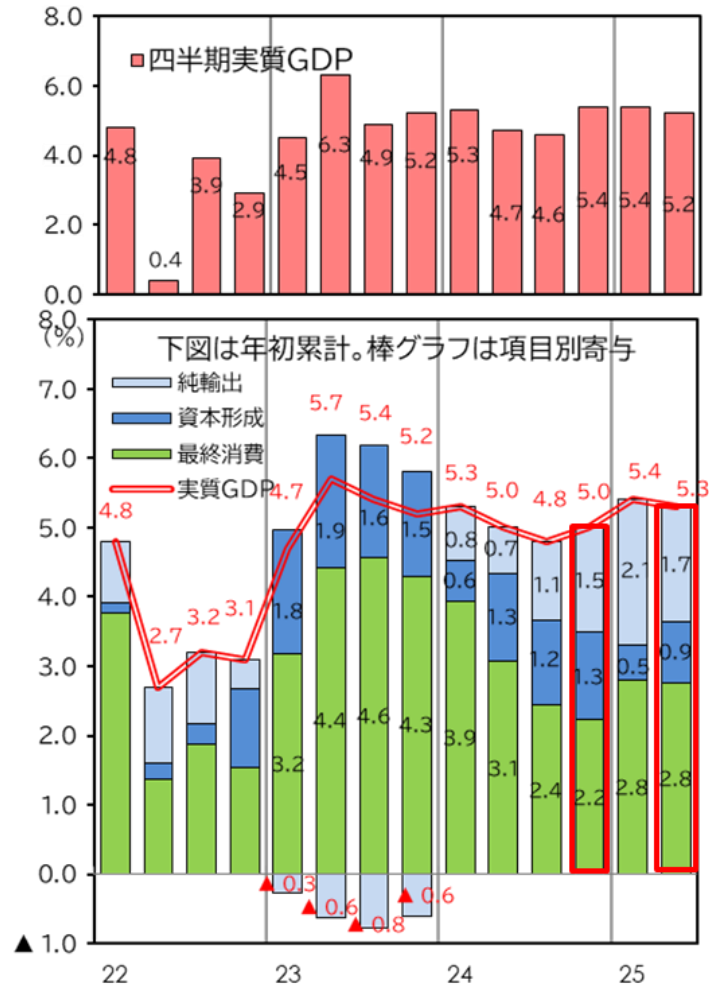
## 4. 鉄鋼企業の収益

- ・ 国内の鋼材市況が低迷するものの、原料価格の下落・輸出増を受け、利益は小幅に回復。

# 経済動向

- 25年第2四半期の実質GDP成長率は、前年同期比+5.2%となり、第1四半期の+5.4%から小幅に減速した。
- 24年通年(前年比+5.0%)と25年1-6月期(同+5.3%)の項目別寄与度を比較すると、最終消費、純輸出が拡大した一方、資本形成は縮小した。
- 政府の25年の実質GDP成長率目標は、昨年と同じ+5.0%前後と設定。耐久消費財の買い替え、インフラ整備に充当する地方特別債の消化加速、政策金利の引下げ等、内需刺激策を継続するものの、9月の製造業PMI(統計局)は49.8と6か月連続で50の分岐点を下回る。

対前年比実質GDP成長率と寄与度



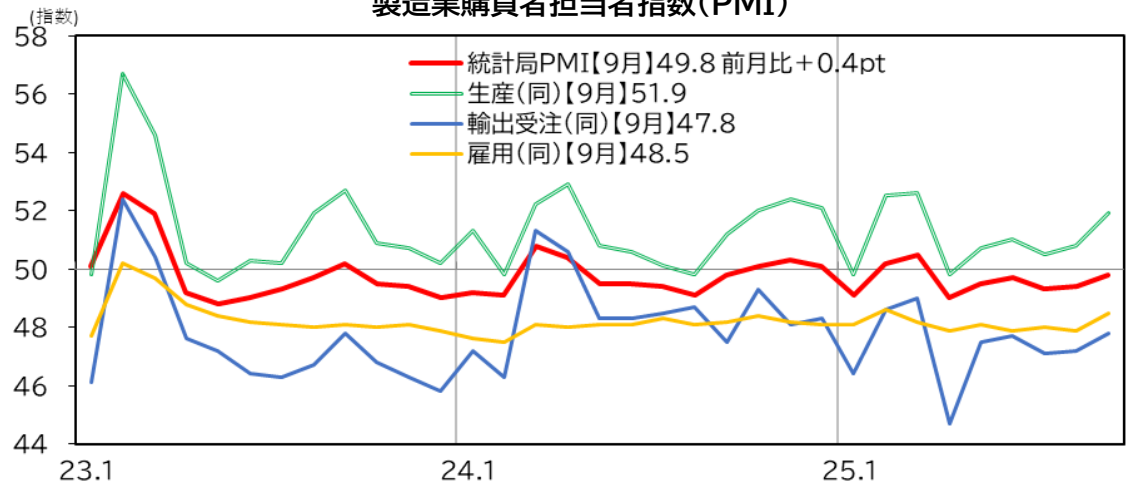
(出所)国家統計局、CEIC

2025年主要経済指標・前年同月比 [%]

|         | 1月    | 前月比 | 2月   | 前月比 | 3月   | 前月比 | 4月   | 前月比 | 5月   | 前月比 | 6月   | 前月比 | 7月   | 前月比 | 8月   | 前月比 | 9月   | 前月比 |
|---------|-------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| 固定資産投資  | 4.1   | ▲   | 4.1  | →   | 4.2  | ▲   | 4.0  | ▲   | 3.7  | ▲   | 2.8  | ▲   | 1.6  | ▲   | 0.5  | ▲   | ▲0.5 | ▲   |
| 工業生産    | 5.9   | ▲   | 5.9  | →   | 7.7  | ▲   | 6.1  | ▲   | 5.8  | ▲   | 6.8  | ▲   | 5.7  | ▲   | 5.2  | ▲   | 6.5  | ▲   |
| 輸出      | 6.0   | ▲   | ▲3.0 | ▲   | 12.4 | ▲   | 8.1  | ▲   | 4.8  | ▲   | 5.8  | ▲   | 7.2  | ▲   | 4.4  | ▲   | 8.3  | ▲   |
| 輸入      | ▲16.5 | ▲   | 1.5  | ▲   | ▲4.3 | ▲   | ▲0.2 | ▲   | ▲3.4 | ▲   | 1.1  | ▲   | 4.1  | ▲   | 1.3  | ▲   | 7.4  | ▲   |
| 小売総額    | 4.0   | ▲   | 4.0  | →   | 5.9  | ▲   | 5.1  | ▲   | 6.4  | ▲   | 4.8  | ▲   | 3.7  | ▲   | 3.4  | ▲   | 3.0  | ▲   |
| 電力消費    | 2.7   | ▲   | 8.6  | ▲   | 4.8  | ▲   | 4.7  | ▲   | 4.4  | ▲   | 5.4  | ▲   | 8.6  | ▲   | 5.0  | ▲   | —    | —   |
| 貨物輸送    | ▲2.7  | ▲   | 3.7  | ▲   | 2.4  | ▲   | 4.9  | ▲   | 0.7  | ▲   | 2.3  | ▲   | 4.5  | ▲   | 5.6  | ▲   | —    | —   |
| 失業率     | 5.2   | ▲   | 5.4  | ▲   | 5.2  | ▲   | 5.1  | ▲   | 5.0  | ▲   | 5.0  | →   | 5.2  | ▲   | 5.3  | ▲   | 5.2  | ▲   |
| 生産者物価指数 | ▲2.3  | →   | ▲2.2 | ▲   | ▲2.5 | ▲   | ▲2.7 | ▲   | ▲3.3 | ▲   | ▲3.6 | ▲   | ▲3.6 | →   | ▲2.9 | ▲   | ▲2.3 | ▲   |

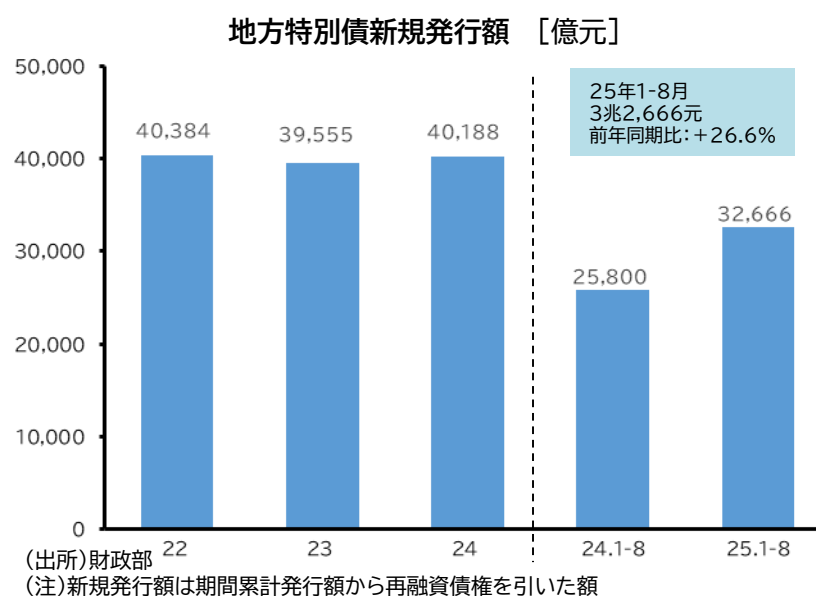
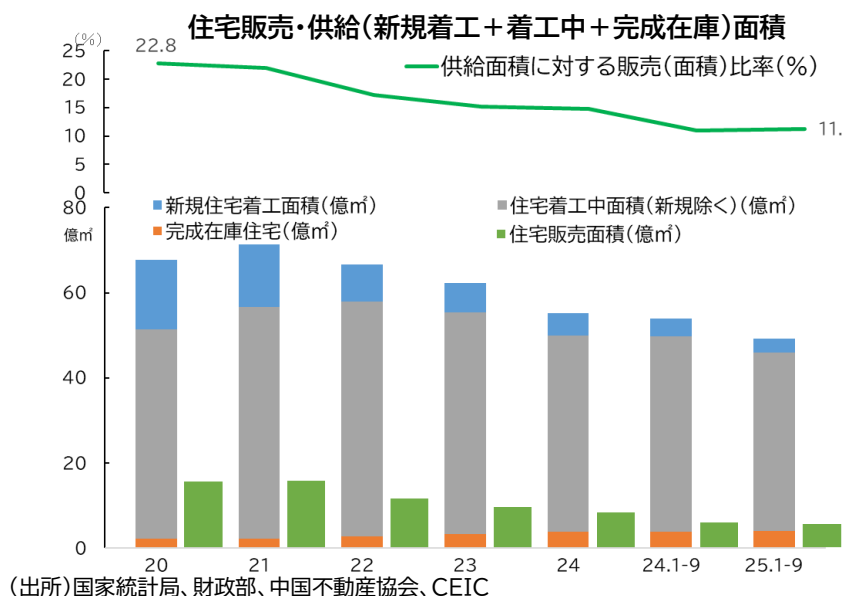
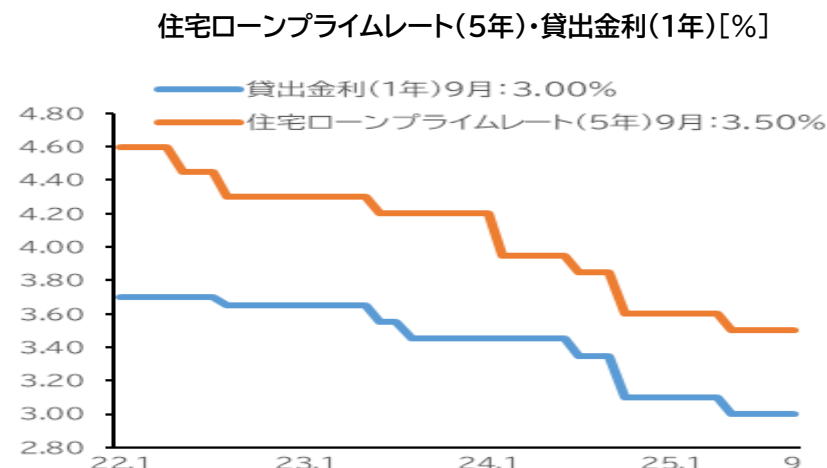
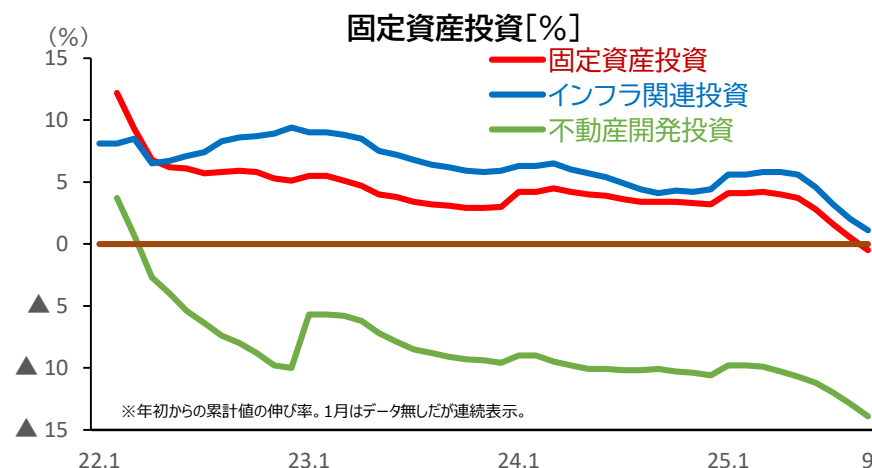
※固定資産投資は該当月までの前年同期比

製造業購買者担当者指数(PMI)



# 建設：不動産・インフラ

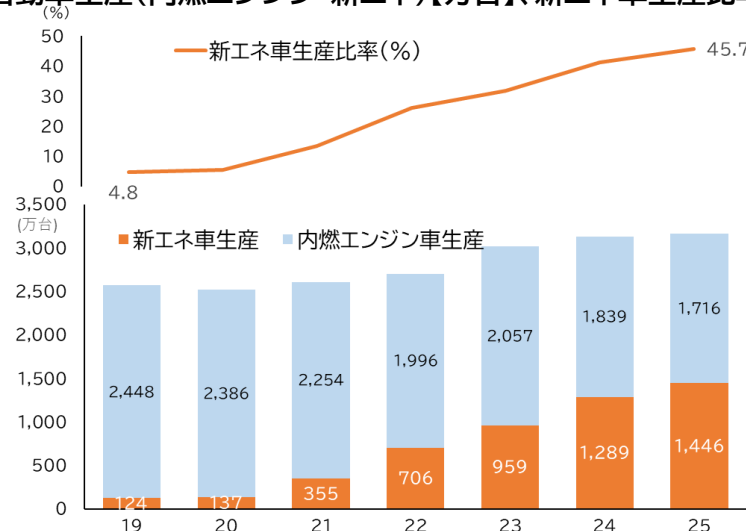
- 政府は貸出金利・住宅ローンプライムレートの引下げ、融資返済期間の延長、住宅ローン頭金比率の下限引下げ、地方政府による在庫住宅の買い取り等の支援策を継続しているものの、不動産開発投資は前年割れが続いており、固定資産投資は25年1 - 9月で前年割れ、インフラ開発投資も減速。
- 住宅販売面積の減少ペースが供給面積(新規着工+着工中+完成在庫)の減少ペースを上回っており、供給面積を販売面積で割った比率は、20年の22.8%から25年1~9月は11.2%へ大きく低下。
- インフラ整備などに使われる地方特別債の新規発行額は、1-8月で前年比+26.6%と増加も、インフラ関連投資の増加には未だ結びついていない。



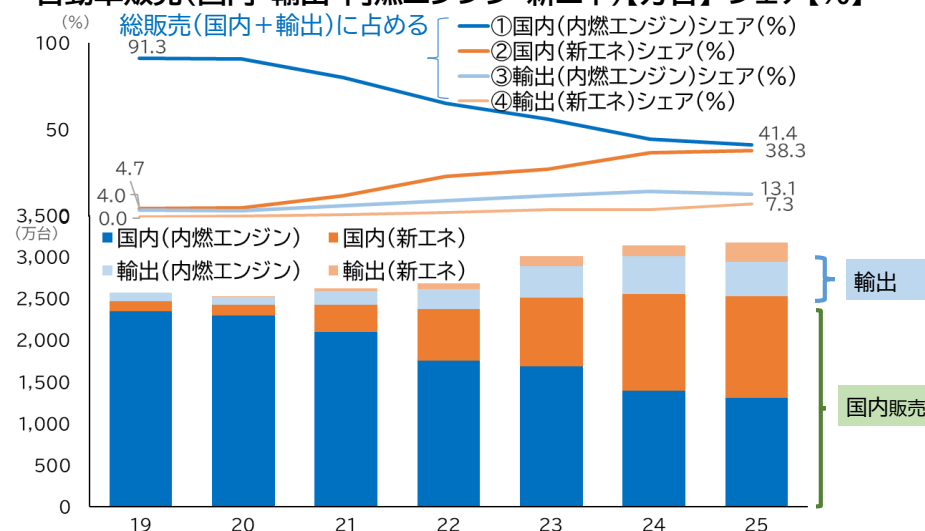
# 製造業：自動車・家電

- 自動車生産は内燃車が縮小する一方、新エネ車が大幅に増加し、25年の新エネ車生産比率は45.7%に達した。
- 自動車の国内販売は新エネ車が大きく増加する一方、内燃車が大きく減少し、国内販売合計は頭打ちとなる中、輸出を拡大しており、総販売に占める輸出比率は、19年の4%から25年は20.4%へ拡大。
- 家電販売は、政府の消費振興策のなか総じて伸びているが、特に輸出の伸びが著しい。

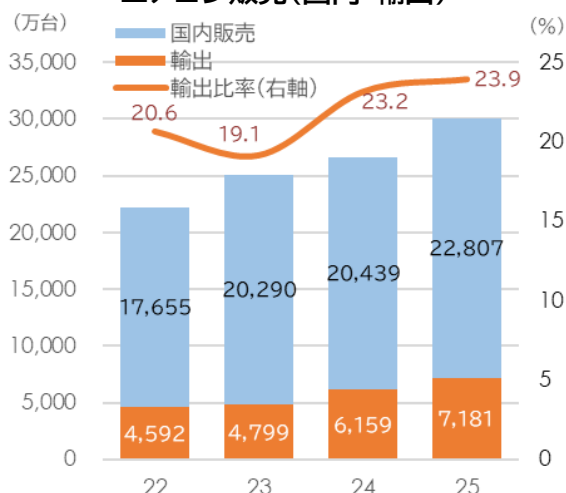
自動車生産(内燃エンジン・新エネ)【万台】、新エネ車生産比率【%】



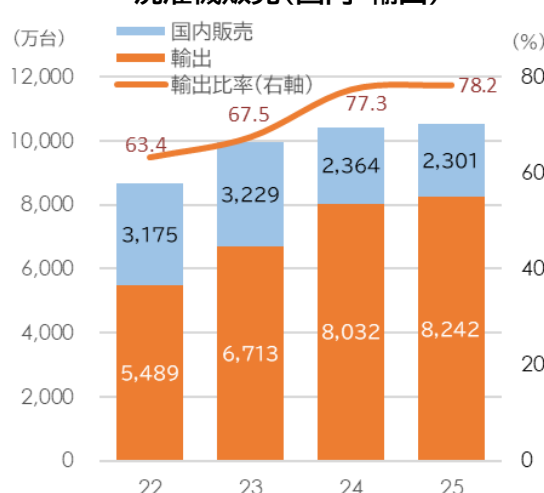
自動車販売(国内・輸出・内燃エンジン・新エネ)【万台】・シェア【%】



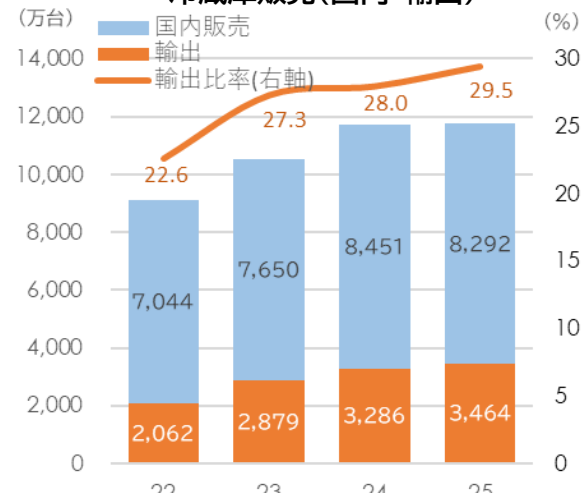
エアコン販売(国内・輸出)



洗濯機販売(国内・輸出)



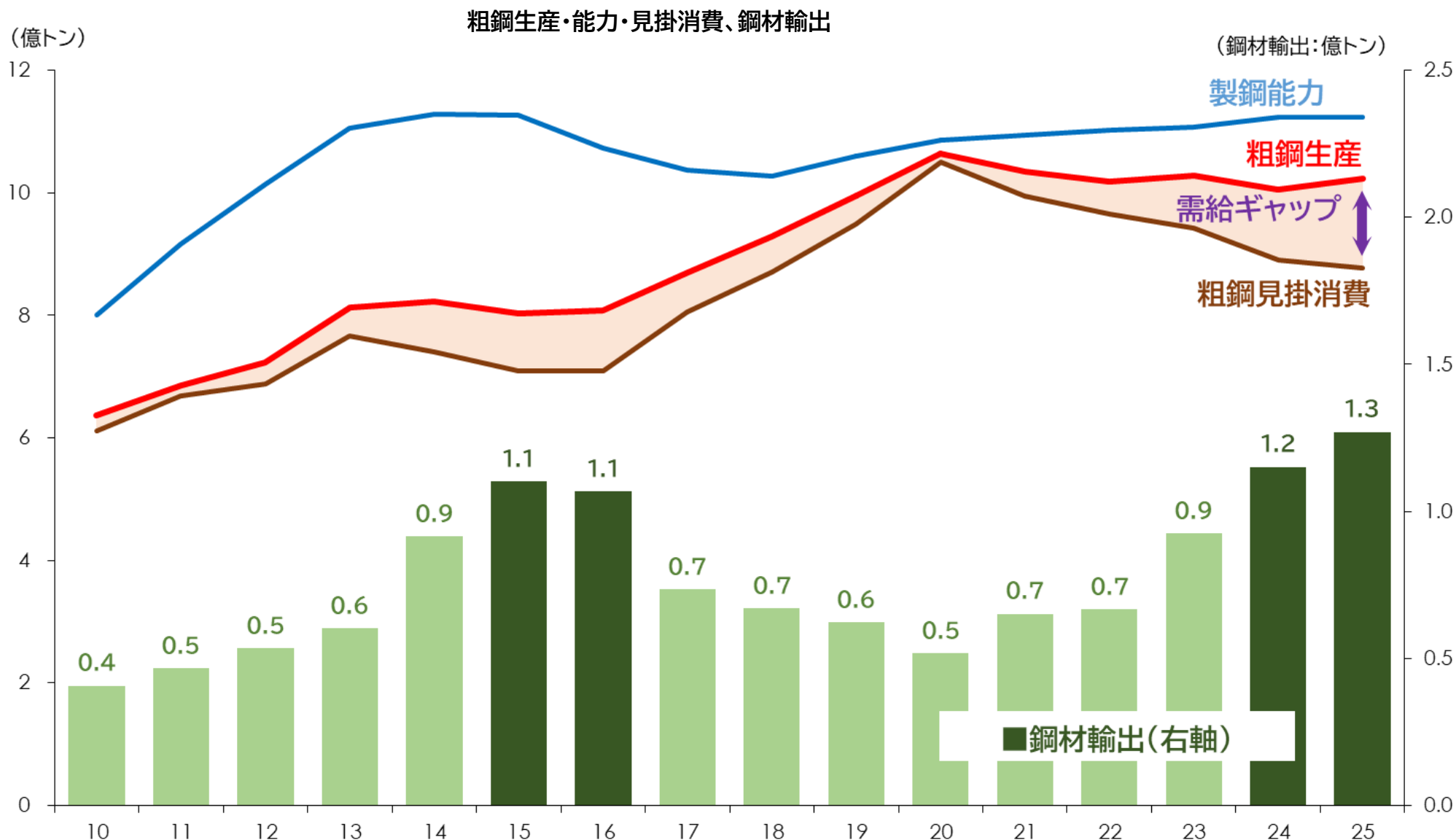
冷蔵庫販売(国内・輸出)



(出所)国家统计局、中国汽车工业协会、マクラインズ、財務省通関統計 ※25年:1-8月を年換算

# 粗鋼生産・能力・見掛消費、鋼材輸出

- 中国の粗鋼・鋼材見掛消費は20年をピークに減少傾向となっている一方、生産能力・生産は高止まりしている。
- その結果、需給ギャップが21年以降拡大しており、国内消費されない余剰分を輸出に振り向ける構造が継続している。

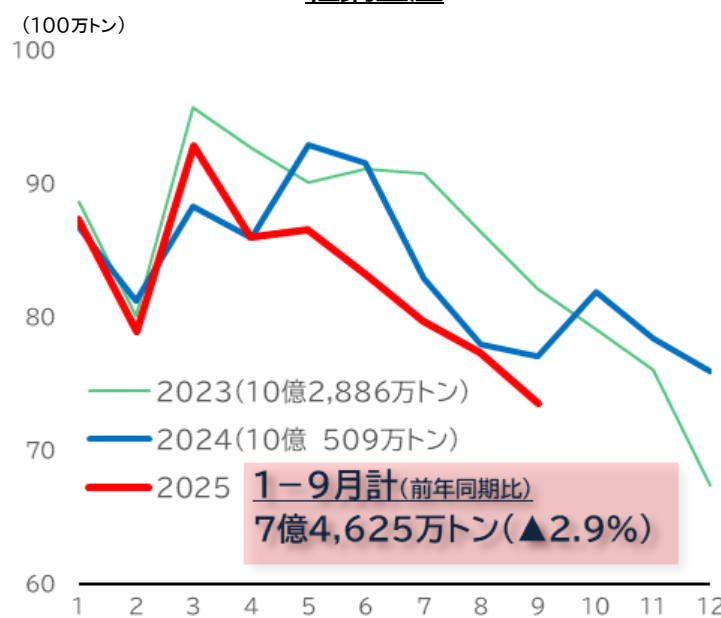


(出所)粗鋼生産、製鋼能力・国家統計局、粗鋼見掛消費・worldsteel、鋼材輸出・中国通関統計

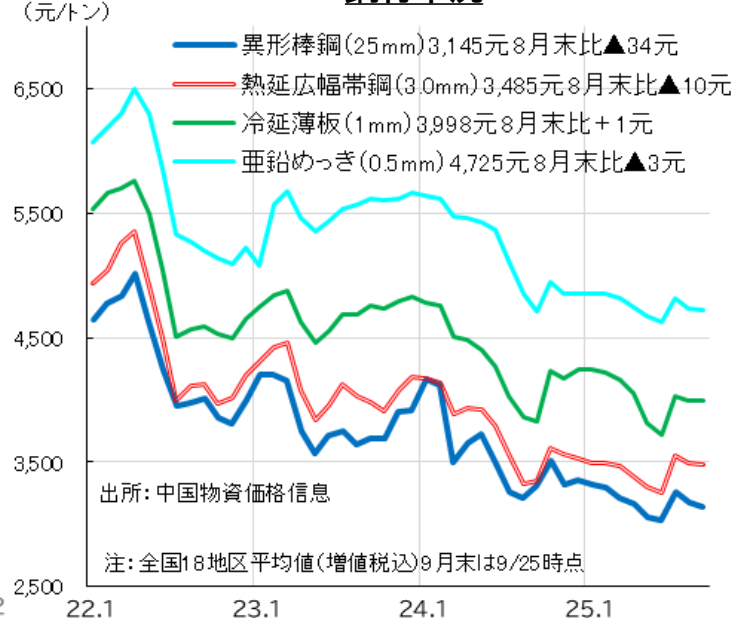
# 粗鋼生産 減産調整を巡る動き・鋼材市況・輸出

- 25年3月14日の全人代にて、国家発展改革委員会が「**粗鋼生産の調整・抑制を継続的に実施し、鉄鋼業の減産・再編を推進する**」との方針を示したものの、具体的な減産水準などは不詳。
- 同年7月1日の中国共産党・中央財經委員会第6回会議にて、「**企業間の低価格と無秩序な競争を規制し、企業が製品の品質を向上させ、立ち遅れた生産能力の秩序ある撤退を促進しなければならない**」との意見を提示。
- 同年7月18日の工信部の上半期記者会見にて、「**鉄鋼など重点10業界の安定成長に向けた作業方案を実施し、重点業界が構造調整、供給最適化、立ち遅れた生産能力の淘汰に注力するよう推進する。具体的な作業方案は近日中に発表する**」とのコメント。
- 中国の粗鋼生産は、単月では5月から8月まで4ヵ月連続で前年割れとなり、7月のCISA重点会員企業(上旬+中旬)の粗鋼生産が前年比減となったこと、上記の7月の政府・共産党のコメントを受け、7月半ばに鋼材市況が小幅に反発。
- 同年9月22日、工信部など5部門が「鉄鋼業界の安定的成長に関する業務方案(2025-2026年)」を公表。「**生産量・能力の適切な抑制と調整を実施する**」としたが、鋼材市況は9月に下落。
- 9月の粗鋼生産は前年同月比▲4.6%と5ヵ月連続の前年比減。同月の鋼材輸出(鋼塊・半製品を除く速報値)は1,047万トンと4ヵ月ぶりに1,000万トンを超え、1～9月合計では前年比+9.2%の8,796万トンと同期の過去最高を更新。

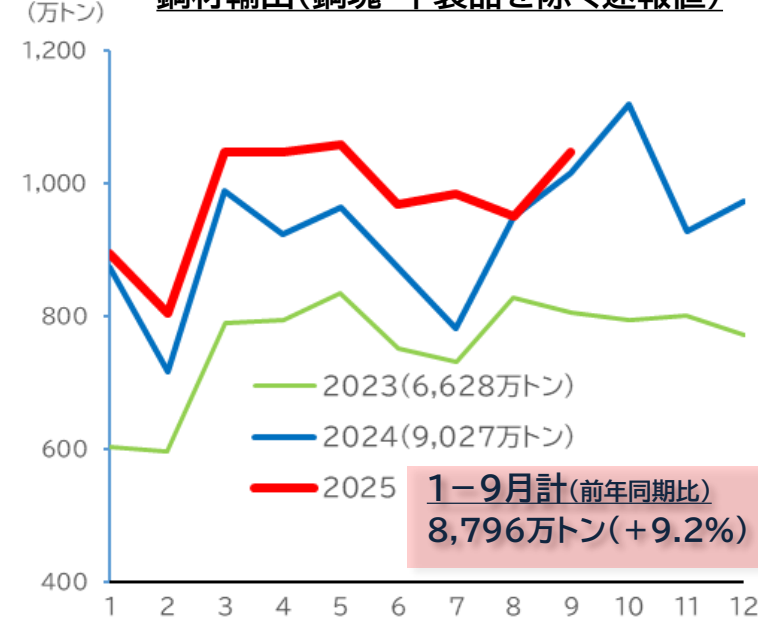
粗鋼生産



鋼材市況



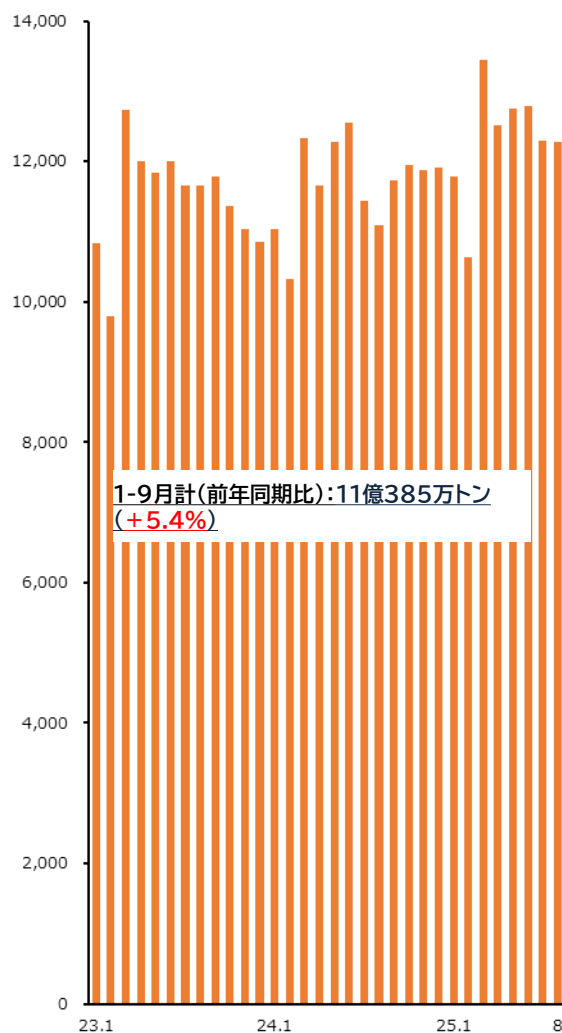
鋼材輸出(鋼塊・半製品を除く速報値)



# 鋼材生産

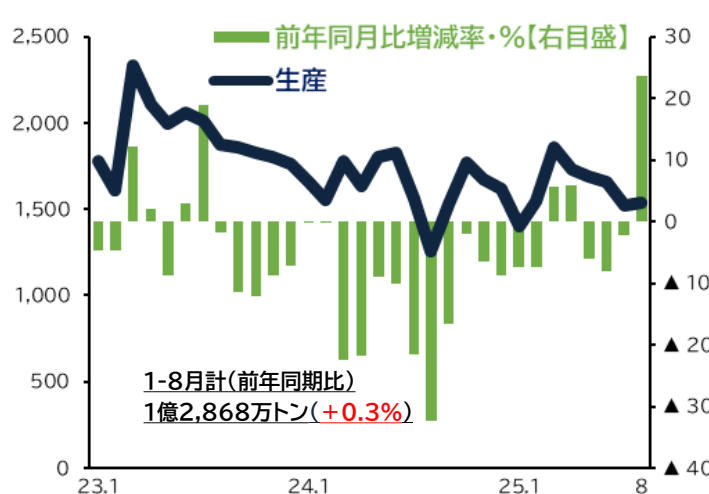
- 鋼材生産は25年1～9月累計で前年同期比+5.4%の11億385万トン。
- 棒鋼は足元3カ月連続で前年比減、1～8月累計では、前年同期比で微増。線材は月ごとに増減があるものの、1～8月累計で同+2.0%の増加。
- 中厚熱延広幅、冷延薄板の生産は、1～8月期は前年同期比では、それぞれ+4.2%、+7.6%と増加。

鋼材生産【万トン】

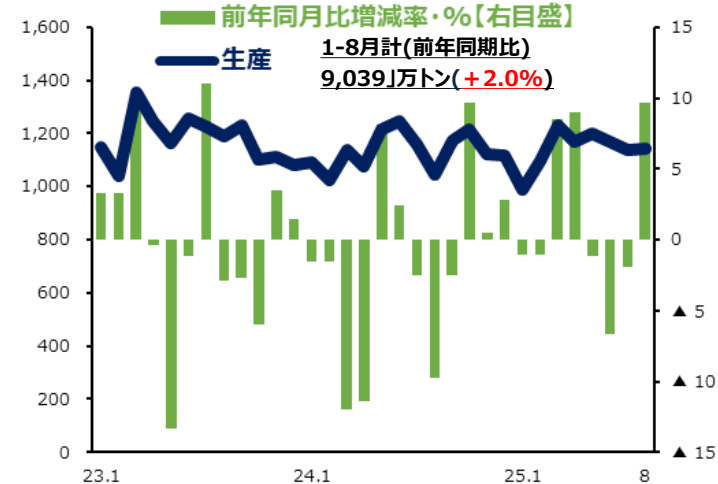


(出所)国家統計局、CISA

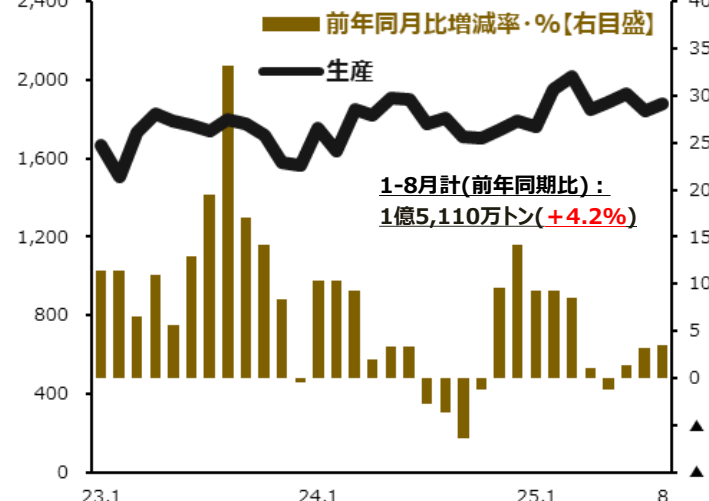
鉄筋用棒鋼生産【万トン・%】



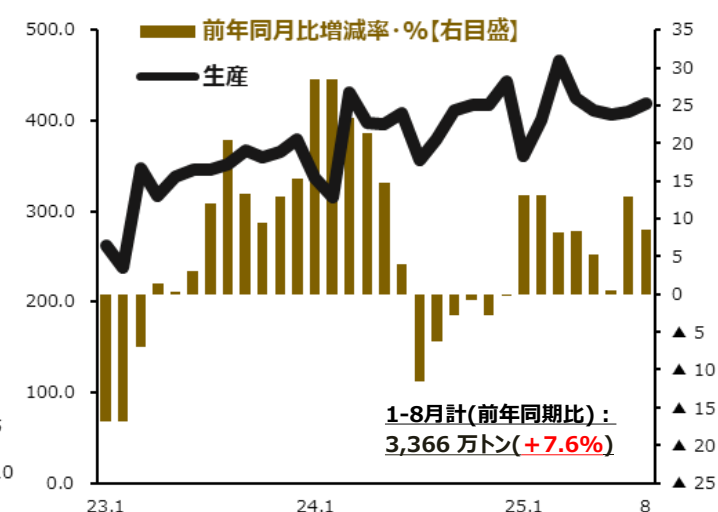
線材生産【万トン・%】



中厚熱延広幅帯鋼生産【万トン・%】



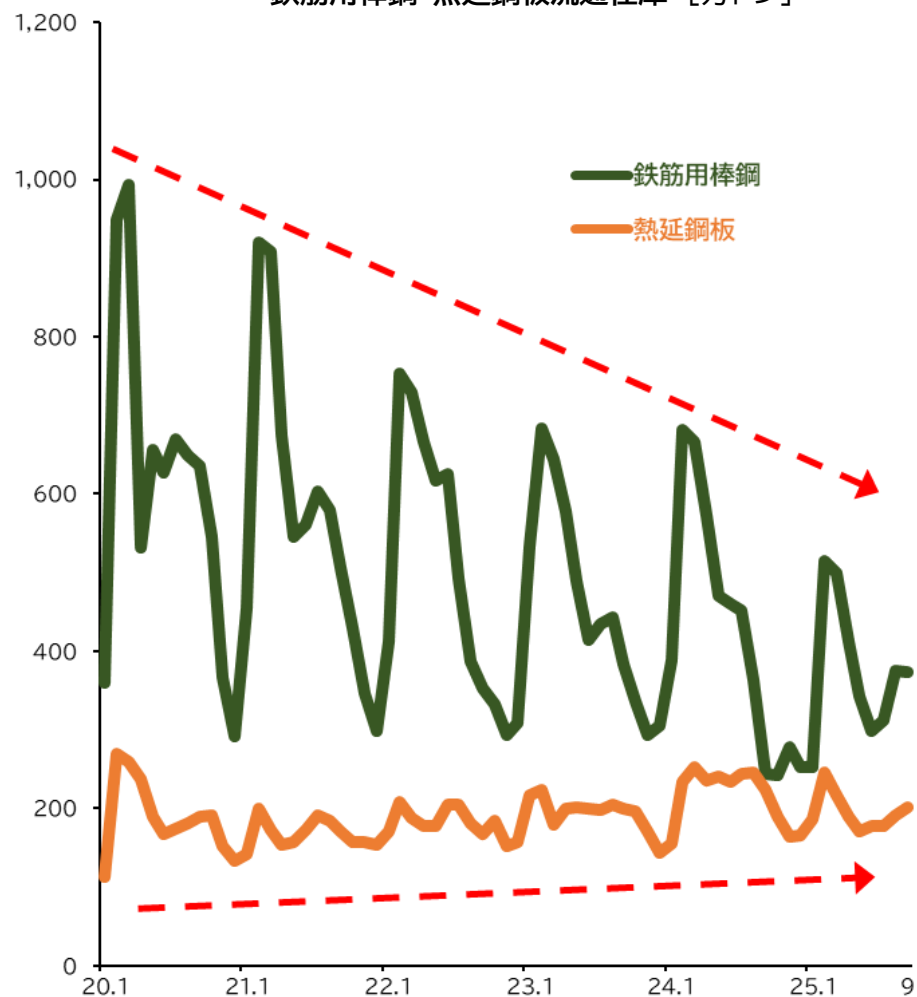
冷延薄板生産【万トン・%】



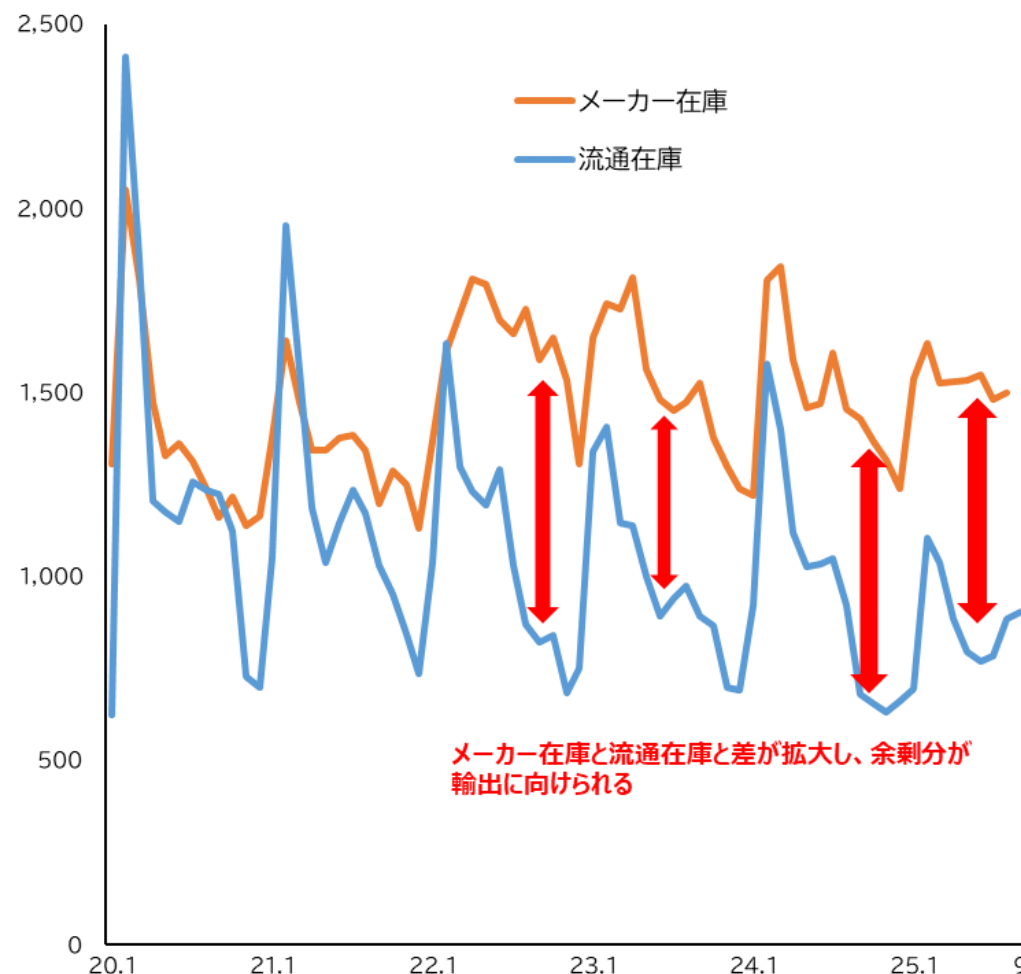
# メーカー在庫・流通在庫

- 流通在庫は、熱延鋼板が緩やかに上昇している一方、季節的要因の大きい鉄筋用棒鋼は、需要の弱さから在庫積み増し意欲が高まらず、旧正月前のピーク時を含め在庫量は減少傾向。
- 需要が低迷する中、メーカー在庫と流通在庫の差が22年から拡大傾向にあり、国内余剰分が輸出に向けられる状況が窺える。

鉄筋用棒鋼・熱延鋼板流通在庫 [万トン]



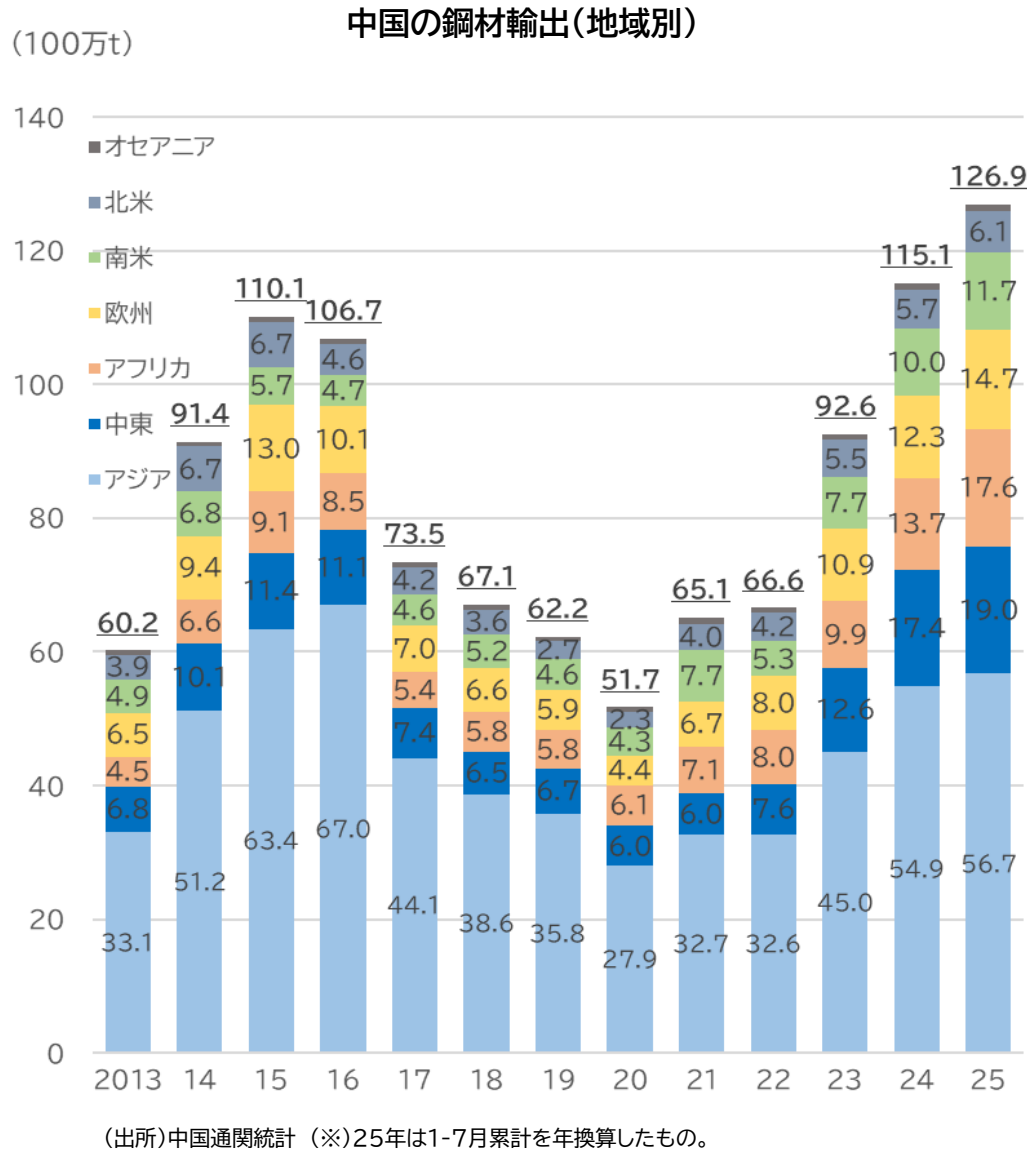
メーカー在庫と流通在庫の推移 [万トン]



(出所)CEIC

# 向先別鋼材輸出

- 25年の中国の鋼材輸出(半製品含む)は、1～7月累計を年換算すると1億2,694万トンと、過去最高となった24年の1億1,510万トンを上回り、2年連続で過去最高を更新する見込み。
- 25年の地域別では、中東・アフリカ・南米向けが3年連続、欧州向けが10年ぶりに過去最高を更新する見込み。



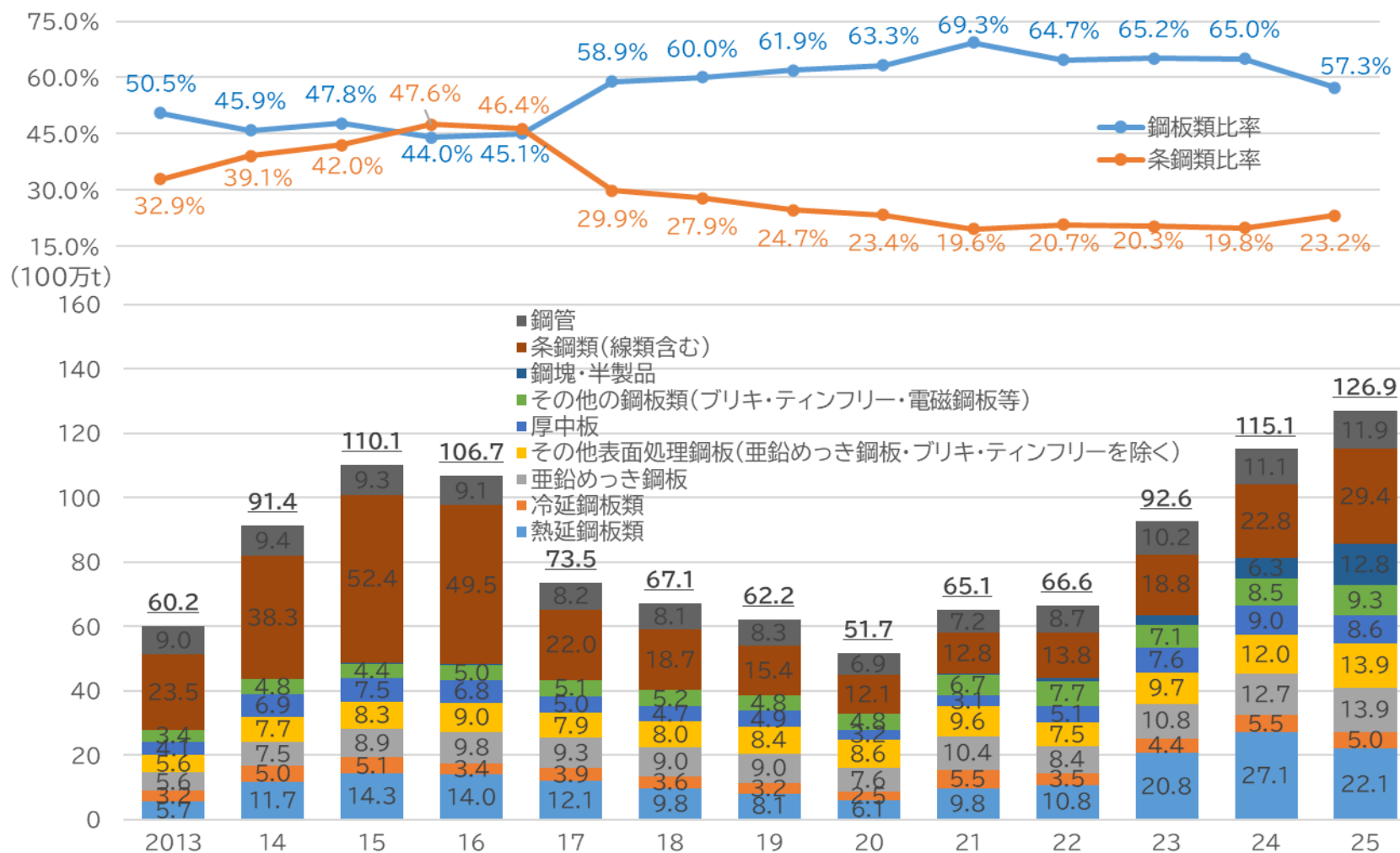
中国の鋼材輸出ランキング(TOP30)[万トン・%]

| 順位 | 国名      | 24    | 25  | 25/24  | 25-24 |
|----|---------|-------|-----|--------|-------|
| 1  | ベトナム    | 1,269 | 946 | -25.5% | -323  |
| 2  | 韓国      | 820   | 785 | -4.3%  | -35   |
| 3  | フィリピン   | 552   | 719 | 30.3%  | 167   |
| 4  | タイ      | 530   | 656 | 23.8%  | 126   |
| 5  | インドネシア  | 593   | 656 | 10.5%  | 62    |
| 6  | サウジアラビア | 510   | 609 | 19.3%  | 99    |
| 7  | EU27    | 450   | 570 | 26.5%  | 119   |
| 8  | UAE     | 554   | 557 | 0.6%   | 3     |
| 9  | トルコ     | 476   | 525 | 10.5%  | 50    |
| 10 | ブラジル    | 391   | 378 | -3.2%  | -12   |
| 11 | マレーシア   | 289   | 342 | 18.1%  | 52    |
| 12 | パキスタン   | 241   | 317 | 31.5%  | 76    |
| 13 | ペルー     | 182   | 237 | 30.7%  | 56    |
| 14 | インド     | 300   | 213 | -28.9% | -87   |
| 15 | ナイジェリア  | 128   | 200 | 55.4%  | 71    |
| 16 | 香港      | 139   | 187 | 34.5%  | 48    |
| 17 | シンガポール  | 117   | 187 | 60.0%  | 70    |
| 18 | チリ      | 152   | 180 | 17.9%  | 27    |
| 19 | 台湾      | 257   | 175 | -32.1% | -83   |
| 20 | エジプト    | 166   | 164 | -1.1%  | -2    |
| 21 | ミャンマー   | 84    | 155 | 83.9%  | 71    |
| 22 | コロンビア   | 139   | 154 | 11.5%  | 16    |
| 23 | タンザニア   | 100   | 154 | 52.8%  | 53    |
| 24 | ガーナ     | 105   | 137 | 30.8%  | 32    |
| 25 | イラク     | 137   | 133 | -2.8%  | -4    |
| 26 | アルジェリア  | 123   | 128 | 3.8%   | 5     |
| 27 | ケニア     | 89    | 119 | 33.9%  | 30    |
| 28 | 日本      | 119   | 118 | -1.1%  | -1    |
| 29 | バングラデシュ | 107   | 116 | 8.9%   | 9     |
| 30 | 南アフリカ   | 134   | 109 | -18.9% | -25   |

# 品種別鋼材輸出

- 25年の熱延鋼板輸出は、前年比▲18.4%の2,213万トンと5年ぶりの減少となる一方、亜鉛めっき鋼板は同+9.2%の1,387万トン、その他の表面処理鋼板（亜鉛めっき鋼板・ブリキ・ティンフリーを除く）は同+16.0%増の1,387万トンで3年連続、その他の鋼板類（ブリキ・ティンフリー・電磁鋼板等）は同+8.8%の928万トンと、2年連続で過去最高を更新する見込み。
- 25年は、条鋼類、鋼塊・半製品、鋼管類の増加を受け、鋼板類比率は18年以来の60%割れとなる見込み。

中国の鋼材輸出(品種別)

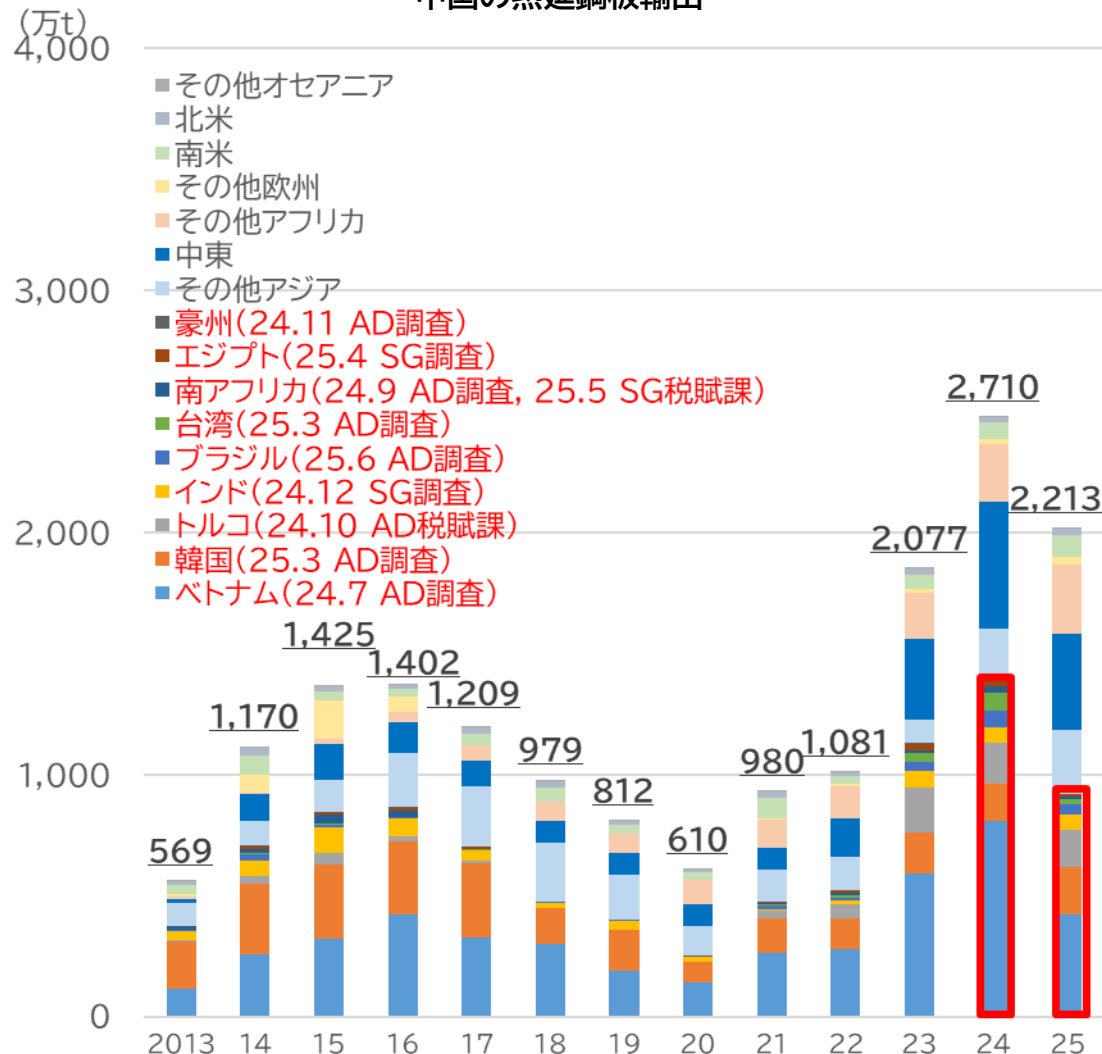


(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。

# 熱延鋼板輸出

- AD調査がベトナム(最大の輸出先)では24年7月に、韓国(第二位の輸出先)では25年3月に開始されたことに加え、トルコでも24年10月にAD税賦課が開始されたこと等を受け、25年は、熱延鋼板の輸出全体で、前年比▲18.4%の2,213万トンと5年ぶりの減少となる見込み。
- 他方で25年は、韓国向けがAD税賦課前の駆け込みの動きにより増加した他、パキスタン、タンザニア、ナイジェリア等も増加。

中国の熱延鋼板輸出



中国の熱延輸出ランキング(25年TOP30)[万トン・%]

| 順位 | 国名      | 24  | 25  | 25/24  | 25-24 |
|----|---------|-----|-----|--------|-------|
| 1  | ベトナム    | 811 | 421 | -48.1% | -390  |
| 2  | 韓国      | 153 | 199 | 30.3%  | 46    |
| 3  | サウジアラビア | 209 | 174 | -16.6% | -35   |
| 4  | パキスタン   | 130 | 171 | 31.1%  | 41    |
| 5  | トルコ     | 167 | 154 | -7.9%  | -13   |
| 6  | UAE     | 203 | 129 | -36.3% | -74   |
| 7  | マレーシア   | 97  | 82  | -15.4% | -15   |
| 8  | ケニア     | 51  | 63  | 23.0%  | 12    |
| 9  | タイ      | 48  | 62  | 29.7%  | 14    |
| 10 | インド     | 67  | 61  | -9.2%  | -6    |
| 11 | タンザニア   | 29  | 56  | 91.5%  | 27    |
| 12 | アルジェリア  | 61  | 55  | -10.3% | -6    |
| 13 | インドネシア  | 50  | 48  | -5.1%  | -3    |
| 14 | ナイジェリア  | 30  | 47  | 54.3%  | 17    |
| 15 | バングラデシュ | 41  | 44  | 9.0%   | 4     |
| 16 | ブラジル    | 66  | 43  | -34.2% | -23   |
| 17 | イラク     | 35  | 31  | -10.6% | -4    |
| 18 | オマーン    | 34  | 29  | -13.3% | -4    |
| 19 | ペルー     | 20  | 23  | 19.5%  | 4     |
| 20 | EU27    | 13  | 21  | 65.8%  | 8     |
| 21 | 台湾      | 75  | 19  | -74.9% | -56   |
| 22 | フィリピン   | 22  | 17  | -22.4% | -5    |
| 23 | ジブチ     | 16  | 16  | 1.2%   | 0     |
| 24 | コロンビア   | 11  | 16  | 43.4%  | 5     |
| 25 | チリ      | 17  | 15  | -9.4%  | -2    |
| 26 | 日本      | 18  | 14  | -19.0% | -3    |
| 27 | エクアドル   | 11  | 13  | 21.2%  | 2     |
| 28 | 南アフリカ   | 26  | 11  | -56.9% | -15   |
| 29 | エジプト    | 49  | 10  | -78.9% | -39   |
| 30 | ヨルダン    | 20  | 10  | -49.0% | -10   |

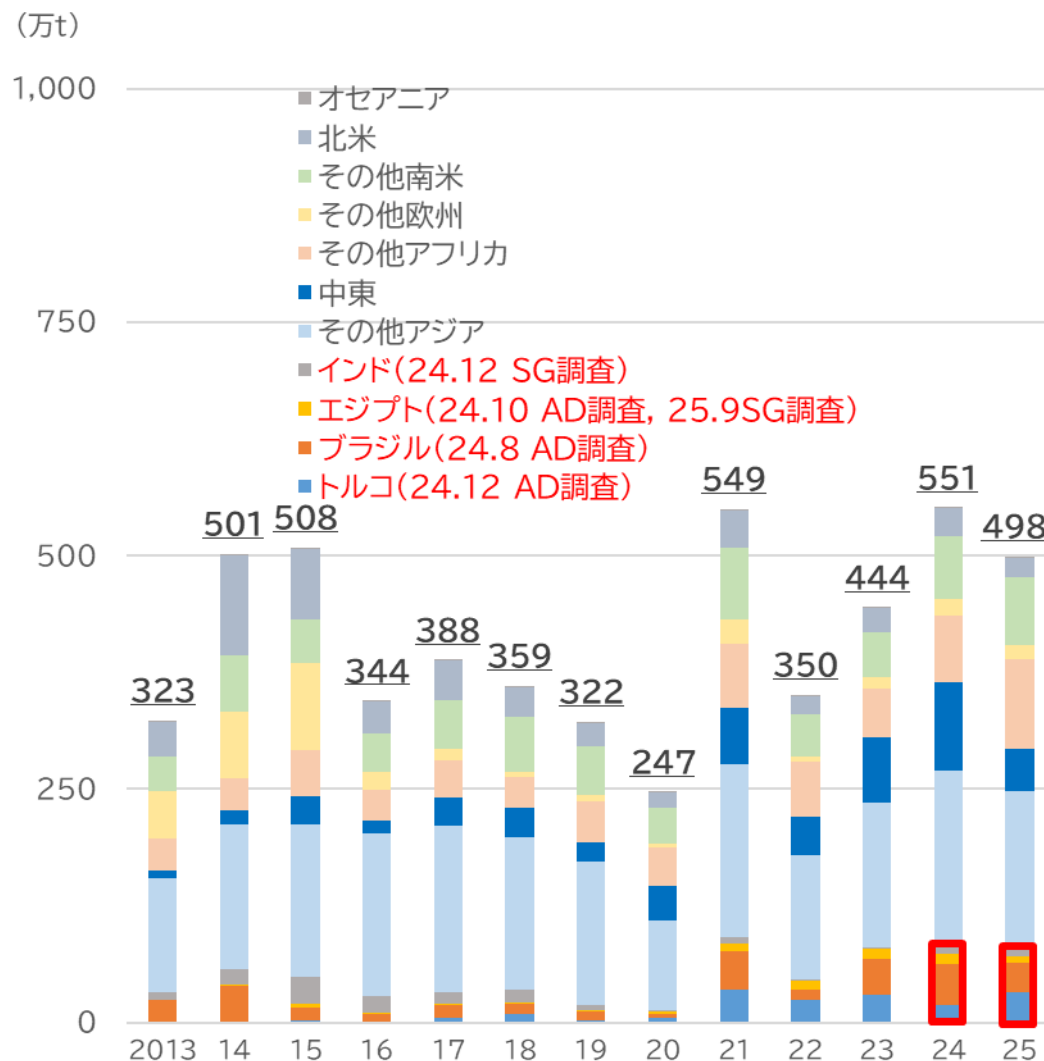
|     |    |      |    |    |    |       |
|-----|----|------|----|----|----|-------|
| アジア | 中東 | アフリカ | 欧州 | 南米 | 北米 | オセアニア |
|-----|----|------|----|----|----|-------|

(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。赤字は24年以降の新規AD/CVD/SG調査・措置実施国地域。

# 冷延鋼板輸出

- 23年の最大の輸出先であるブラジルで24年8月、トルコで24年12月にAD調査が開始となった。
- 25年は、AD税賦課前の駆け込みの動きによりトルコ向けが増加した一方、UAE等が減少し、前年比▲9.6%の498万トンと3年ぶりの減少となる見込み。

中国の冷延鋼板輸出



中国の冷延輸出ランキング(TOP30)[万トン・%]

| 順位 | 国名       | 24 | 25 | 25/24  | 25-24 |
|----|----------|----|----|--------|-------|
| 1  | 台湾       | 45 | 37 | -18.8% | -8    |
| 2  | 韓国       | 45 | 36 | -18.9% | -8    |
| 3  | コロンビア    | 32 | 33 | 1.8%   | 1     |
| 4  | トルコ      | 19 | 33 | 75.1%  | 14    |
| 5  | ブラジル     | 43 | 31 | -28.7% | -12   |
| 6  | UAE      | 42 | 20 | -52.2% | -22   |
| 7  | インドネシア   | 22 | 19 | -15.9% | -4    |
| 8  | ベトナム     | 14 | 14 | 2.8%   | 0     |
| 9  | ペルー      | 15 | 14 | -2.8%  | 0     |
| 10 | マレーシア    | 11 | 14 | 21.7%  | 2     |
| 11 | コスタリカ    | 15 | 13 | -15.7% | -2    |
| 12 | タイ       | 11 | 12 | 10.3%  | 1     |
| 13 | ウズベキスタン  | 10 | 12 | 12.0%  | 1     |
| 14 | ジブチ      | 8  | 12 | 54.8%  | 4     |
| 15 | コートジボワール | 5  | 11 | 101.0% | 5     |
| 16 | ガーナ      | 9  | 11 | 16.6%  | 2     |
| 17 | パキスタン    | 8  | 11 | 33.6%  | 3     |
| 18 | セネガル     | 7  | 10 | 48.4%  | 3     |
| 19 | フィリピン    | 8  | 10 | 16.1%  | 1     |
| 20 | 南アフリカ    | 11 | 9  | -21.6% | -2    |
| 21 | 日本       | 12 | 8  | -29.7% | -3    |
| 22 | エジプト     | 12 | 8  | -35.3% | -4    |
| 23 | チュニジア    | 1  | 7  | 454.2% | 6     |
| 24 | ナイジェリア   | 4  | 7  | 94.4%  | 3     |
| 25 | チリ       | 7  | 7  | -1.0%  | 0     |
| 26 | タンザニア    | 4  | 7  | 69.4%  | 3     |
| 27 | インド      | 6  | 7  | 6.7%   | 0     |
| 28 | サウジアラビア  | 15 | 6  | -59.3% | -9    |
| 29 | ウルグアイ    | 5  | 6  | 30.7%  | 1     |
| 30 | ベネズエラ    | 3  | 5  | 72.2%  | 2     |

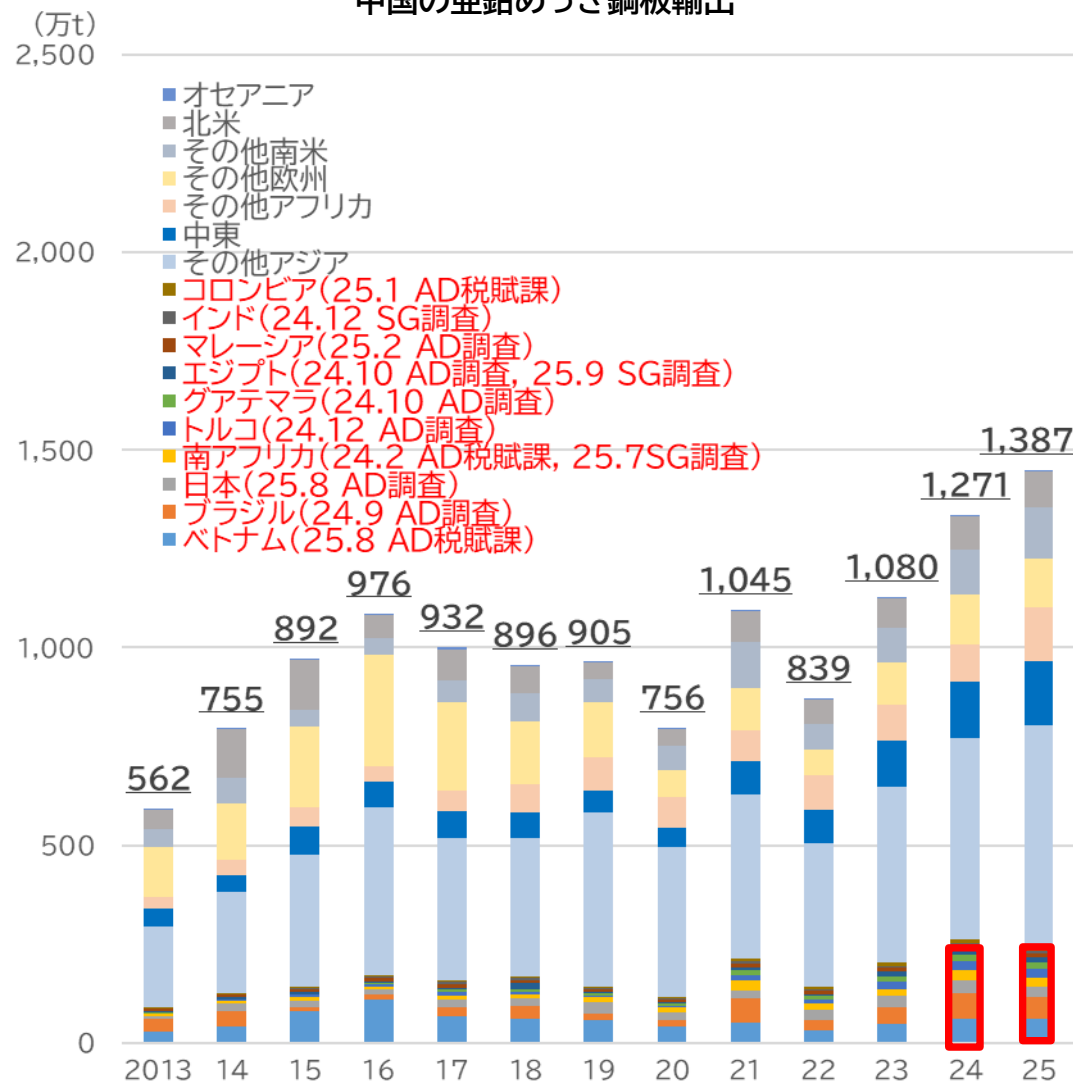
アジア 中東 アフリカ 欧州 南米 北米 オセアニア

(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。赤字は24年以降の新規AD/CVD/SG調査・措置実施国地域。

# 亜鉛めっき鋼板輸出

- ベトナムでは25年8月からAD税賦課開始となった他、ブラジルでは24年9月、日本でも25年8月からAD調査が開始となったものの、25年は前年比+9.2%の1,387万トンで3年連続の過去最高となる見込み。
- 25年はフィリピン、イスラエル、タイ、ジブチ、ナイジェリア向け等が増加。

中国の亜鉛めっき鋼板輸出



(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。赤字は24年以降の新規AD/CVD/SG調査・措置実施国地域。

中国の亜鉛めっき鋼板輸出ランキング(TOP30)[万トン・%]

| 順位 | 国名      | 24  | 25  | 25/24  | 25-24 |
|----|---------|-----|-----|--------|-------|
| 1  | フィリピン   | 127 | 152 | 19.9%  | 25    |
| 2  | タイ      | 123 | 135 | 9.5%   | 12    |
| 3  | 韓国      | 131 | 114 | -13.3% | -17   |
| 4  | EU27    | 71  | 78  | 9.5%   | 7     |
| 5  | ベトナム    | 62  | 59  | -4.7%  | -3    |
| 6  | ブラジル    | 64  | 56  | -13.4% | -9    |
| 7  | イスラエル   | 25  | 41  | 65.6%  | 16    |
| 8  | インドネシア  | 44  | 37  | -15.6% | -7    |
| 9  | イラク     | 29  | 34  | 15.9%  | 5     |
| 10 | サウジアラビア | 30  | 34  | 12.0%  | 4     |
| 11 | パキスタン   | 24  | 33  | 35.5%  | 9     |
| 12 | ペルー     | 26  | 32  | 25.9%  | 7     |
| 13 | エクアドル   | 16  | 27  | 71.9%  | 11    |
| 14 | 日本      | 32  | 25  | -21.8% | -7    |
| 15 | ジブチ     | 13  | 25  | 93.3%  | 12    |
| 16 | ナイジェリア  | 13  | 25  | 92.1%  | 12    |
| 17 | 南アフリカ   | 23  | 24  | 1.5%   | 0     |
| 18 | ラオス     | 16  | 23  | 45.4%  | 7     |
| 19 | トルコ     | 25  | 23  | -7.1%  | -2    |
| 20 | UAE     | 27  | 23  | -14.2% | -4    |
| 21 | ガーナ     | 19  | 22  | 19.6%  | 4     |
| 22 | スリランカ   | 17  | 22  | 30.6%  | 5     |
| 23 | チリ      | 18  | 21  | 17.7%  | 3     |
| 24 | ドミニカ共和国 | 16  | 20  | 25.9%  | 4     |
| 25 | ミャンマー   | 9   | 18  | 113.6% | 10    |
| 26 | コスタリカ   | 13  | 18  | 41.6%  | 5     |
| 27 | バングラデシュ | 12  | 17  | 33.9%  | 4     |
| 28 | グアテマラ   | 17  | 15  | -9.5%  | -2    |
| 29 | エジプト    | 10  | 13  | 29.7%  | 3     |
| 30 | ウズベキスタン | 13  | 13  | -6.2%  | -1    |

アジア

中東

アフリカ

欧州

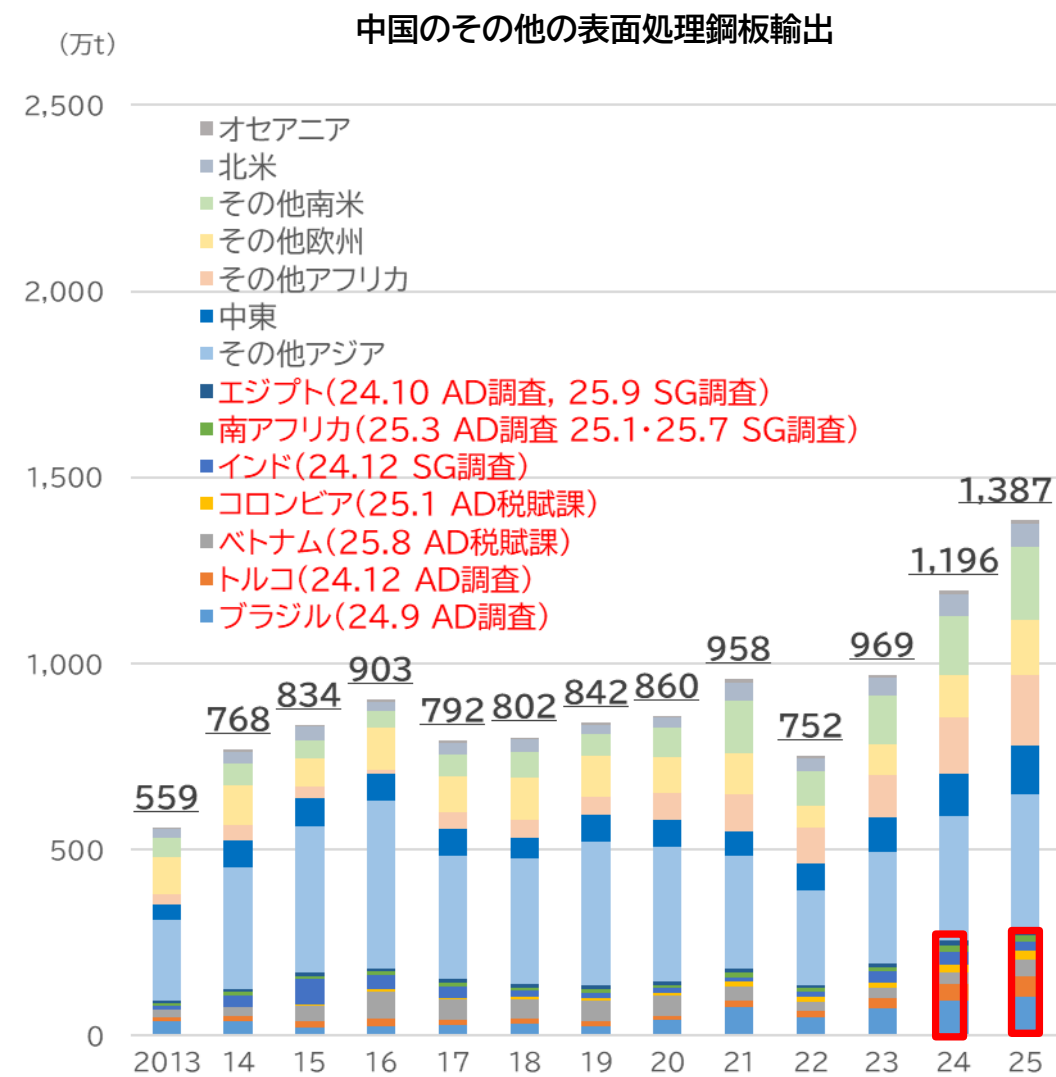
南米

北米

オセアニア

# その他の表面処理鋼板(亜鉛めっき鋼板・ブリキ・ティンフリー除く)輸出

- ブラジルでは24年9月、トルコでは24年12月からAD調査が開始となったものの、25年は前年比+16%の1,387万トンで3年連続の過去最高となる見込み。
- 25年はフィリピン、ミャンマー、ペルー、ブラジル向け等が増加。



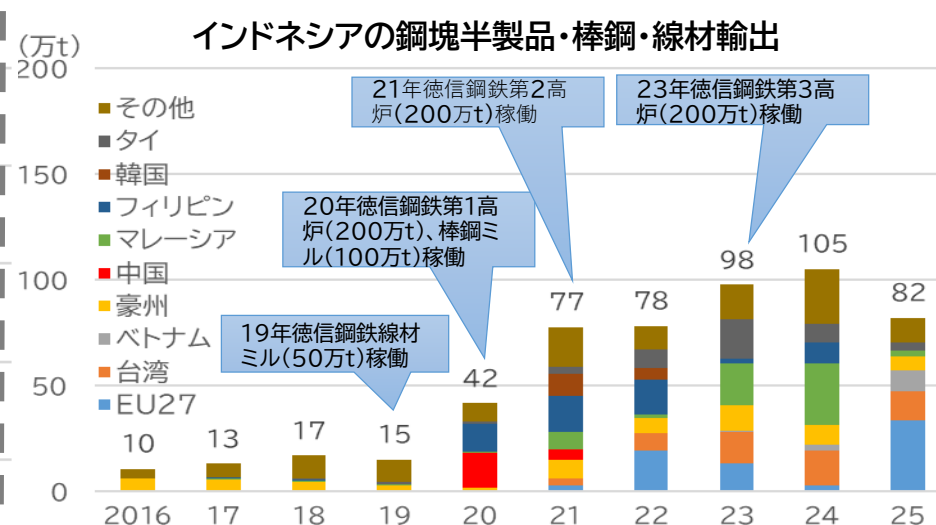
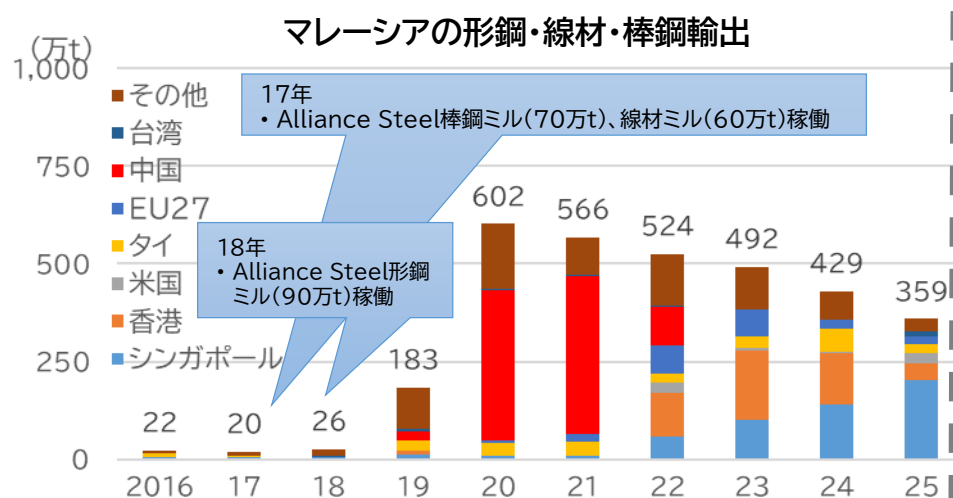
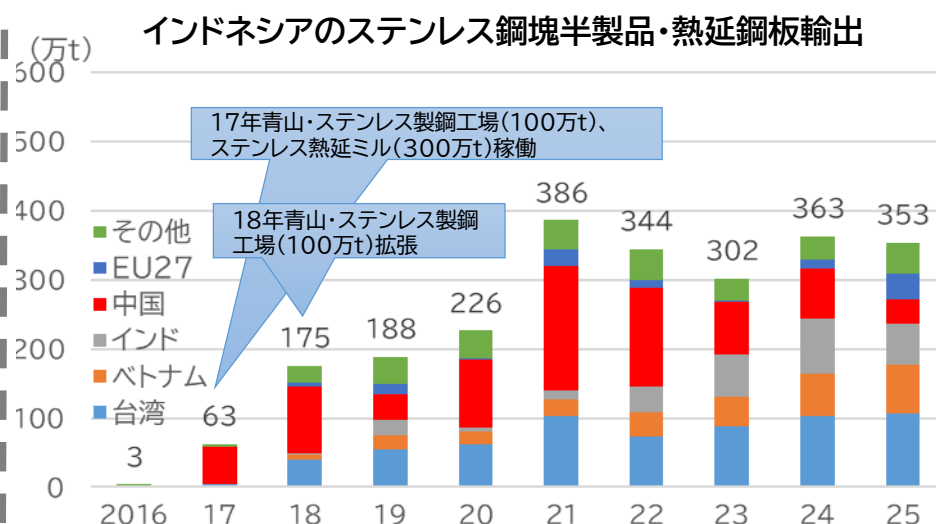
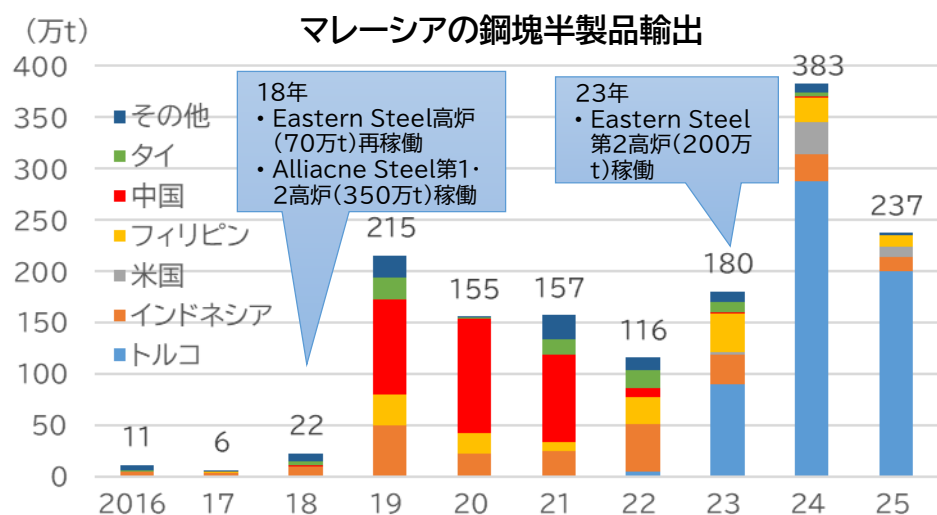
中国のその他の表面処理鋼板輸出ランキング(TOP30)[万トン・%]

| 順位 | 国名       | 24 | 25  | 25/24  | 25-24 |
|----|----------|----|-----|--------|-------|
| 1  | フィリピン    | 81 | 107 | 32.2%  | 26    |
| 2  | ブラジル     | 95 | 106 | 11.0%  | 10    |
| 3  | タイ       | 91 | 87  | -3.9%  | -4    |
| 4  | インドネシア   | 83 | 86  | 3.9%   | 3     |
| 5  | トルコ      | 42 | 53  | 25.3%  | 11    |
| 6  | 韓国       | 54 | 52  | -4.5%  | -2    |
| 7  | ベトナム     | 33 | 44  | 34.0%  | 11    |
| 8  | サウジアラビア  | 25 | 35  | 39.0%  | 10    |
| 9  | ミャンマー    | 13 | 33  | 148.6% | 20    |
| 10 | パキスタン    | 25 | 32  | 29.4%  | 7     |
| 11 | チリ       | 31 | 31  | 0.7%   | 0     |
| 12 | ペルー      | 21 | 31  | 47.7%  | 10    |
| 13 | UAE      | 26 | 30  | 15.1%  | 4     |
| 14 | ガーナ      | 23 | 30  | 28.3%  | 7     |
| 15 | タンザニア    | 19 | 27  | 45.8%  | 9     |
| 16 | コロンビア    | 19 | 26  | 37.7%  | 7     |
| 17 | EU27     | 20 | 26  | 33.7%  | 7     |
| 18 | ナイジェリア   | 16 | 25  | 55.2%  | 9     |
| 19 | アルジェリア   | 22 | 24  | 5.5%   | 1     |
| 20 | ホンジュラス   | 19 | 23  | 19.6%  | 4     |
| 21 | ロシア      | 31 | 22  | -27.7% | -8    |
| 22 | インド      | 36 | 22  | -38.5% | -14   |
| 23 | カザフスタン   | 18 | 22  | 18.6%  | 3     |
| 24 | コートジボワール | 13 | 21  | 63.6%  | 8     |
| 25 | 南アフリカ    | 18 | 19  | 5.8%   | 1     |
| 26 | イラク      | 23 | 19  | -17.7% | -4    |
| 27 | エジプト     | 12 | 18  | 48.7%  | 6     |
| 28 | マレーシア    | 20 | 18  | -12.4% | -2    |
| 29 | イスラエル    | 8  | 17  | 110.4% | 9     |
| 30 | モザンビーク   | 12 | 16  | 30.2%  | 4     |

(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。赤字は24年以降の新規AD/CVD/SG調査・措置実施国地域。

# 中国鉄鋼企業進出先からの鋼材輸出

- マレーシアでは建龍鋼鉄集団が出資するEastern Steel、盛隆冶金集団が設立したAlliance Steel、インドネシアでは青山鋼鉄、徳信鋼鉄集団等が出資する徳信鋼鉄がミルを稼働開始し、世界各国のみならず、中国本土に対しても輸出が増加。
- インドネシアからの輸入増を受け、18年6月には中国がステンレス鋼片・熱延鋼板に対するAD調査を開始し、19年7月にクロ最終決定。
- 22年以降は中国の鋼材需要が減速したこともあり、中国向け輸出が減少した一方、他国・地域にシフト。



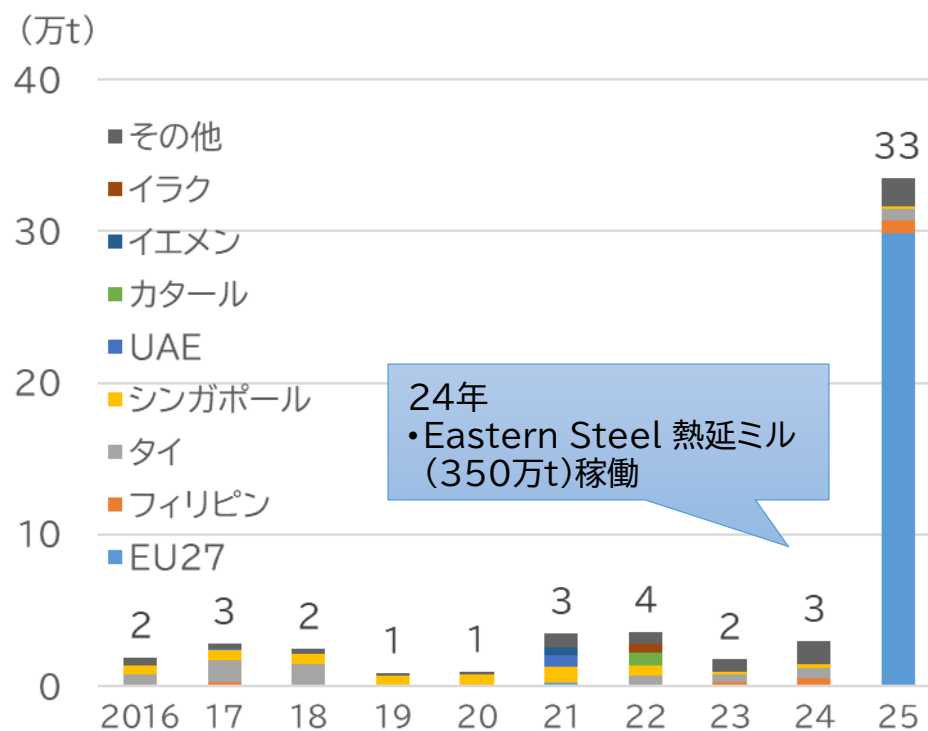
(出所)マレーシア通関統計(※)25年は1-5月累計を年換算したもの。

(出所)インドネシア通関統計統計(※)25年は1-6月累計を年換算したもの。

# 中国鉄鋼企業進出先からの熱延鋼板輸出

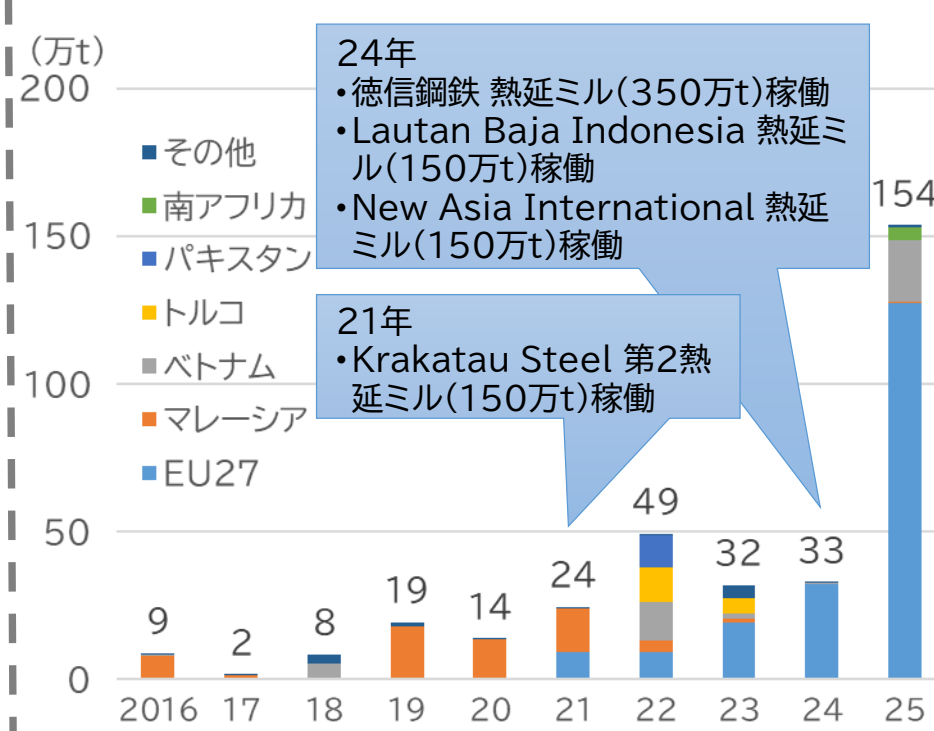
- マレーシアでは、24年にEastern Steelが年産350万トンの熱延ミルを稼働開始。
- インドネシアでは、21年に国営のKrakatau Steelが年産150万トンの第2熱延ミル、24年には徳信鋼鉄が350万トンの熱延ミル、地場系のLautan Baja IndonesiaとNew Asia Internationalが共に年産150万トンの熱延ミルを稼働開始。
- ロシアによるウクライナ侵攻を受け、両国からのEUの鋼材輸入が減少したこともあり、マレーシア、インドネシアのEU向け熱延鋼板輸出は、近年大幅に増加。

## マレーシアの熱延鋼板輸出



(出所)マレーシア通関統計 (※)25年は1-5月累計を年換算したもの。

## インドネシアの熱延鋼板輸出

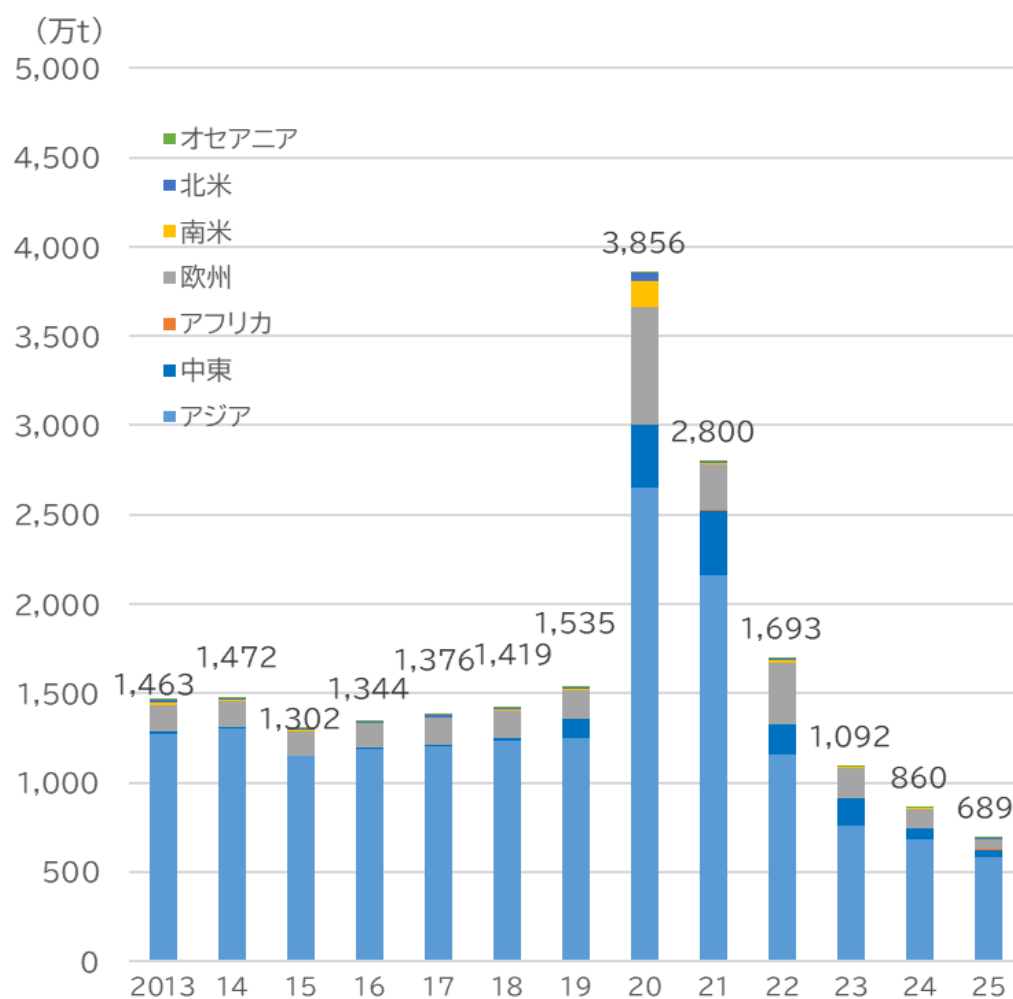


(出所)インドネシア通関統計 (※)25年は1-6月累計を年換算したもの。

# 鋼材輸入 相手地域別・品種別

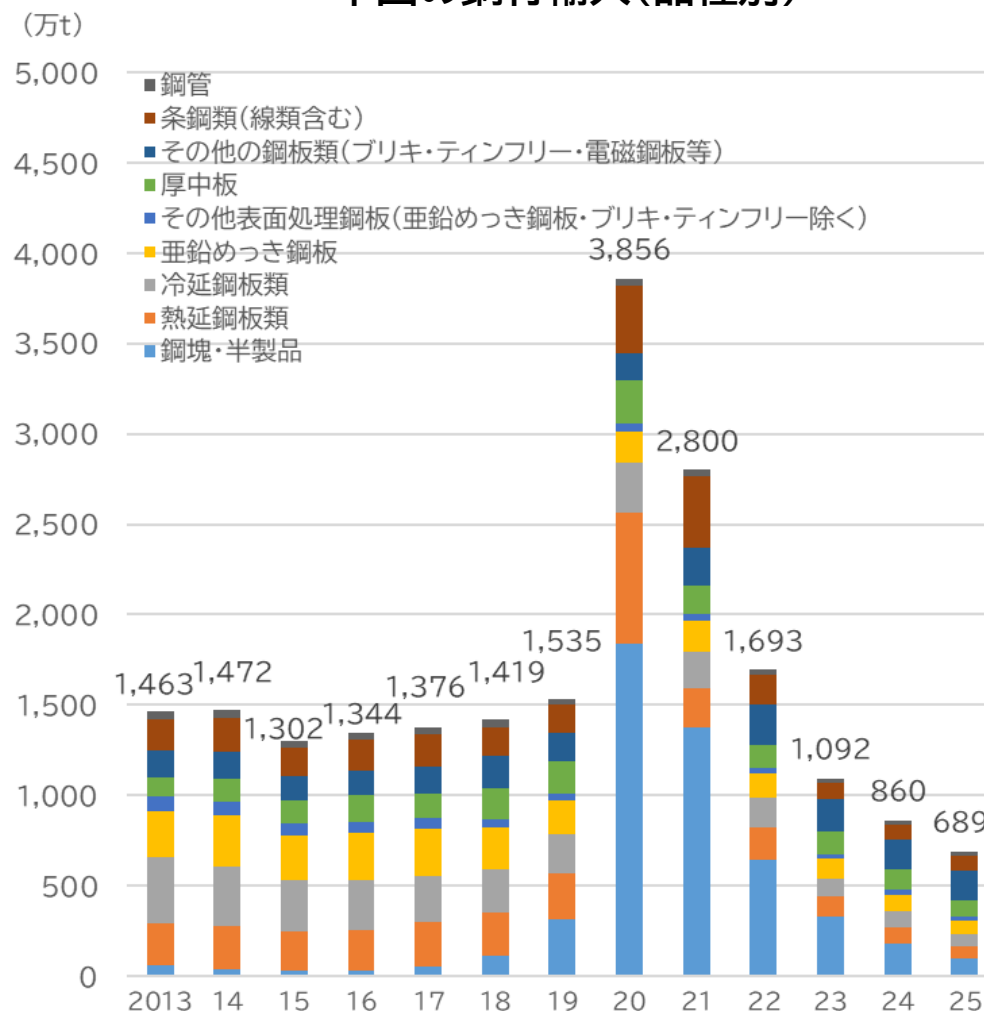
- 25年の鋼材輸入は、前年比▲19.9%の689万トンとなり、統計が確認できる96年以降で、3年連続で過去最低を更新する見込み。
- 20-22年頃は、新型コロナウイルス後の政府のインフラ投資に伴う鋼材需要増や政府の粗鋼生産減の方針に基づく減産の動きもあり、インド、ロシア、ベトナム、インドネシア等からの鋼塊・半製品輸入が大きく増加したものの、その後は中国の鋼材内需とともに減少している。

## 中国の鋼材輸入(地域別)



(出所)中国通関統計 (※)25年は1-7月累計を年換算したもの。

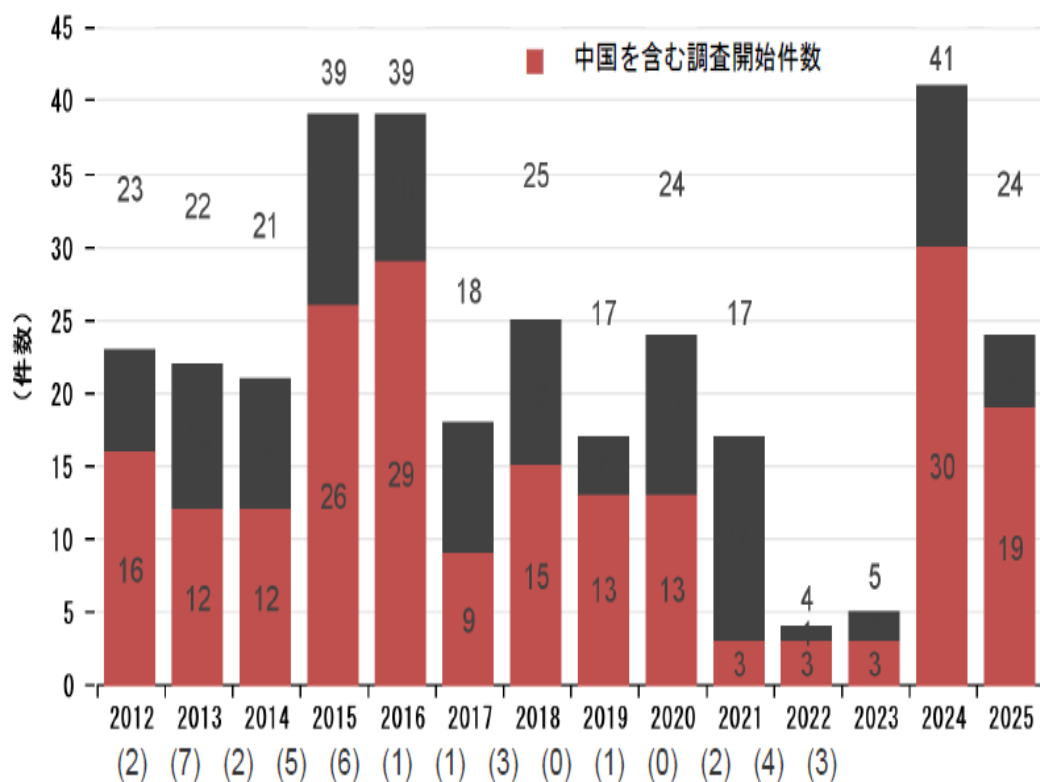
## 中国の鋼材輸入(品種別)



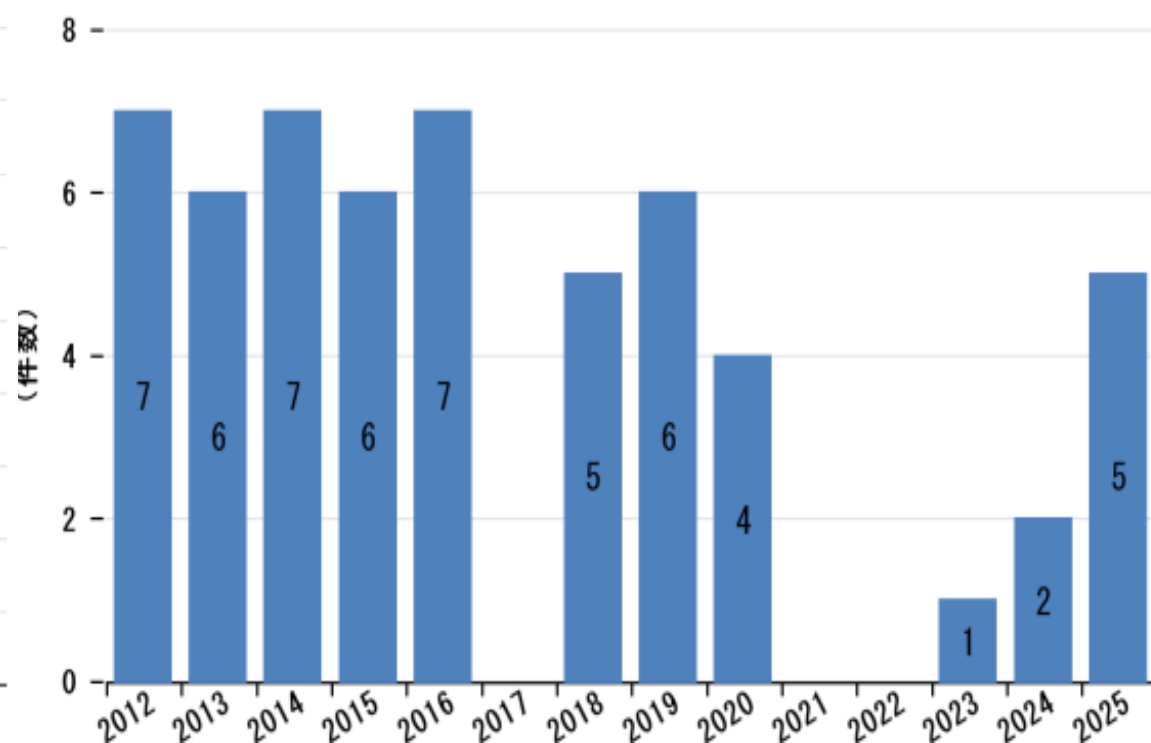
# 鋼材輸出鋼材に対する世界の通商法提訴の動向

- 24年の新規AD調査開始件数は41件、その内、中国を対象とする調査は30件と、いずれも過去最高となった一方、新規SG調査開始件数は2件となった。
- 25年(10月24日時点)の新規AD調査開始件数は24件、その内、中国を対象とする調査は19件と、前年に引き続き、依然として高水準。新規SG調査開始件数は5件と、20年以降で最多となっている。

新規AD調査開始件数の推移



新規SG調査開始件数の推移

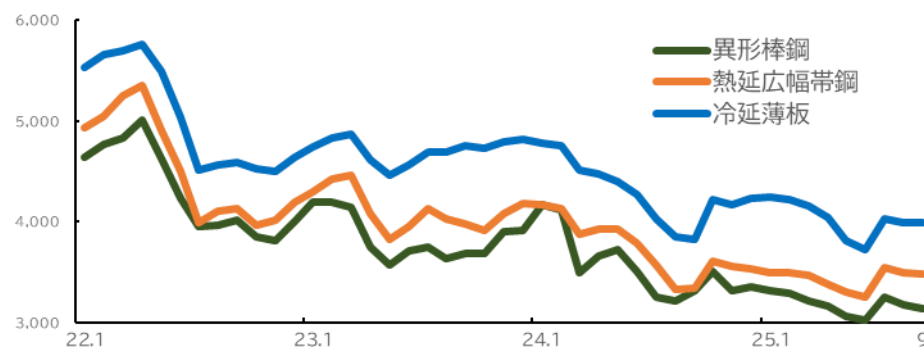


(注)( ) 日本を含む調査開始件数

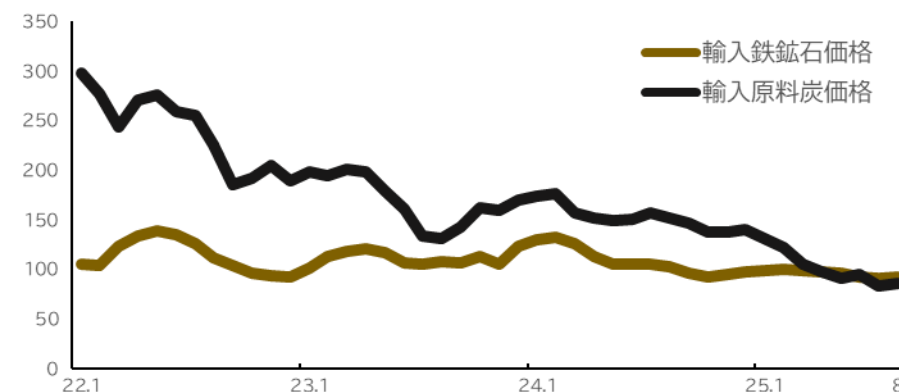
# 中国鉄鋼業の収益・原料の動向

- 国内の鋼材市況が低迷するものの、原料炭価格の下落、輸出増を受け、中国鉄鋼業の利益は小幅に回復し、25年1～6月の上場鉄鋼企業に占める赤字企業比率は1年半ぶりに32.3%へ低下。

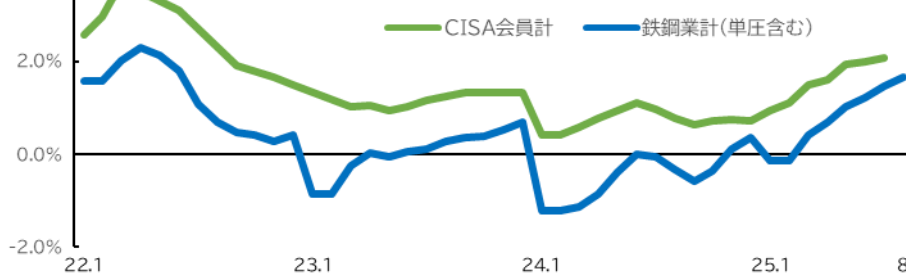
品種別鋼材市況[元/トン]



原料炭・鉄鉱石価格[ドル/トン]

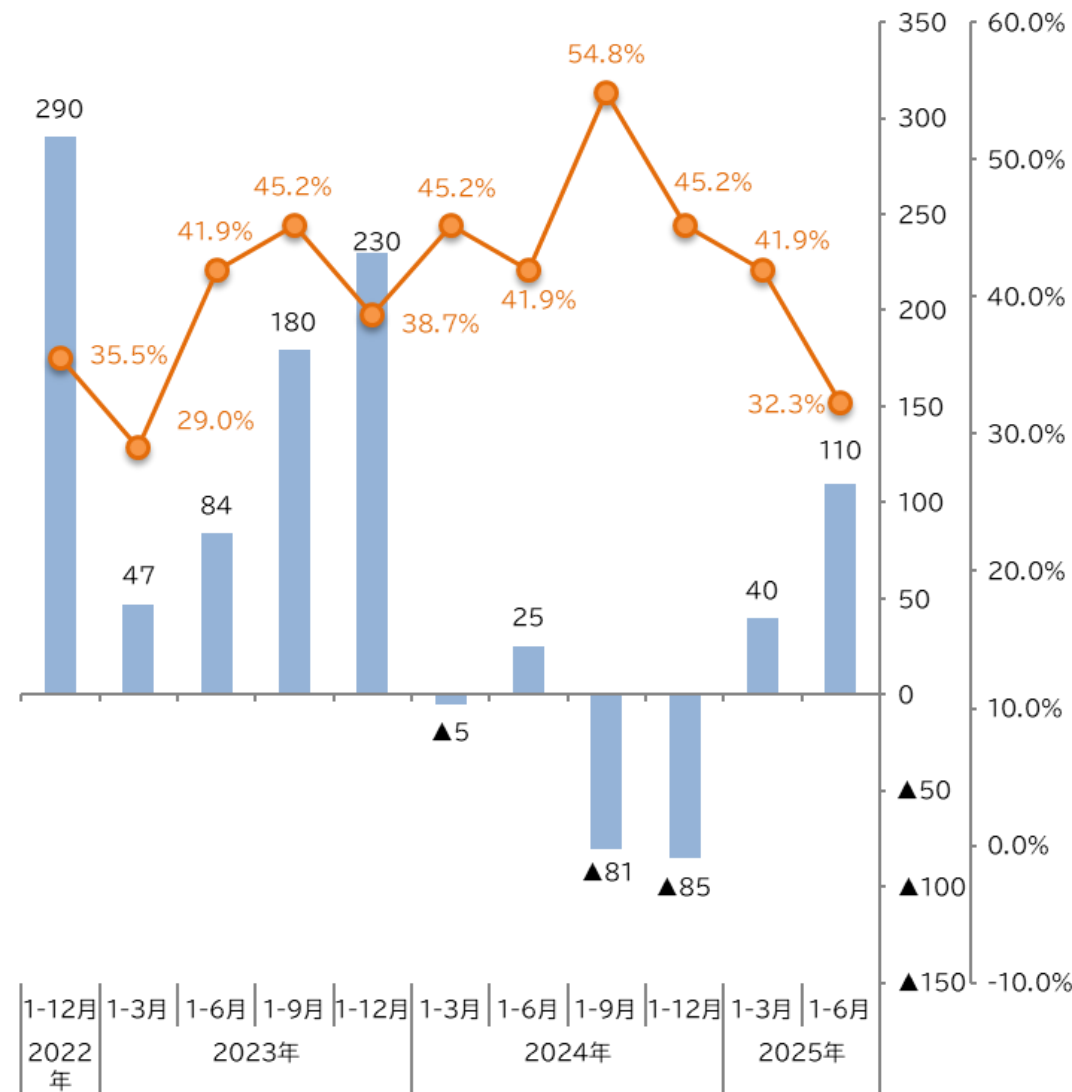


中国鉄鋼業の売上高利益率推移



(注)利益額/売上高は年初からの累計値

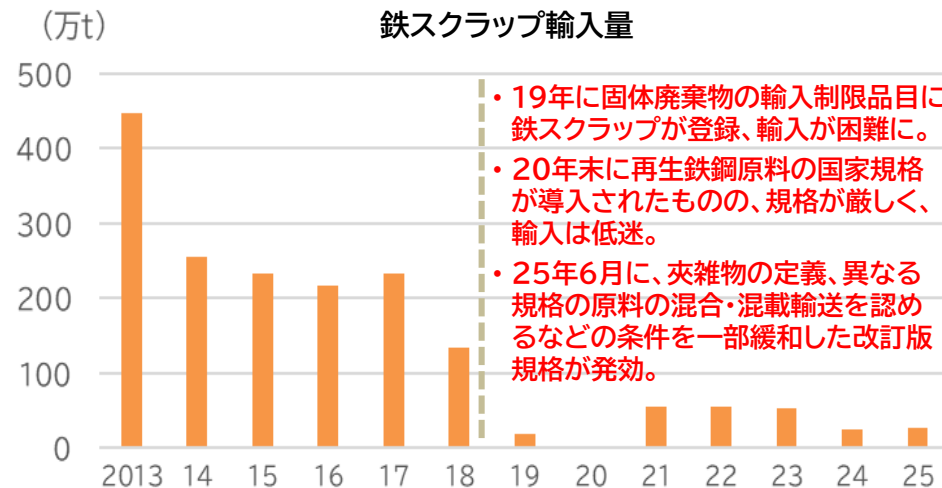
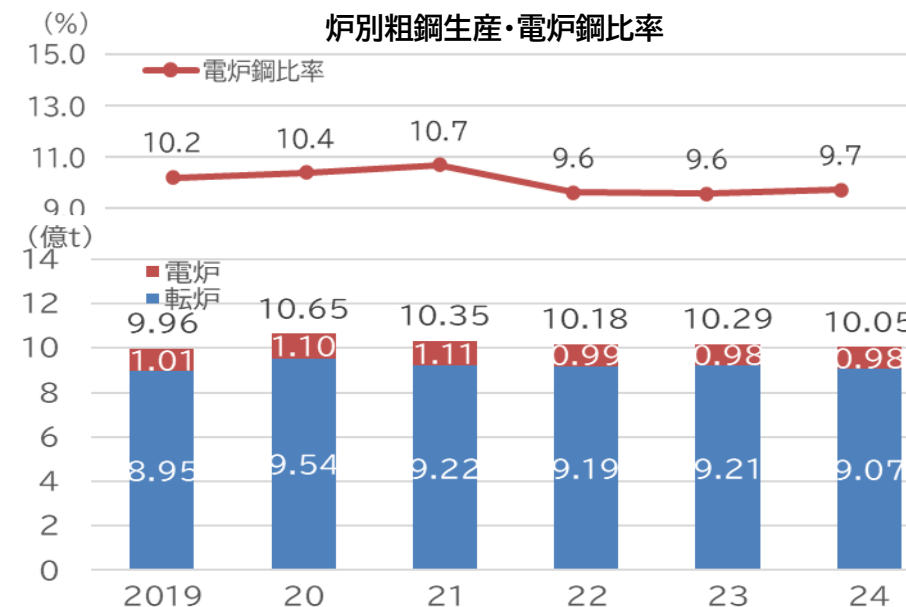
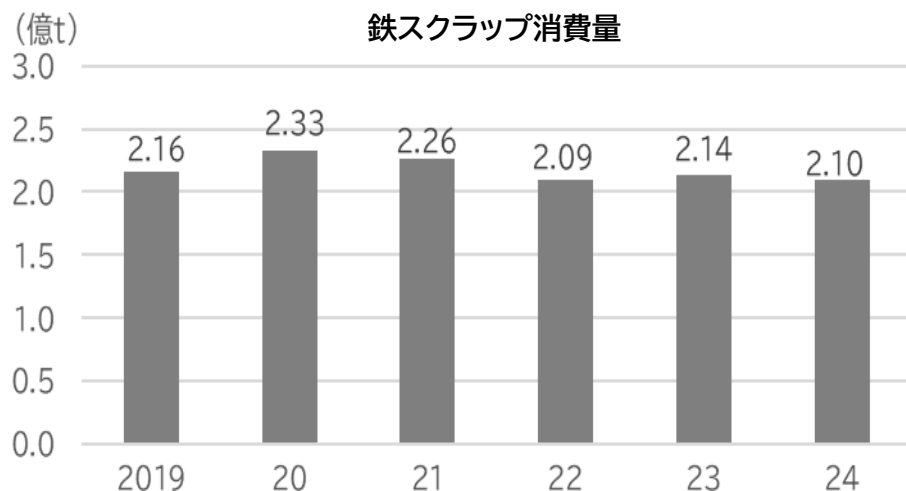
上場鉄鋼企業31社利益(億元)と赤字企業比率(%)



(出所) Kallanish Commodities、中国物資価格情報、国家統計局、CISA

# 中国鉄鋼業の収益・原料の動向

- 24年の鉄スクラップ消費量は前年比▲1.9%の2.1億トンで2年ぶりの減少、粗鋼生産に占める電炉鋼比率は同+0.1ptの9.7%となった。
- 政府は鉄鋼業の省エネ・脱炭素政策の一環として、25年の鉄スクラップ消費量を3億トン、電炉鋼比率を15%とする目標を設定しているものの、国内供給網の整備の遅れなどを受け、目標達成は困難な見込み。



- 19年に固体廃棄物の輸入制限品目に鉄スクラップが登録、輸入が困難に。
- 20年末に再生鉄鋼原料の国家規格が導入されたものの、規格が厳しく、輸入は低迷。
- 25年6月に、夾雑物の定義、異なる規格の原料の混合・混載輸送を認めるなどの条件を一部緩和した改訂版規格が発効。



(出所) 中国廃鋼鉄応用協会、税関総署、各種報道、中国物資価格情報 (※) 25年の鉄スクラップ輸入量は1-7月累計を年換算したもの。

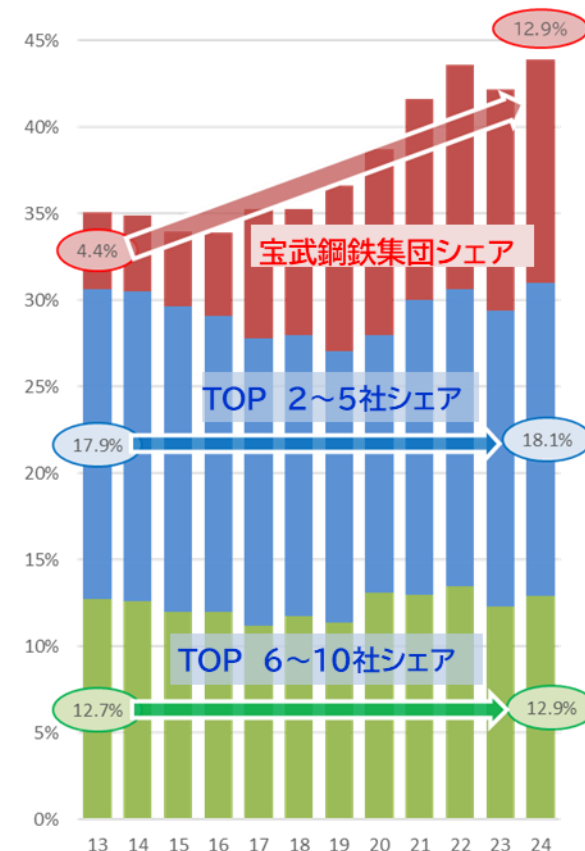
# 宝武鋼鉄集団が業界再編を牽引

- ① 工信部等は鉄鋼業安定成長方案(2023-2024)で統合・再編、大型鉄鋼企業グループの構築、製鋼能力配置の最適化推進を明記。
- ② 統合・再編が実質完了したプロジェクトには、生産能力置換の置換比率の優遇、包括的金融サービスの提供を奨励。
- ③ 24年は、総じて粗鋼生産上位のミルが小幅にシェアを伸ばし、TOP10のシェアは、前年比+1.7ptの43.9%となった。
- ④ 粗鋼生産占有率の推移(13年→24年)は、上位2～5社シェア(17.9%→18.1%)、6～10社シェア(12.7%→12.9%)が微増に留まる一方、トップの宝武鋼鉄集団は、4.4%→12.9%と大幅にシェアを伸ばし、6～10社シェア(12.9%)と並んだ。

中国鉄鋼メーカー上位5社・10社 社別粗鋼生産量

(単位:万トン、%)

| 順位        | メーカー       | 2023年   | シェア   | 順位        | メーカー     | 2024年   | シェア   | 23年比    |
|-----------|------------|---------|-------|-----------|----------|---------|-------|---------|
| 1         | 宝武鋼鉄集団(※1) | 13,077  | 12.8% | 1         | 宝武鋼鉄集団   | 13,009  | 12.9% | + 0.1pt |
| 2         | 鞍鋼集団(※2)   | 5,589   | 5.5%  | 2         | 鞍鋼集団     | 5,955   | 5.9%  | + 0.4pt |
| 3         | 河鋼集団       | 4,134   | 4.1%  | 3         | 河鋼集団     | 4,228   | 4.2%  | + 0.1pt |
| 4         | 江蘇沙鋼集団     | 4,054   | 4.0%  | 4         | 江蘇沙鋼集団   | 4,022   | 4.0%  | + 0.0pt |
| 5         | 建龍集団       | 3,699   | 3.6%  | 5         | 建龍集団     | 3,937   | 3.9%  | + 0.3pt |
| 上位5社合計    |            | 30,553  | 30.0% | 上位5社合計    |          | 31,151  | 31.0% | + 1.0pt |
| 6         | 首鋼集団       | 3,358   | 3.3%  | 6         | 首鋼集団     | 3,358   | 3.3%  | + 0.0pt |
| 7         | 徳龍鋼鉄集団     | 2,790   | 2.7%  | 7         | 徳龍鋼鉄集団   | 2,933   | 2.9%  | + 0.2pt |
| 8         | 湖南鋼鉄集団     | 2,480   | 2.4%  | 8         | 湖南鋼鉄集団   | 2,490   | 2.5%  | + 0.0pt |
| 9         | 方大鋼鉄集団     | 1,956   | 1.9%  | 9         | 敬業集団(※3) | 2,272   | 2.3%  | + 0.3pt |
| 10        | 山東鋼鉄集団     | 1,945   | 1.9%  | 10        | 山東鋼鉄集団   | 1,945   | 1.9%  | + 0.0pt |
| 上位6-10社合計 |            | 12,529  | 12.3% | 上位6-10社合計 |          | 12,998  | 12.9% | + 0.6pt |
| 上位10社合計   |            | 43,082  | 42.3% | 上位10社合計   |          | 44,149  | 43.9% | + 1.7pt |
| 全国計       |            | 101,908 |       | 全国計       |          | 100,509 |       |         |

粗鋼生産シェア推移  
(宝武鋼鉄集団、TOP2～5社、TOP6～10社)

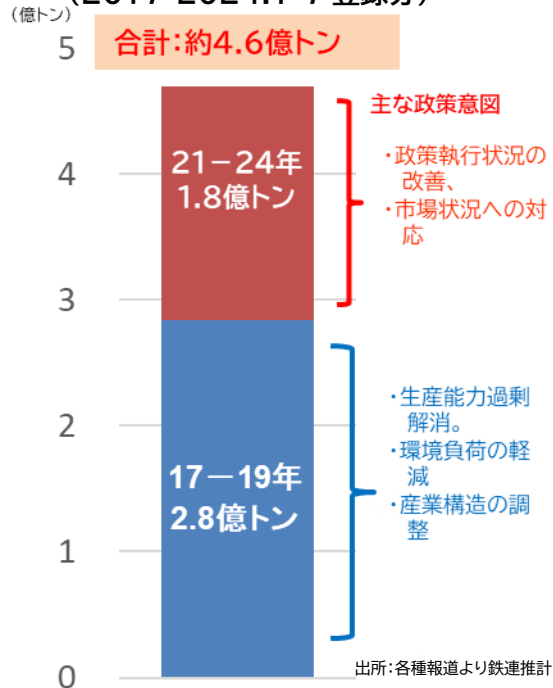
(出所)MySteel、worldsteel等

(※1) 2022年新余鋼鉄の生産分含む、2023年2023年以降、昆明鋼鉄の生産量を除外。  
 (※2) 2021年より本鋼集団の生産分含む (※3) 2024年より营口中板鋼鉄の生産量を含む。

# 新規の鉄鋼生産プロジェクトの申請を一時停止

- ① 13年に国务院が「深刻な生産能力過剰の矛盾解消に関する指導意見」を発表、18年には工信部が「鉄鋼業界生産能力置換実施方法」を施行し、新規の生産能力プロジェクト実施の際、既存生産能力との同量または減量での置換登録を義務付け、17-19年で2.8億トンが新規登録された。
- ② 19年には多数の「規定」違反、登録生産能力を大幅に上回るミルが発覚し、20年1月には新規プロジェクトの申請を一時中止。
- ③ 21年6月に「鉄鋼業界生産能力置換実施方法」の改訂版が施行され、環境重点地区の置換率を1.5:1とする一方、電炉への置換比率を1:1とするなどアメとムチを使い分け、21-24年で新たに1.8億トンの置換プロジェクトが申請され、その約50%が電炉プロジェクトとなったが、その後も違反プロジェクトの発生は続いている。
- ④ 工信部は政策の実行が不十分、業界の発展状況に適合していないとし、24年8月に新規の鉄鋼生産プロジェクトの申請を一時停止。
- ⑤ 工信部他4部門は、25年9月に公表した「鉄鋼業の安定成長方案(25-26年)」において、「鉄鋼業界生産能力置換実施方法」の再改訂を示唆。

置換製鋼プロジェクト登録状況  
(2017-2024.1-7 登録分)



違反事例

## 新金鋼鉄(河北省邯鄲市)

14年高炉(600m)を違法建設開始(未完成)

16年同高炉を削減計画に計上

※補助金不正受領(6,383万元)、刑事処分

21年高炉(1,260m)を違法建設

※撤去命令・罰金

22年再び高炉の違法建設、能力削減偽装

※罰金、操業停止処分

長期(2014~22年)に渡り違反を継続

## ~その他の主な違反事例~

江蘇省 鎮鑫鋼鉄 長期(14~22年)に渡り、転炉・高炉の違法建設継続

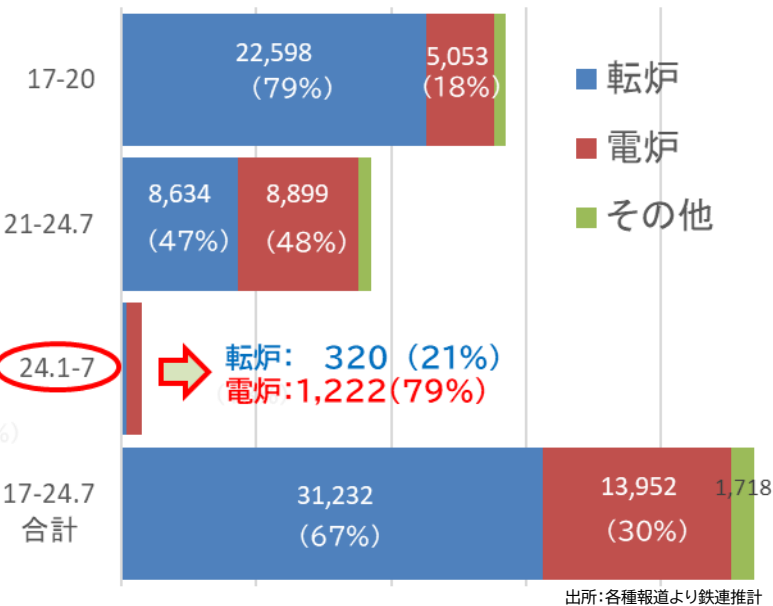
山西省 17~23年に承認・実施した大多数のプロジェクト(17/18)が置換比率違反

置換不足 宝武子会社、德龍 未承認 河鋼唐鋼

淘汰指示無視 河鋼邯鄲鋼鉄 その他多数・・・

設備新設計画における製鋼設備構成

[万吨(構成比率 %)]



| 年 月 日       | 政策の主要内容                                                                                          |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2013年10月    | 国务院が「深刻な生産能力過剰の矛盾解消に関する指導意見」を発表。新規の生産能力プロジェクトは必ず既存生産能力との同量または減量での置換を義務付け。                        |
| 2015年4月20日  | 工信部が「一部の深刻な生産能力過剰業界の生産能力置換実施方法」を改訂。京津冀、長江・珠江デルタの環境重点地区を置換比率(1.25倍以上)、その他を同量とした。                  |
| 2017年12月31日 | 工信部が「鉄鋼業界生産能力置換実施方法」を公表。電炉への転換促進政策が導入。転炉から電炉への転換には同量置換。                                          |
| 2020年1月     | 新規の鉄鋼生産プロジェクトの申請を一時停止。「規定」に基づく処理が為されない状況が多数発覚、生産稼働率が登録生産能力の100~150%企業出現。                         |
| 2021年5月6日   | 改訂版を公表。京津冀、長三角、珠三角に汾渭平原等を追加し、大気汚染防止重点区域とし、置換比率を1.5:1以上に厳格化。企業統合再編への促進策を導入。                       |
| 2024年8月23日  | 新規の鉄鋼生産プロジェクトの申請を一時停止。政策の実行が不十分、監督・実施メカニズムが不完全、業界の発展状況二重に適合していない。                                |
| 2025年9月22日  | 工信部「鉄鋼業の安定成長方案(2025-2026年)」にて「鉄鋼業界生産能力置換実施方法(改訂版)」公表に言及。電炉鋼、統合・再編など産業政策に合致するプロジェクトを置換比率で優遇するとした。 |

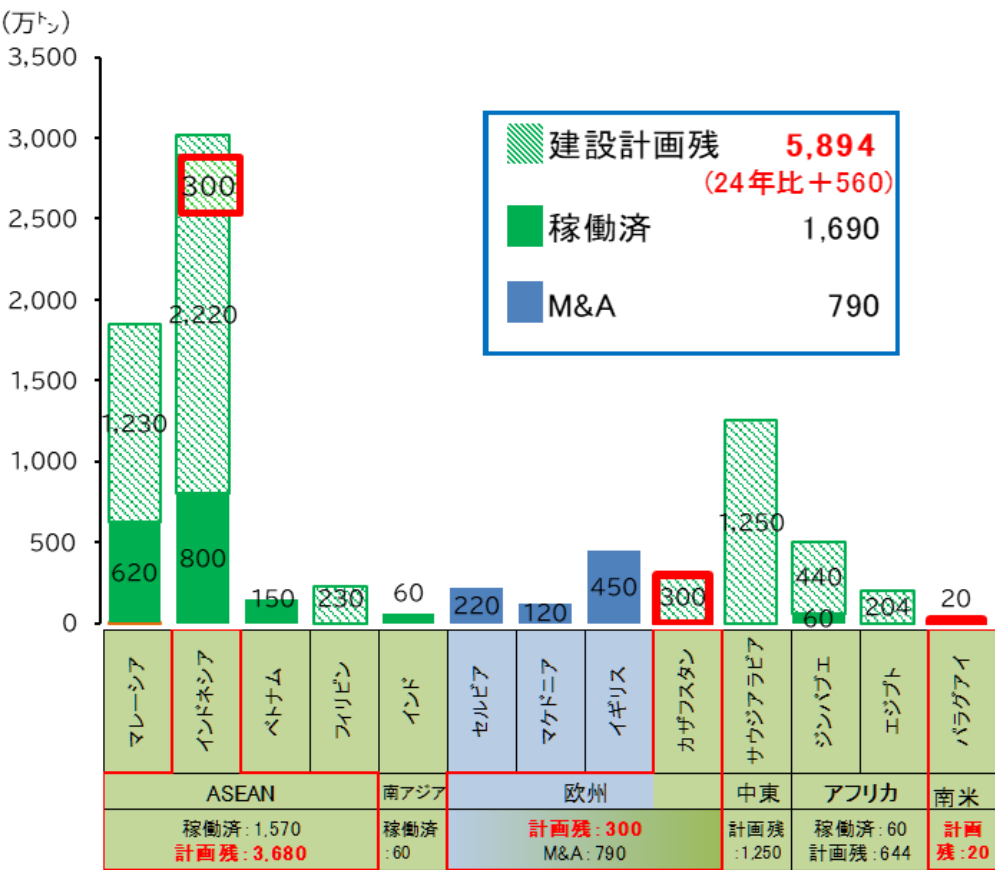
# 2025年の主な動き

・ ASEANで5,000万トン(稼働済含む)近い大規模な能力増強を計画。全世界では1,690万トンが稼働済で、その大部分(1,570万トン)がASEANに集中。25年に入り後も、動きがあり、建設計画残が24年末比で560万トン増となった。新規稼働済プロジェクトは全てが民営ミルによる。

## 【25年の主な動き】

- ・ 徳龍鋼鉄：インドネシア(バンテン州チレゴン・クラカタウ工業団地)：年産300万トンの総合製鉄所建設にクラカタウスチールが500ha超の土地を提供。
- ・ 攀華集団：フィリピン(サランガニ州)：5月に年産20万トンのカラー塗装鋼板の生産ラインが稼働。25年上半年期にスラブ230万トンを生産予定。
- ・ Aceros del Oriente S.A.(※中国側出資者不詳)：パラグアイ(イグアス市)：年産20.4万トンの鉄筋用棒鋼ミルを25年12月に稼働予定。製品の約70%をブラジルに輸出予定としている。
- ・ 永鋼鋼鉄：カザフスタン(ジバクジョル経済特区)に年産300万トン、25年4月起工式。第1期(27年稼働開始予定)：電炉100万トン(異形棒鋼・線材)

## 中国鉄鋼企業の主な海外進出(上工程)状況

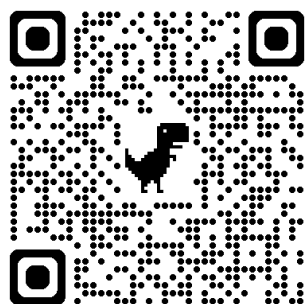


(注)右表は主な新規建設プロジェクトのみを掲載しており、左グラフの数値とは一致しない。  
(出所)各種報道等より鉄連作成

## 《主な新規建設プロジェクト(上工程)》

| 進出国     | 内 容                                                                                                                                                                                    | 新規建設 (万トン) |       |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
|         |                                                                                                                                                                                        | 稼働済        | 計画残   |
| マレーシア   | Eastern Steel Sdn.Bhd:北京建龍重工集団1期製鋼70万トン。将来的に500万トンの鋼板・条鋼類の生産を計画。第2高炉(200万トン)稼働(23年10月)。熱延ミル(350万トン)が稼働し、2期工程が竣工(24年12月)。                                                               | 270        | 230   |
|         | Alliance Steel :広西北部湾国際港務集団、広西盛隆冶金一貫製鉄所、高炉1080m×2基350万t。第1・第2高炉稼働(ワイロッド、棒鋼、H形鋼等)                                                                                                       | 350        | —     |
|         | 河北新武安鋼鉄集団と中冶集団、マレーシア政府が覚書。サマラージュ工業園区に年間1,000万トンの総合鉄鋼プロジェクトの覚書(19年4月)。                                                                                                                  | —          | 1,000 |
| インドネシア  | Bintangdelapan Group:青山鋼鉄、徳龍鋼鉄1期生産開始(17年7月):スチール製鋼100万トン、スチール熱延300万トン。2期生産開始:100万トンスチール製鋼。                                                                                             | 200        | —     |
|         | PT. Dexin Steel Indonesia: 印尼徳信鋼鉄。徳龍鋼鉄、青山鋼鉄がスラウェシ州・Morowali Industrial Parkに350万トン級製鉄所建設を計画。能力を2,000万トンに拡大の覚書(20年10月)。熱延ミル(450万トン)が稼働(22年10月)。第3高炉稼働、第一期拡張工事竣工(23年9月)                  | 600        | 1,400 |
|         | PT Gunung Gahapi Sakti:南京鋼鉄50%: 100万トンピレット Gunung Steel 2014年契約                                                                                                                        | —          | 100   |
|         | 河北辛氏集団:KendallにSeafer Kawasan Industriと合作で300万トンの製鉄所の建設(19~20年施工開始予定)。覚書(18年7月)。                                                                                                       | —          | 300   |
|         | 青山鋼鉄:インドのJindal Groupとモロワリ工業団地にステンレス鋼の合併工場の起工式(24年8月)。年産能力は120万トン。                                                                                                                     | —          | 120   |
|         | 徳龍鋼鉄:バンテン州チレゴン・クラカタウ工業団地の年産300万トンの総合製鉄所建設にクラカタウスチールが500ha超の土地を提供。                                                                                                                      | —          | 300   |
| フィリピン   | 攀華集団:35億ドルを投資し、3期にわけサランガニ州マージムに一貫製鉄所を建設予定。第1期は25年上半年期にスラブ230万トンを生産開始予定。<br>25年5月に年産20万トンのカラー塗装鋼板の生産ラインが稼働。                                                                             | —          | 230   |
| インド     | CSPL:青山鋼鉄、印Chromeni Steelとの合併。60万トンスチール。18年1月起工式。19年8月操業開始。19年11月に環境クリアランス(EC)無しでの操業指摘により、国家緑の審判所(NGT)の命令で操業停止。休眠状態が続いたが、24年5月に印Jindal Stainlessが同社の54%の株式を取得、6月には100%子会社とした。現在、稼働準備中。 | 60         | —     |
| カザフスタン  | 永鋼鋼鉄:カザフスタン(ジバクジョル経済特区)に300万トン(直接還元鉄+電炉)の製鉄所建設プロジェクトを開始。25年4月起工式。第1期(27年稼働開始予定):電炉100万トン(異形棒鋼・線材)、第2期(29年稼働開始予定):電炉200万トン(鋼管製造用鋼板類・形鋼)予定。                                              | —          | 300   |
| ジンバブエ   | 青山鋼鉄:ジンバブエ政府と覚書(18年6月・22年11月)。22年10月Manhizeで起工式。第1期60万トン、第2期120万トン、第3期320万トン、最終的に年産500万トンの予定。24年6月第1期60万トンの第1高炉、7月転炉稼働(10月時点稼働率60%)。25年4月:異形棒鋼の生産開始予定。                                 | 60         | 440   |
| エジプト    | 武安新峰:成都建材院と契約(21年11月)。Sokhna Indstral Zoneにて年産204万トンの電炉建設計画                                                                                                                            | —          | 204   |
| サウジアラビア | 新天鋼と天津泰達が1,000万トンの電炉工場建設の戦略的提携契約締結(22年8月)                                                                                                                                              | —          | 1,000 |
|         | 宝钢はサウジアラムコと直接還元鉄250万トン、鋼板150万トンの合併会社設立で合意(23年5月)。操業開始予定(26年)。                                                                                                                          | —          | 250   |
| パラグアイ   | Aceros del Oriente S.A.(※中国側出資者不詳):パラグアイ(イグアス市):年産20.4万トンの鉄筋用棒鋼ミルを25年12月に稼働予定。製品の約70%をブラジルに輸出予定としている。                                                                                  | —          | 20    |

※生産能力については一部報道による記載に基づく。



鉄鋼需給説明会の案内は、メールマガジン「鉄マガ」より行います。

案内をご希望される方は、左QRコードより、メールマガジン登録画面にお進みいただき、必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。



一般社団法人 日本鉄鋼連盟  
The Japan Iron and Steel Federation

一般社団法人 日本鉄鋼連盟  
業務部 国内調査グループ

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館内

E-mail: [chosa@jjsf.or.jp](mailto:chosa@jjsf.or.jp)

Website: <https://www.jjsf.or.jp/>